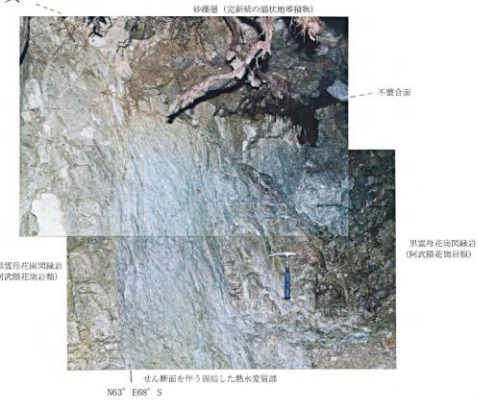


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平26情復、第337号）及び（承認番号 平26情復、第540号）
本図面を第三者がさらに複製する場合は国土地理院の長の承認を得なければならない。

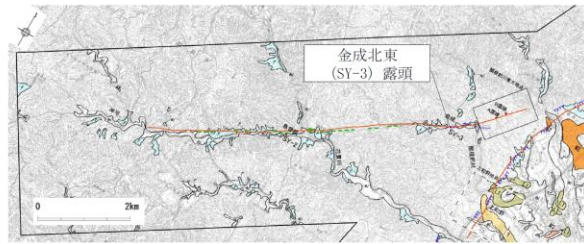
写真



- 凡例
- 砂礫層（完新統の扇状地堆積物）
 - せん断面を伴う固結した熱水変質部
 - レンズ状部（黒雲母花崗閃緑岩）
 - 黒雲母花崗閃緑岩（阿武隈花崗岩類）
 - 熱水変質部を伴う節理
- N63° E68° S せん断面の走向・傾斜

- ・黒雲母花崗閃緑岩中に破碎部が認められる。
- ・最も顕著な破碎部は黒雲母花崗閃緑岩のレンズ状部からなるが、レンズ状部及びその周辺は熱水変質部に移り変わっており、熱水変質部は固結している。
- ・固結した熱水変質部には、鉛直方向の条線を伴う複数のせん断面が認められるが、連続するせん断面は認められない。
- ・固結した熱水変質部と黒雲母花崗閃緑岩の境界部にも、連続したせん断面は認められず、一部に漸移的な境界が認められる。
- ・破碎部の上位に完新統の扇状地堆積物があり、堆積物には変位は認められない。

第 3. 2. 89 図 露頭スケッチ（高萩市鳥曾根南西：Loc. SY-2）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
 （承認番号 平26情復、第337号）及び（承認番号 平26情復、第540号）
 本図面を第三者がさらに複製する場合は国土地理院の長の承認を得なければならない。

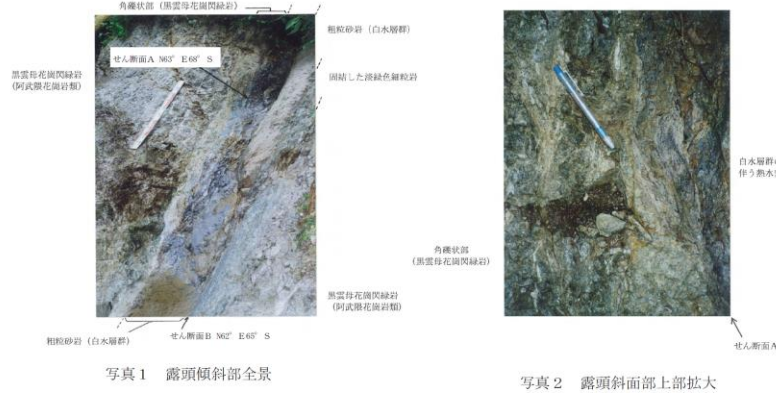
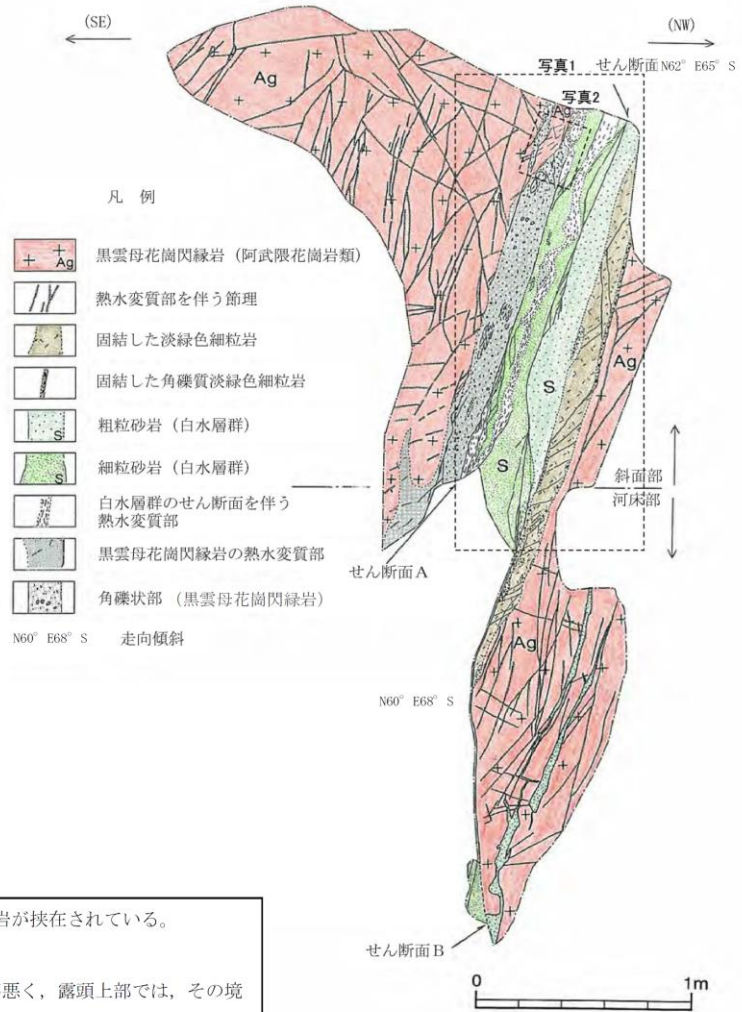


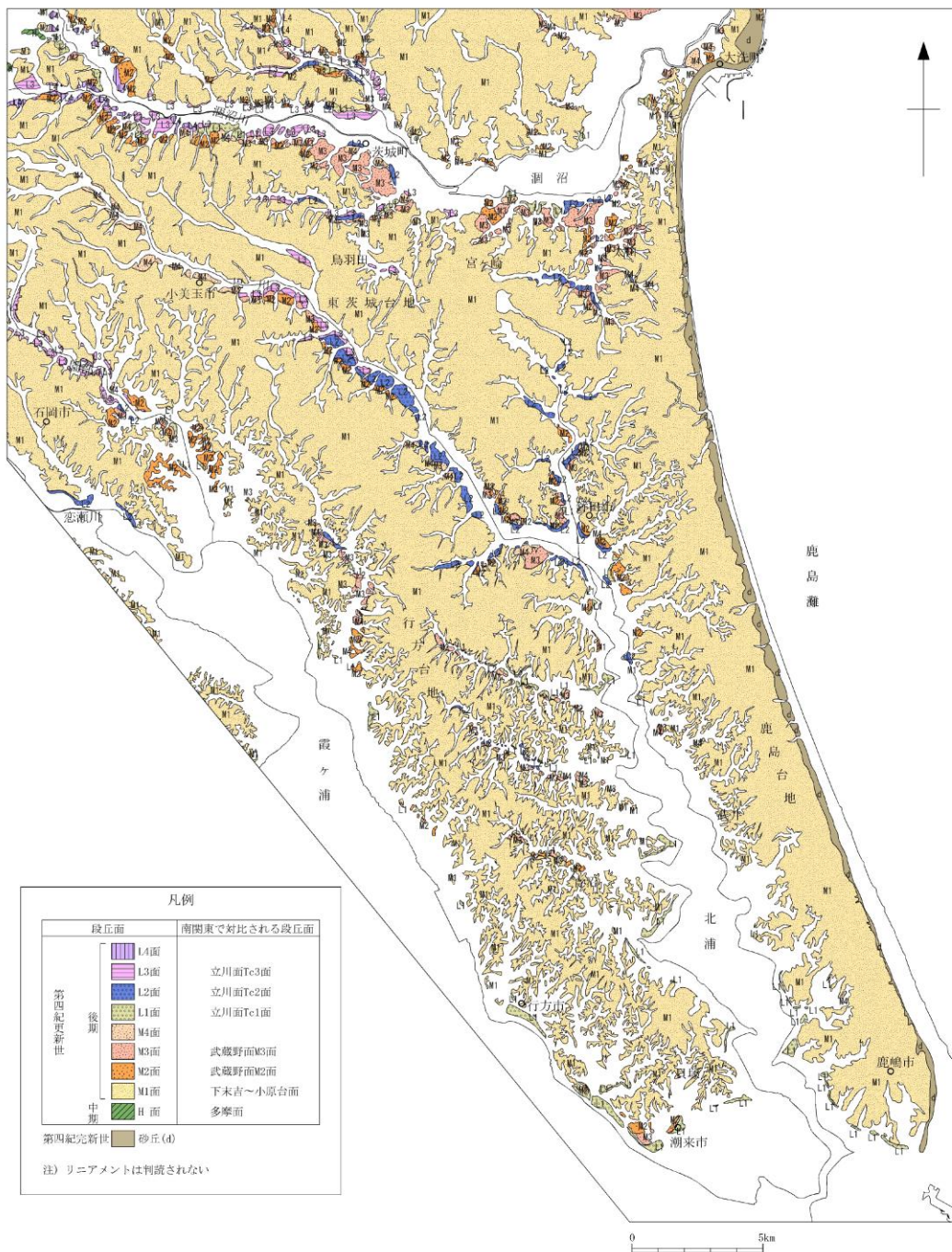
写真1 露頭傾斜部全景

写真2 露頭斜面部上部拡大

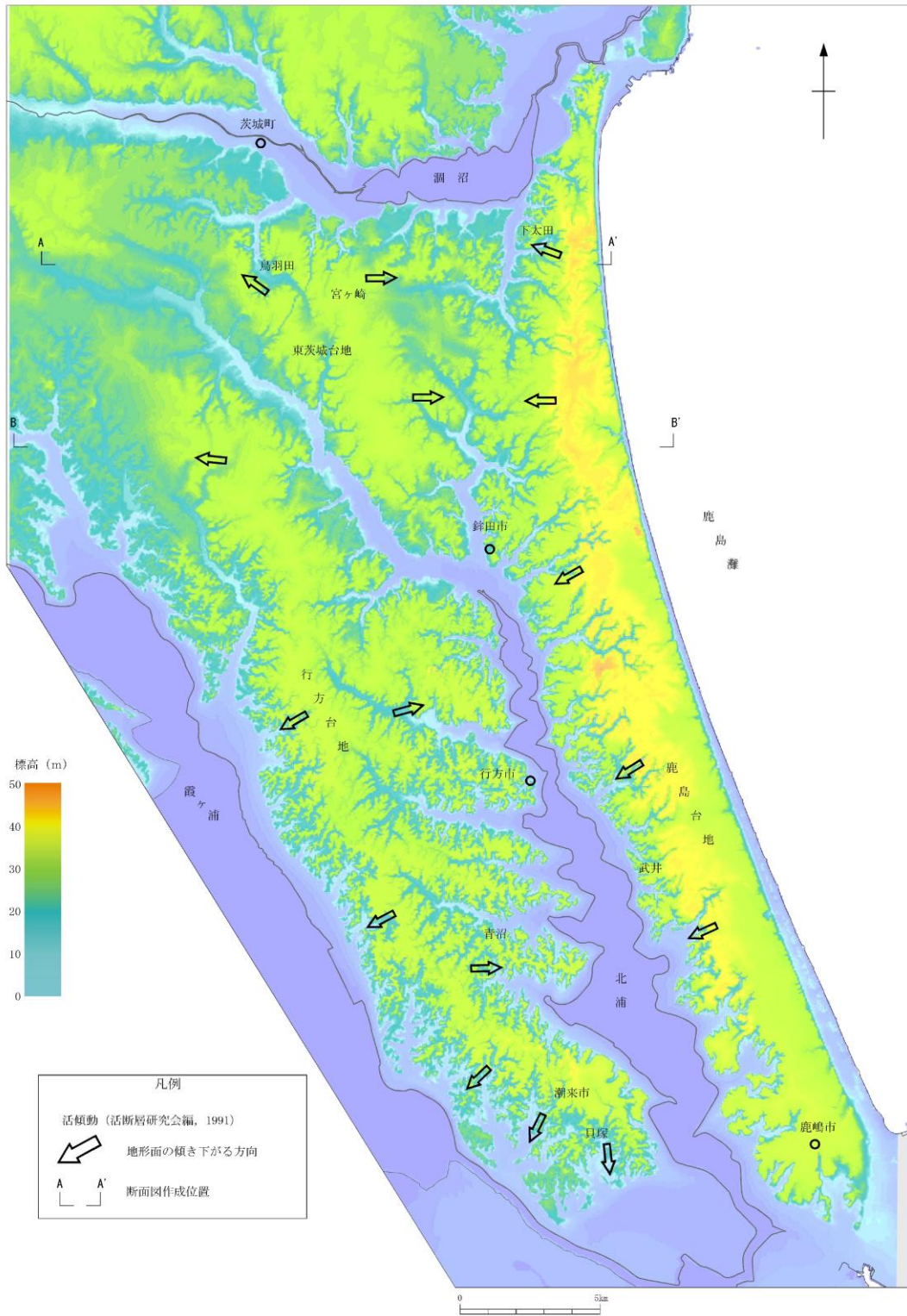
- 熱水変質を受けた黒雲母花崗閃緑岩中に、古第三系の白水層群と考えられる粗粒砂岩及び細粒砂岩が挟在されている。
- 粗粒砂岩及び細粒砂岩は急傾斜しており、この構造と調和的な熱水変質部が認められる。
- 熱水変質部と黒雲母花崗閃緑岩の角礫状部との境界部には、せん断面Aが認められるが、連続性が悪く、露頭上部では、その境界は漸移的である。
- 粗粒砂岩と細粒砂岩の境界にはせん断面Bが認められるが、連続性が悪く湾曲し、河床部ではその延長部は固結している。



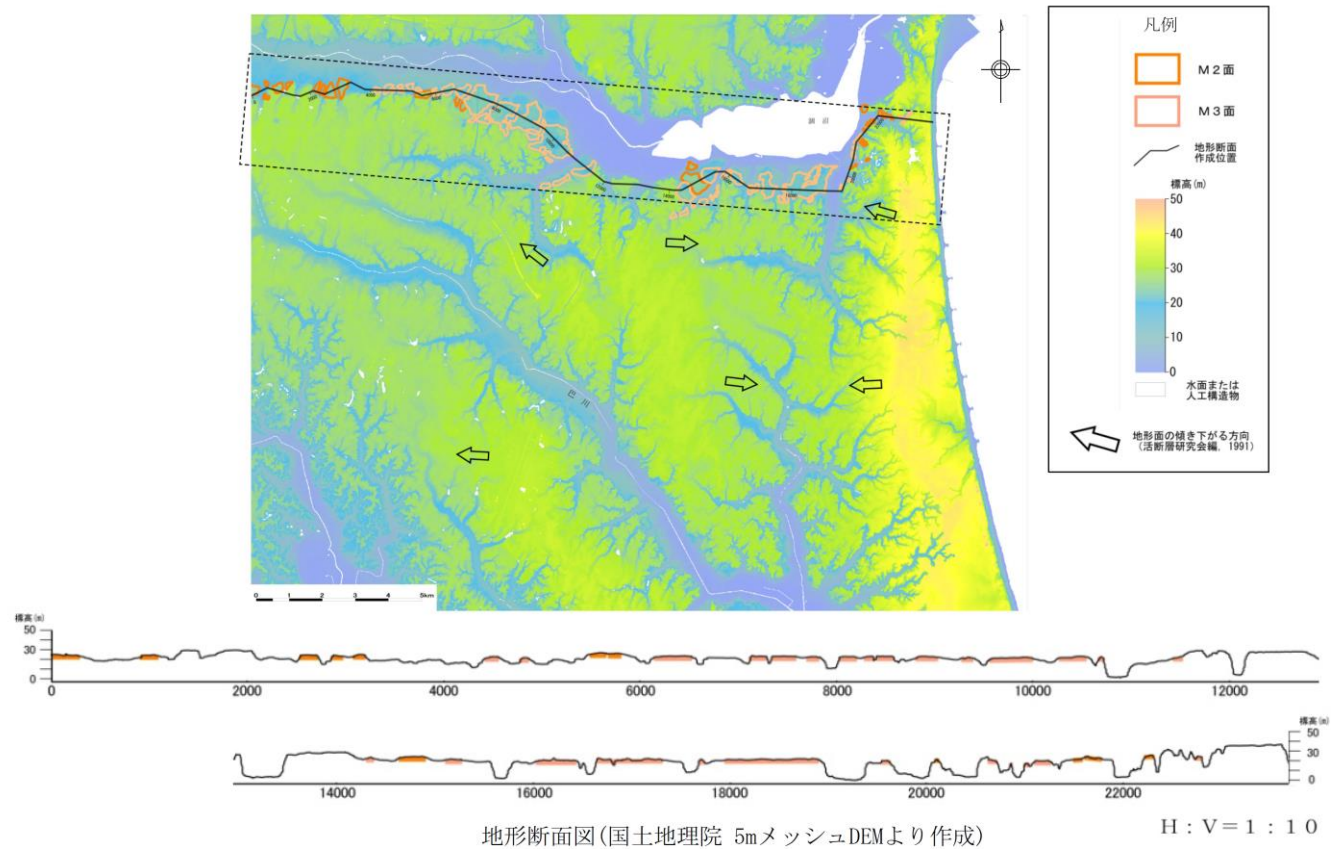
第 3. 2. 90 図 露頭スケッチ（高萩市金成北東：Loc. SY-3）



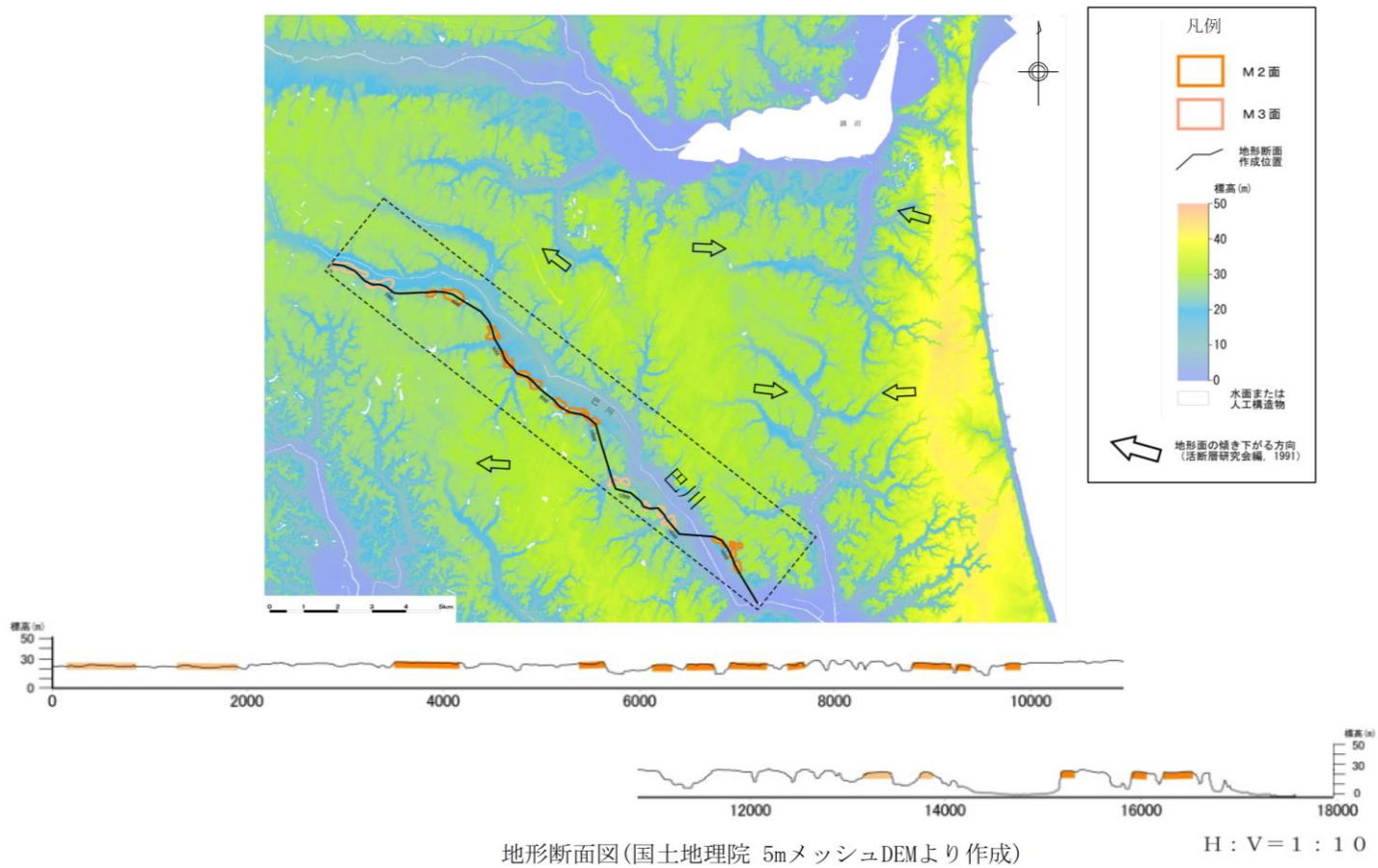
第 3. 2. 91 図 鹿島台地・行方台地周辺の活傾動周辺の変動地形的調査結果



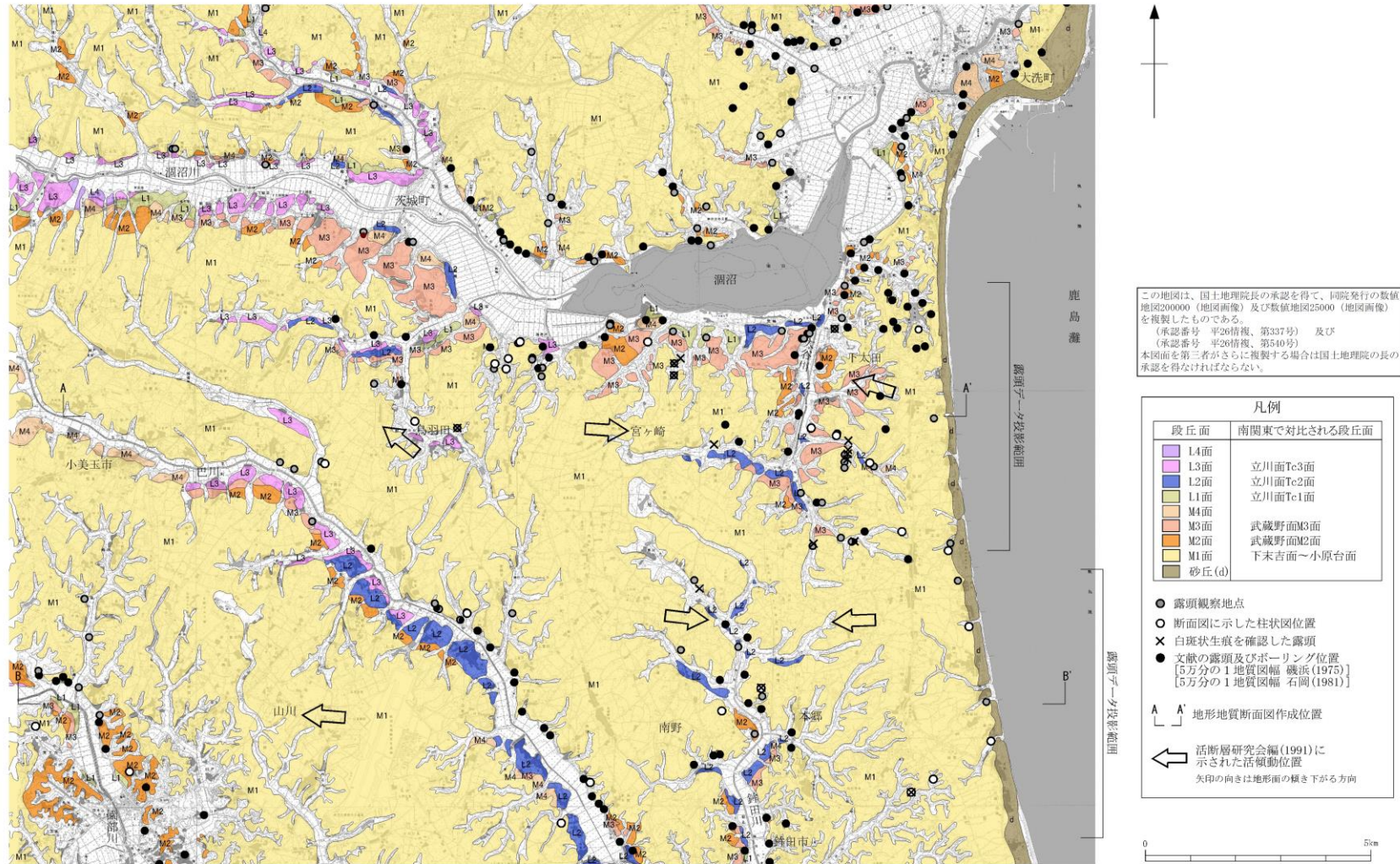
第 3. 2. 92 図 鹿島台地・行方台地周辺の活傾動周辺の地形面解析図



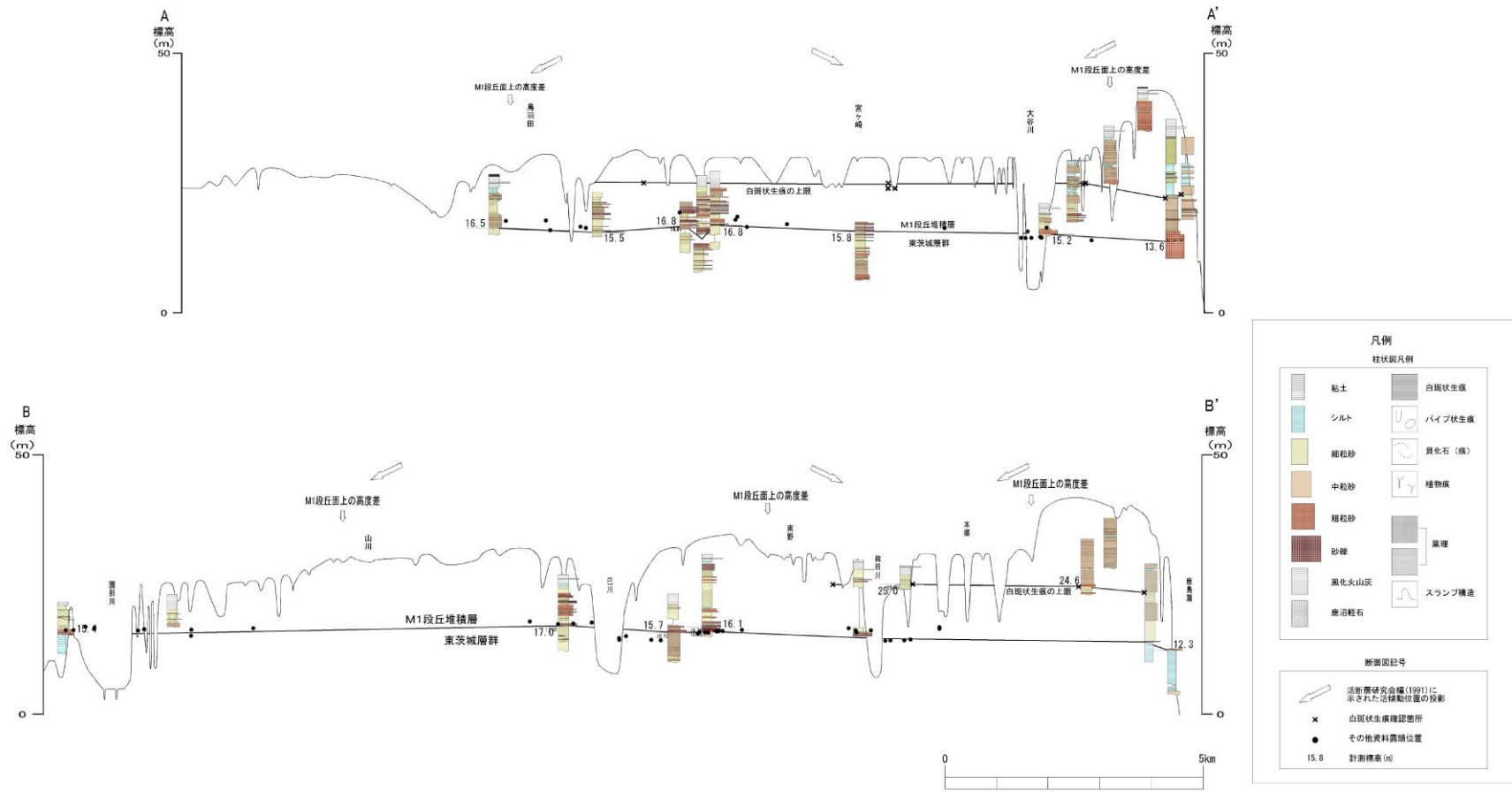
第 3. 2. 93 図(1) M2, M3 段丘面に関する調査結果 (1)



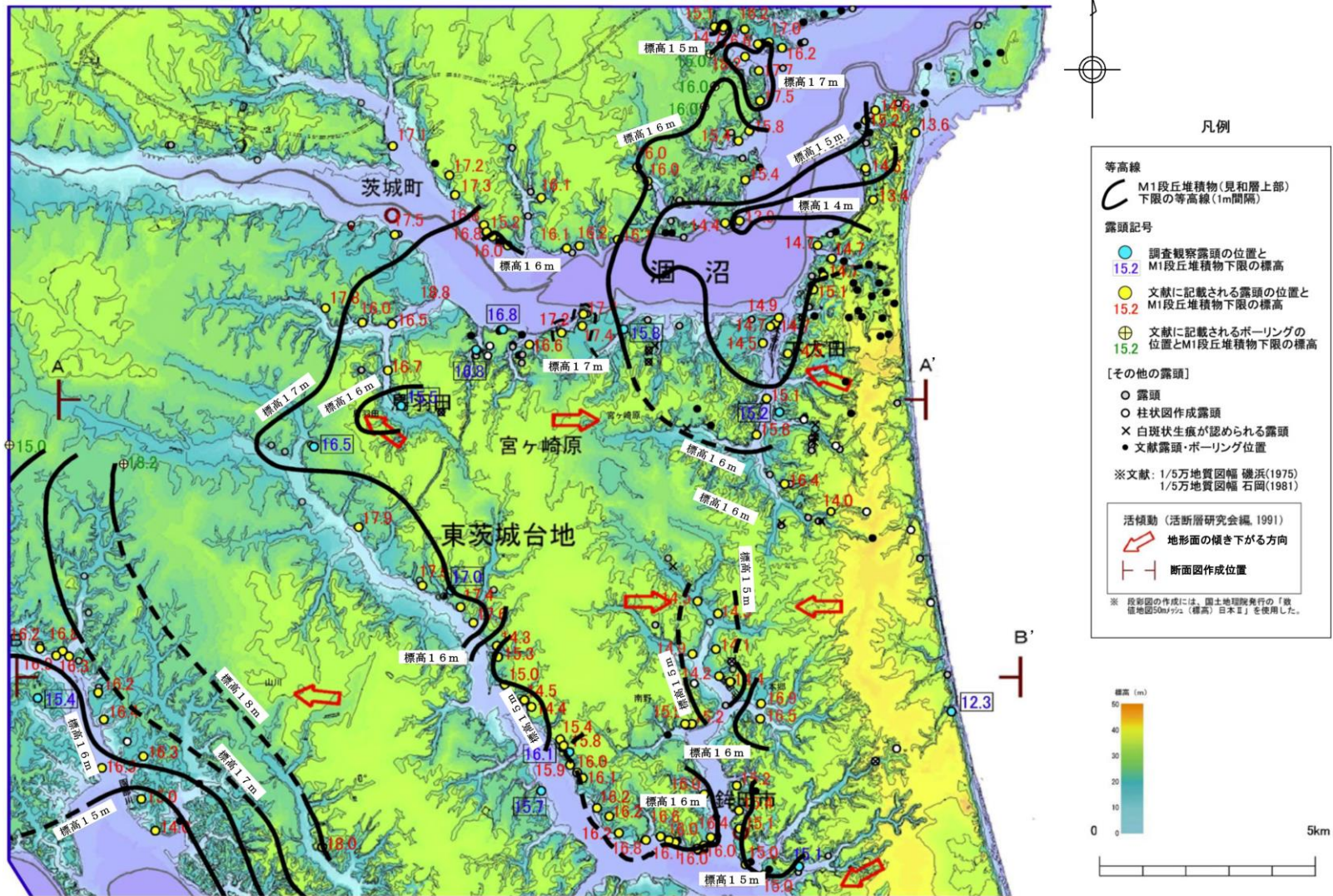
第 3. 2. 93 図(2) M2, M3 段丘面に関する調査結果 (2)



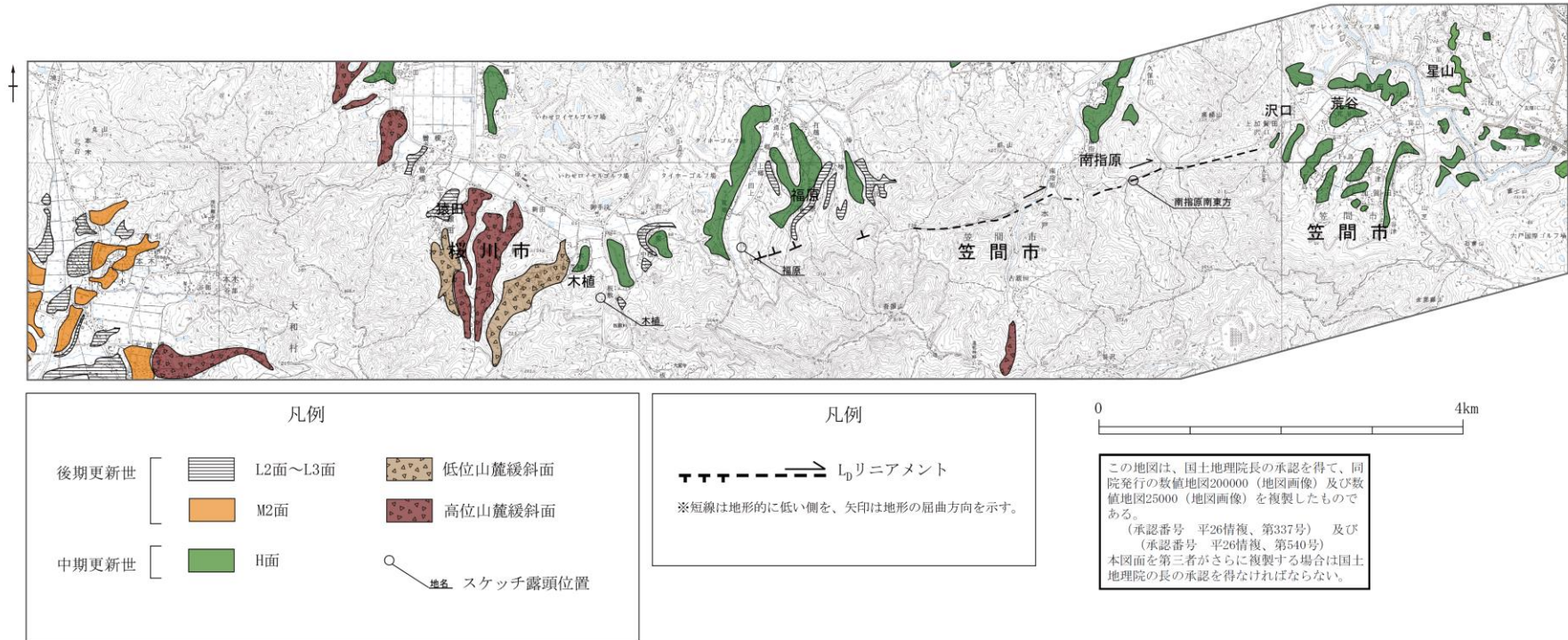
第 3.2.94 図 鹿島台地・行方台地周辺の活傾動周辺の地質調査位置図



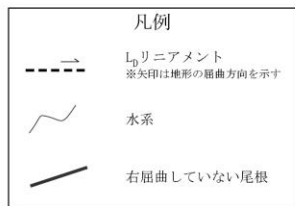
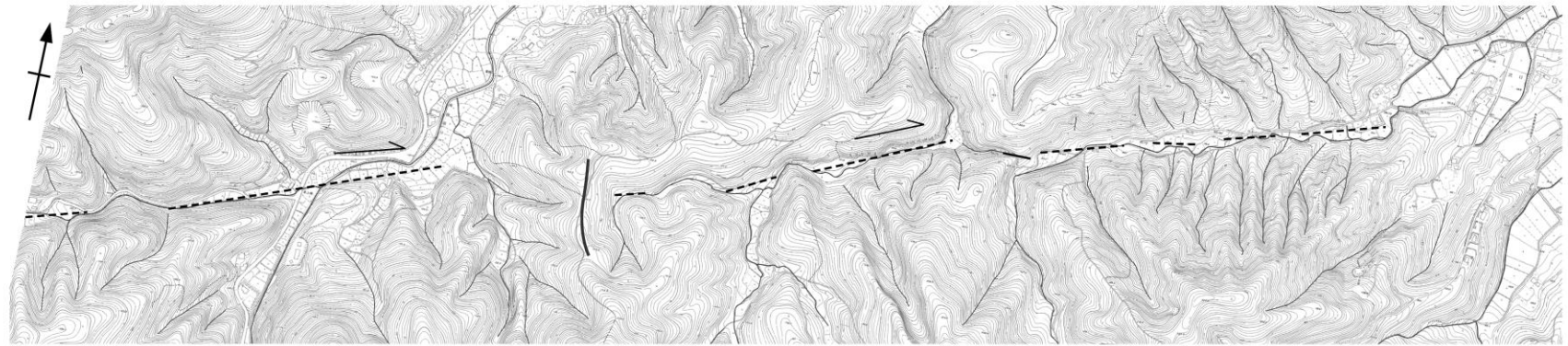
第 3. 2. 95 図 鹿島台地・行方台地周辺の活傾動周辺の地形及び地質断面図



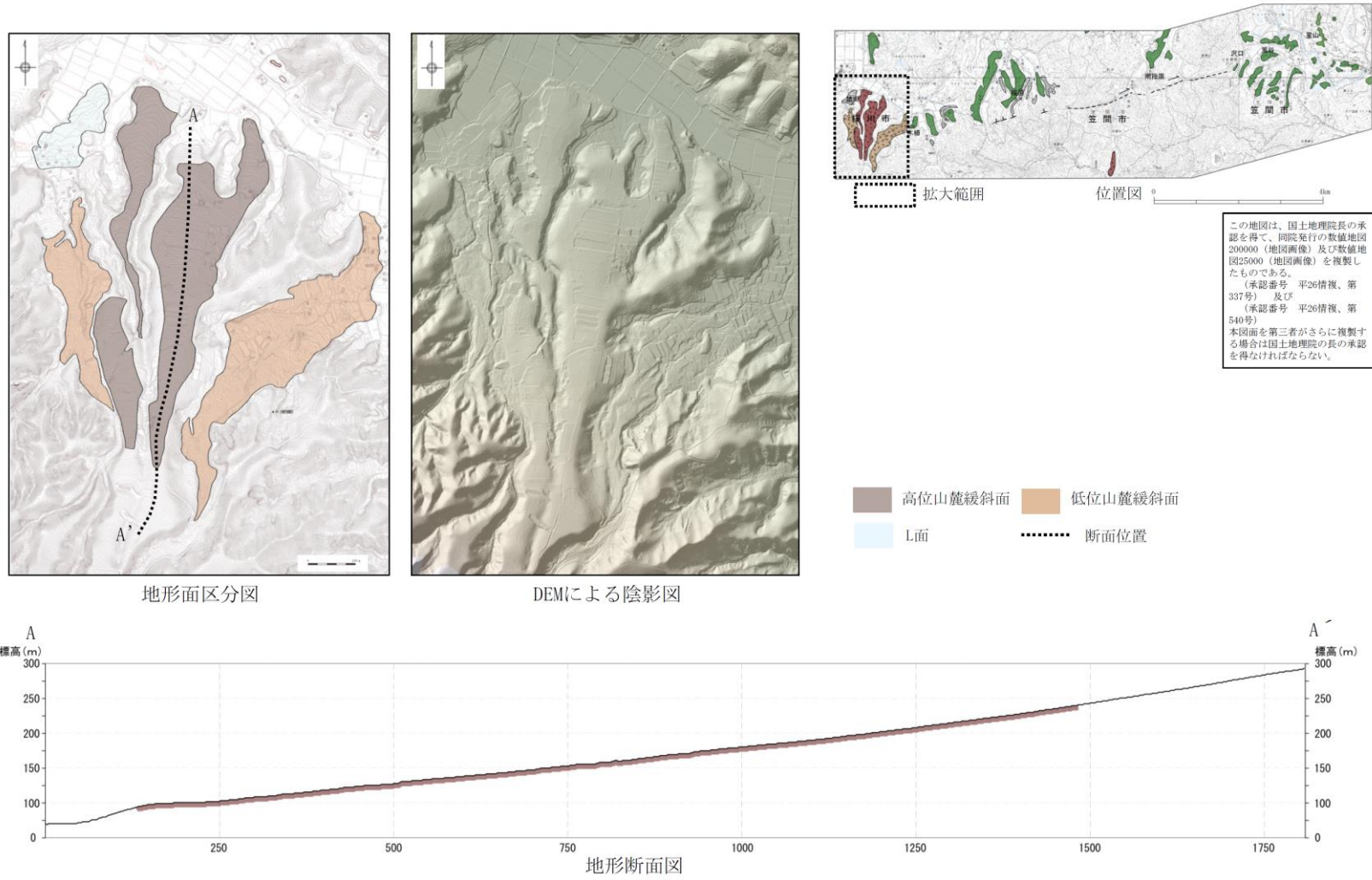
第 3. 2. 96 図 鹿島台地・行方台地周辺のM1段丘堆積物基底面に関する調査結果



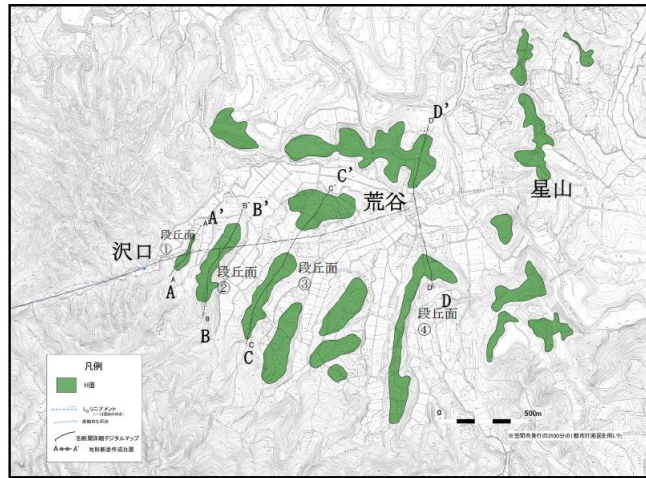
第 3. 2. 97 図 吾国山断層周辺の変動地形学的調査結果



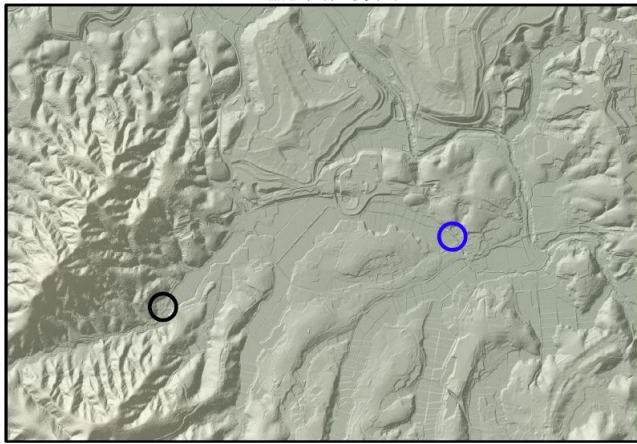
第 3. 2. 98 図 吾国山断層周辺の水系図



第 3. 2. 99 図 猿田付近の地形断面図

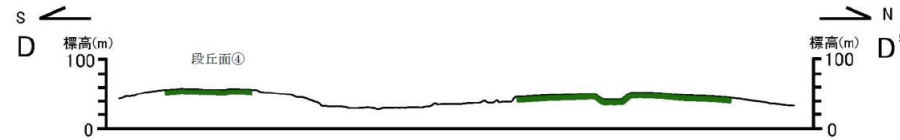
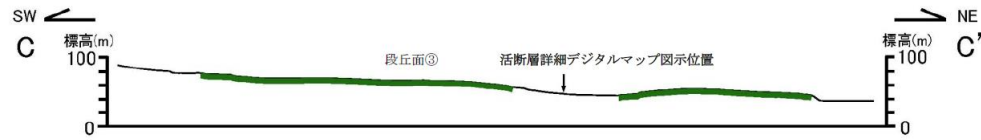
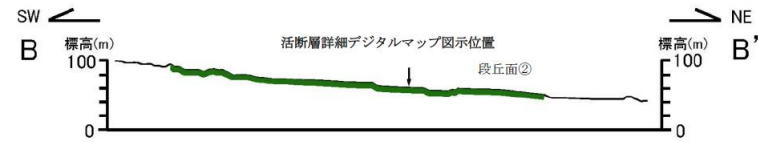
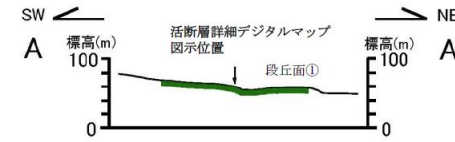


地形面区分図



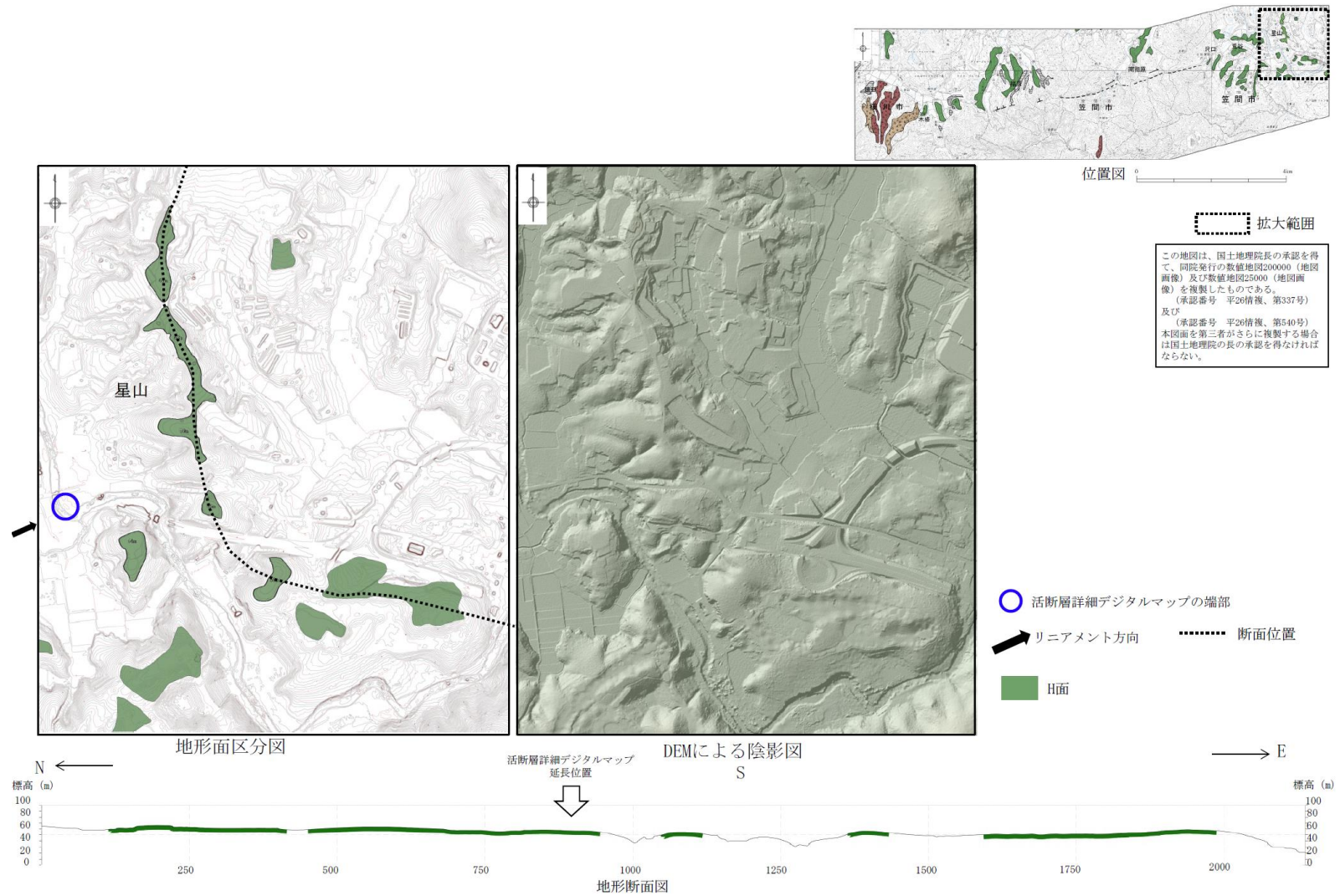
DEMによる陰影図

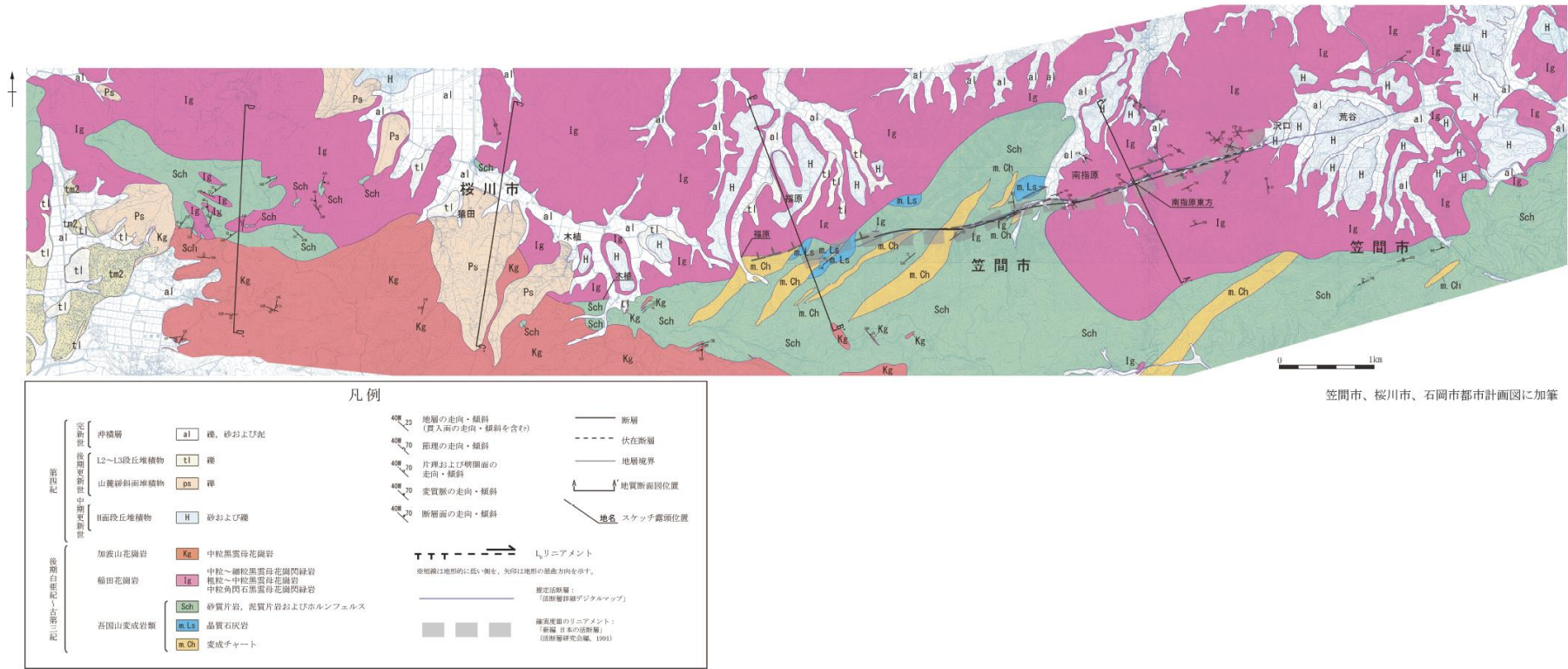
- 判読したリニアメントの端部
- 活断層詳細デジタルマップの端部



地形断面図

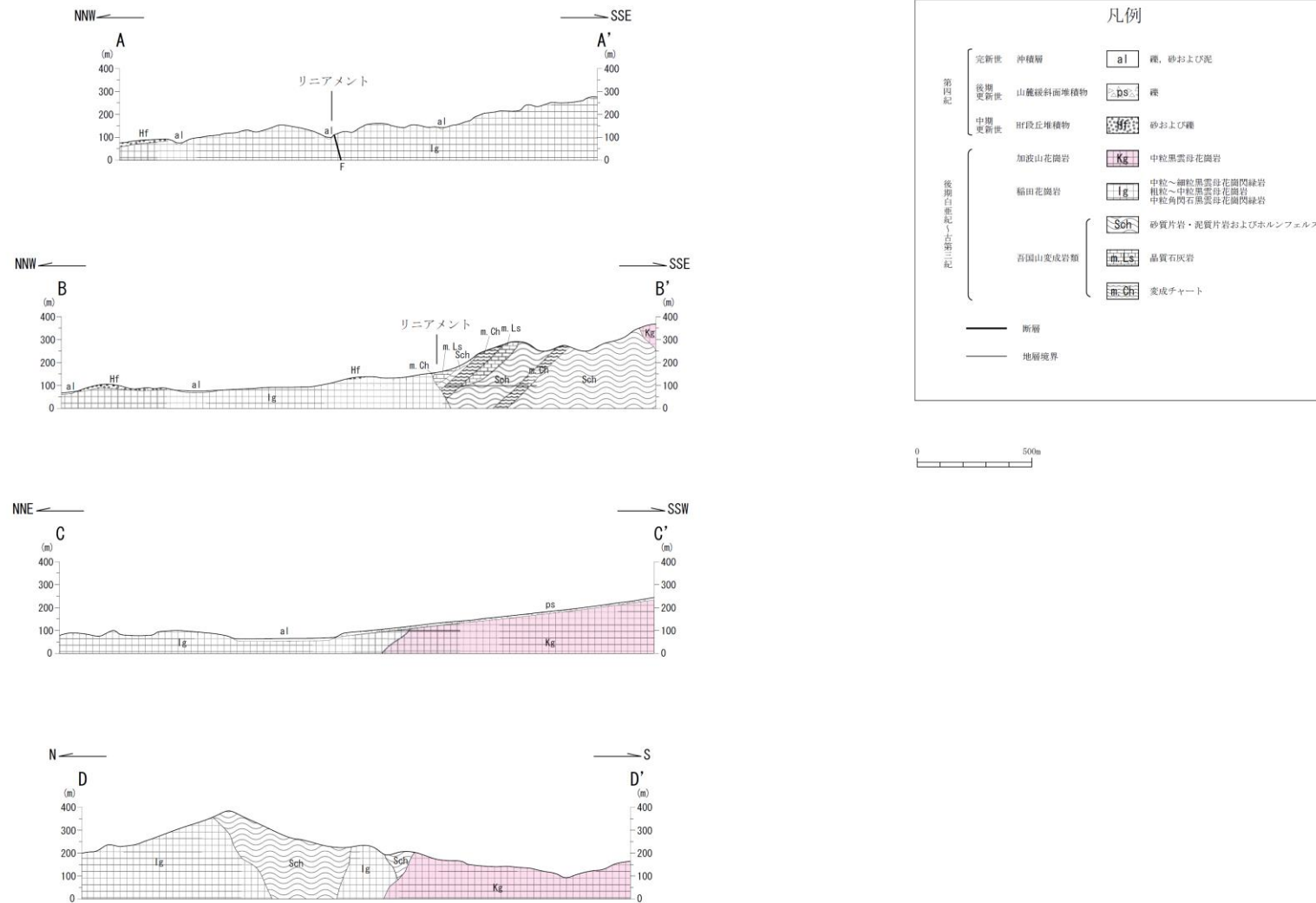
第 3. 2. 100 図(1) 変動地形学的調査結果 (沢口～星山)





笠間市、桜川市、石岡市都市計画図に加筆

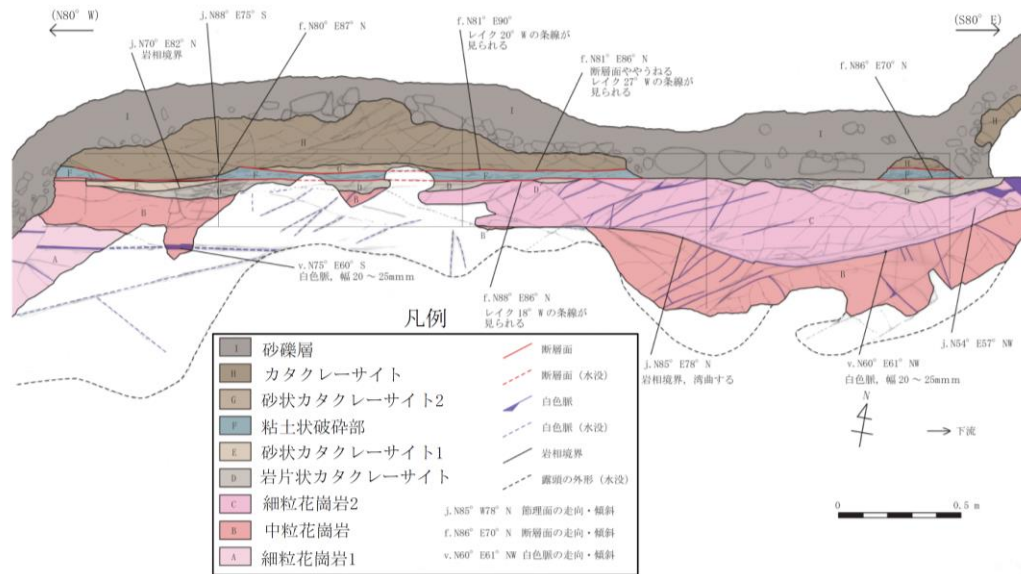
第 3. 2. 101 図 吾国山断層周辺の地質図



第 3. 2. 102 図 吾国山断層周辺の地質断面図



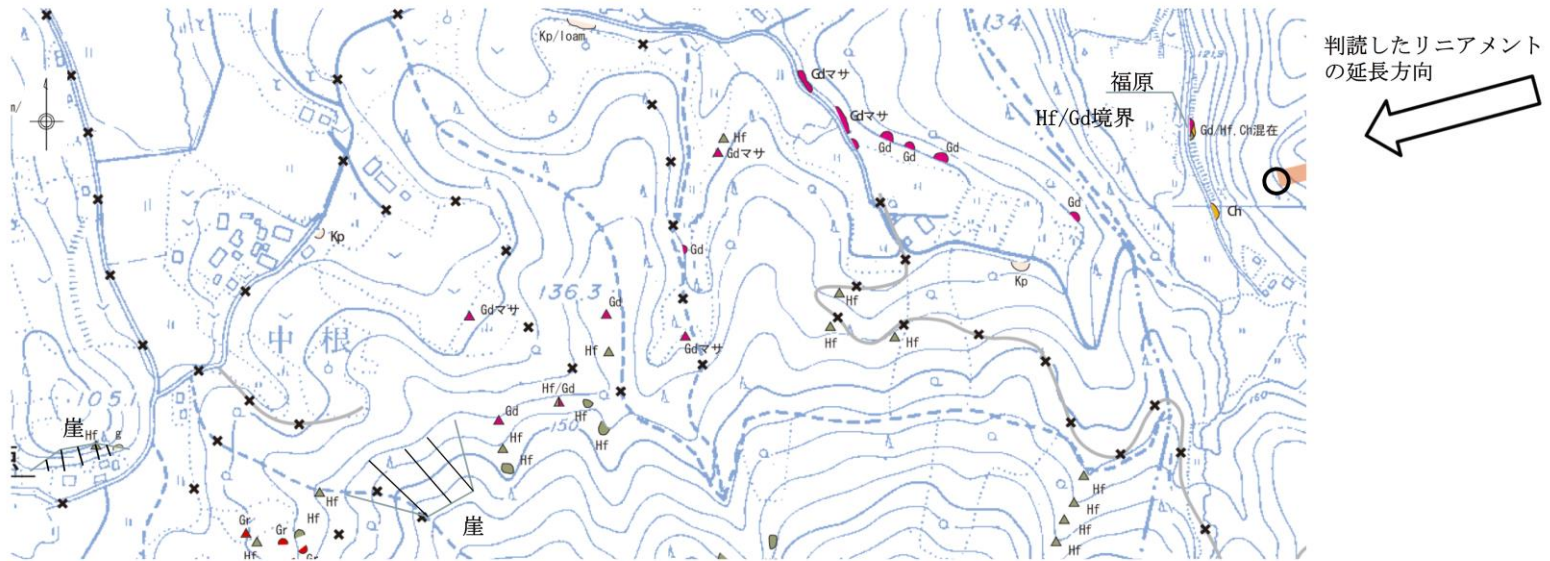
露頭全景写真



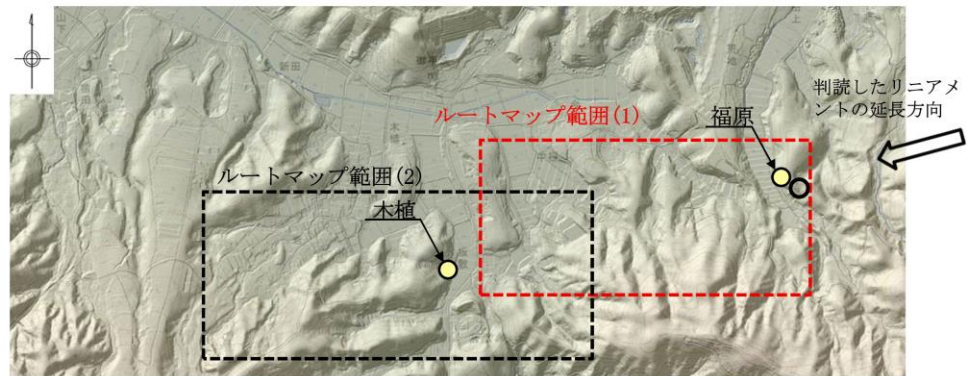
露頭スケッチ

- リニアメントの走向と調和的な断層破碎部 (N80° E 87° N) が分布する。
- 断層破碎部には、岩片状カタクレーサイト～粘土状破碎部が分布する。
- 粘土状破碎部は幅5cm前後で層厚が変化する。また、粘土状破碎部に沿って分布する断層面は、概ね平面的であるが連続性に乏しく、これらを切る新期の断層面は認められない。
- 上載地層との関係は確認できない。

第 3. 2. 103 図 露頭スケッチ (南指原東方)



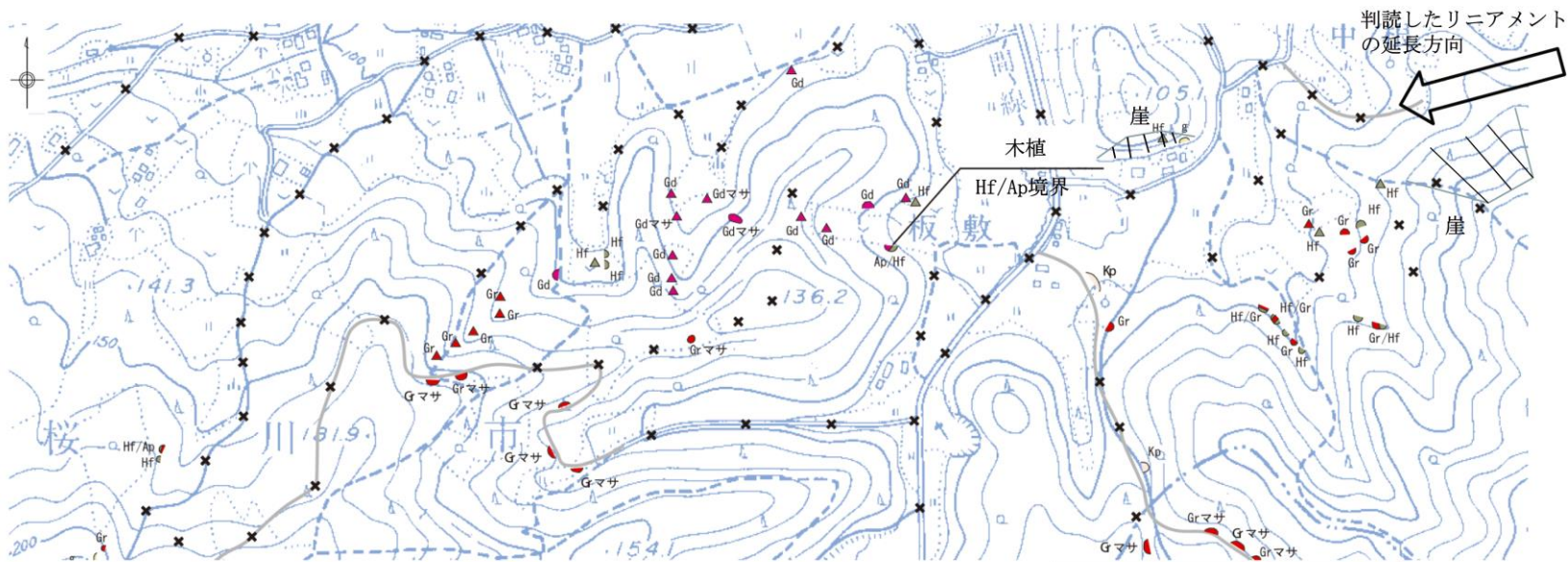
桜川市、笠間市都市計画図市に加筆



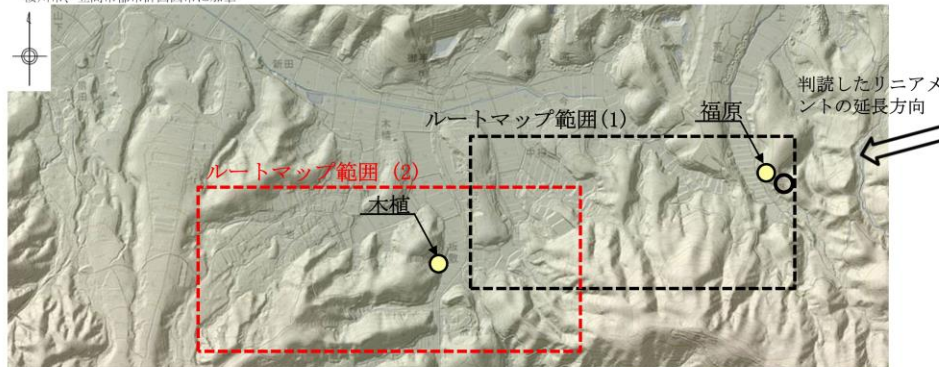
● 吾国山変成岩類と稲田花崗岩との貫入境界を確認した露頭位置
○ 判読したリニアメントの端部

第四系堆積物	ls	礫		
	loam	ローム		
	va	火山灰 または テフラ記号 (Kp)		
加波山花崗岩	Gr	花崗岩 ^{※1}		
稲田花崗岩	Gd	花崗閃緑岩 ^{※2}		
吾国山変成岩類	Hf	ホルンフェルス		
	Ch	変成チャート		
<small>※注1：アブライト (Ap) を含む ※注2：アブライト (Ap) 及びベグマタイト (Pg) を含む</small>				
				露頭
				転石
				踏査ルートの中で連続して露頭が確認できない箇所

第 3. 2. 104 図(1) 猿田～福原付近のルートマップ (1)



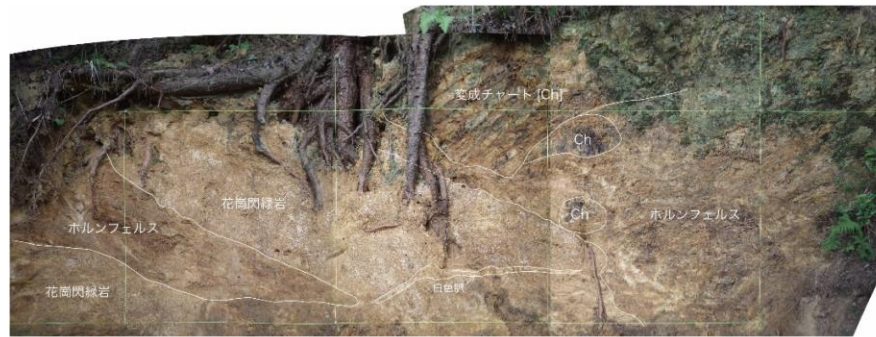
桜川市、笠岡市都市計画図市に加筆



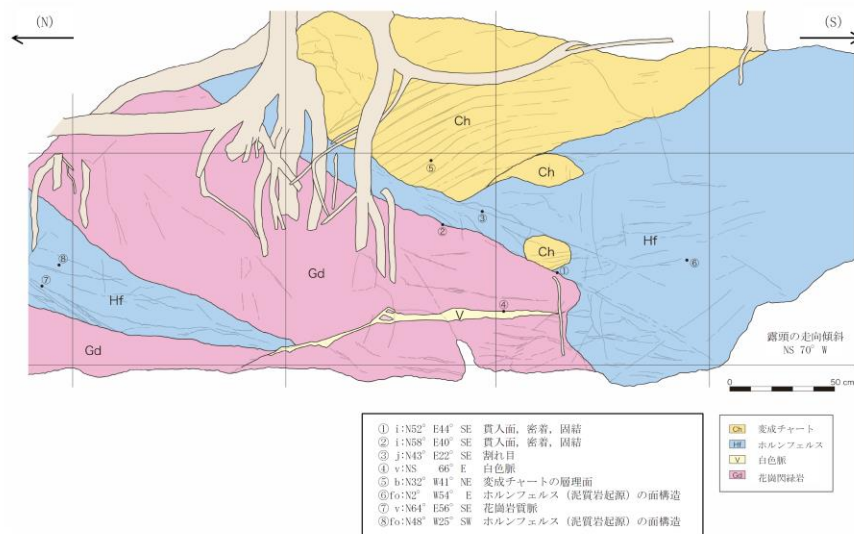
第四系堆積物	ε	礫	
	va	火山灰 または テフラ記号 (Kp)	
加波山花崗岩	Gr	花崗岩 ^{※1}	
稲田花崗岩	Gd	花崗閃緑岩 ^{※2}	
吾国山変成岩類	Hf	ホルンフェルス	
<small>※注1：アプライト (Ap) を含む ※注2：アプライト (Ap) 及びペグマタイト (Pg) を含む</small>			
	(露頭	
	△	転石	
	*	踏査ルートの中で連続して 露頭が確認できない箇所	

- 吾国山変成岩類と稲田花崗岩との貫入境
 - 判読したリニアメントの端部
- 界を確認した露頭位置

第 3. 2. 104 図(2) 猿田～福原付近のルートマップ (2)



露頭全景写真



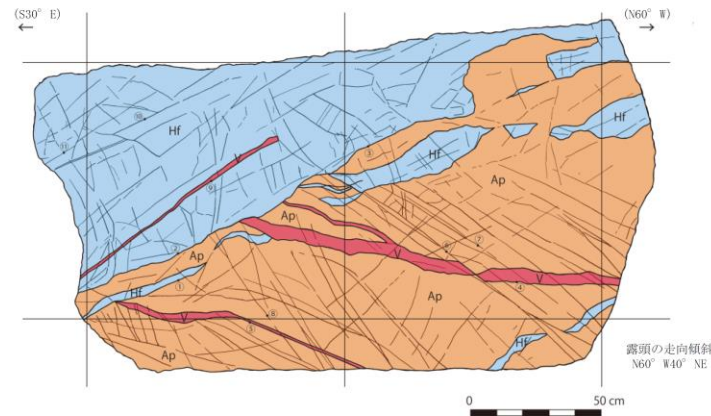
露頭スケッチ

- ホルンフェルス (泥質岩起源) 及び変成チャートに、稲田花崗岩の花崗閃緑岩が貫入している。
- ホルンフェルスがブロック状に花崗閃緑岩に取り込まれている。
- 貫入面の方向は概ねNE-SW走向で、中角で南東に傾斜している。
- 貫入面は密着・固結し、凹凸に富む。
- 露頭は風化が著しい。

第3.2.105 図 露頭スケッチ (福原)



露頭全景写真

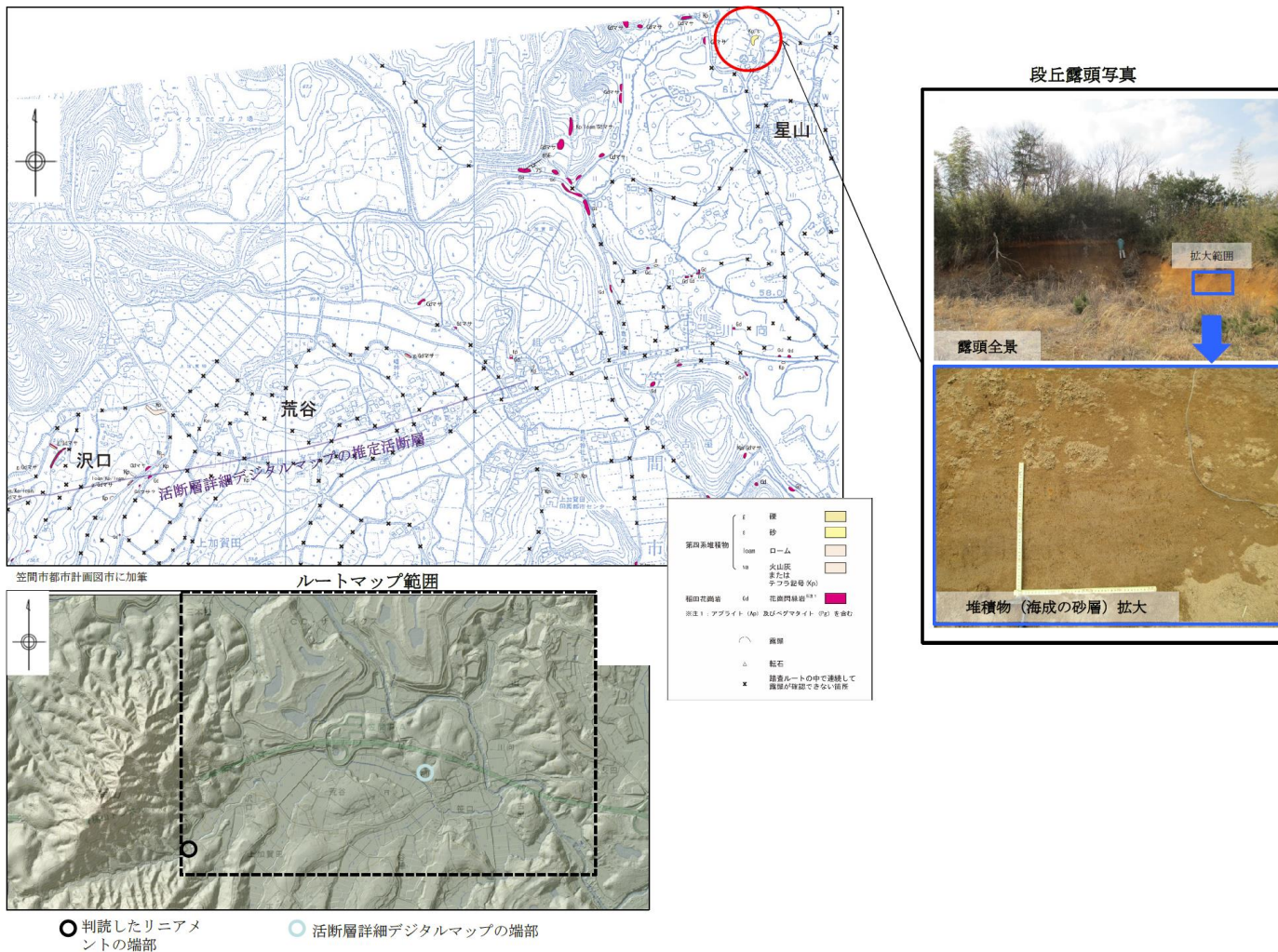


① i:N86° E66° S	貫入面, 密着, 固結	⑥ mf:N14° E82° W	小断層, 脈をみかけ12cm以下	■	ホルンフェルス
② i:N80° E50° S	貫入面, 密着, 固結	⑦ j:N18° E86° W	割れ目	■	花崗岩質岩脈
③ i:N82° E62° S	貫入面, 密着, 固結	⑧ j:N6° W 60° E	割れ目	■	アプライト (細粒花崗岩)
④ v:N48° W20° SW	石英脈 (ペグマタイト質)	⑨ j:N80° E54° S	花崗岩質岩脈		
⑤ v:N22° W62° S	花崗岩質岩脈	⑩ v:N80° W50° S	白色脈, 軟質, 片理面とはほぼ平行		
		⑪ To:N88° E76° S	片理面		

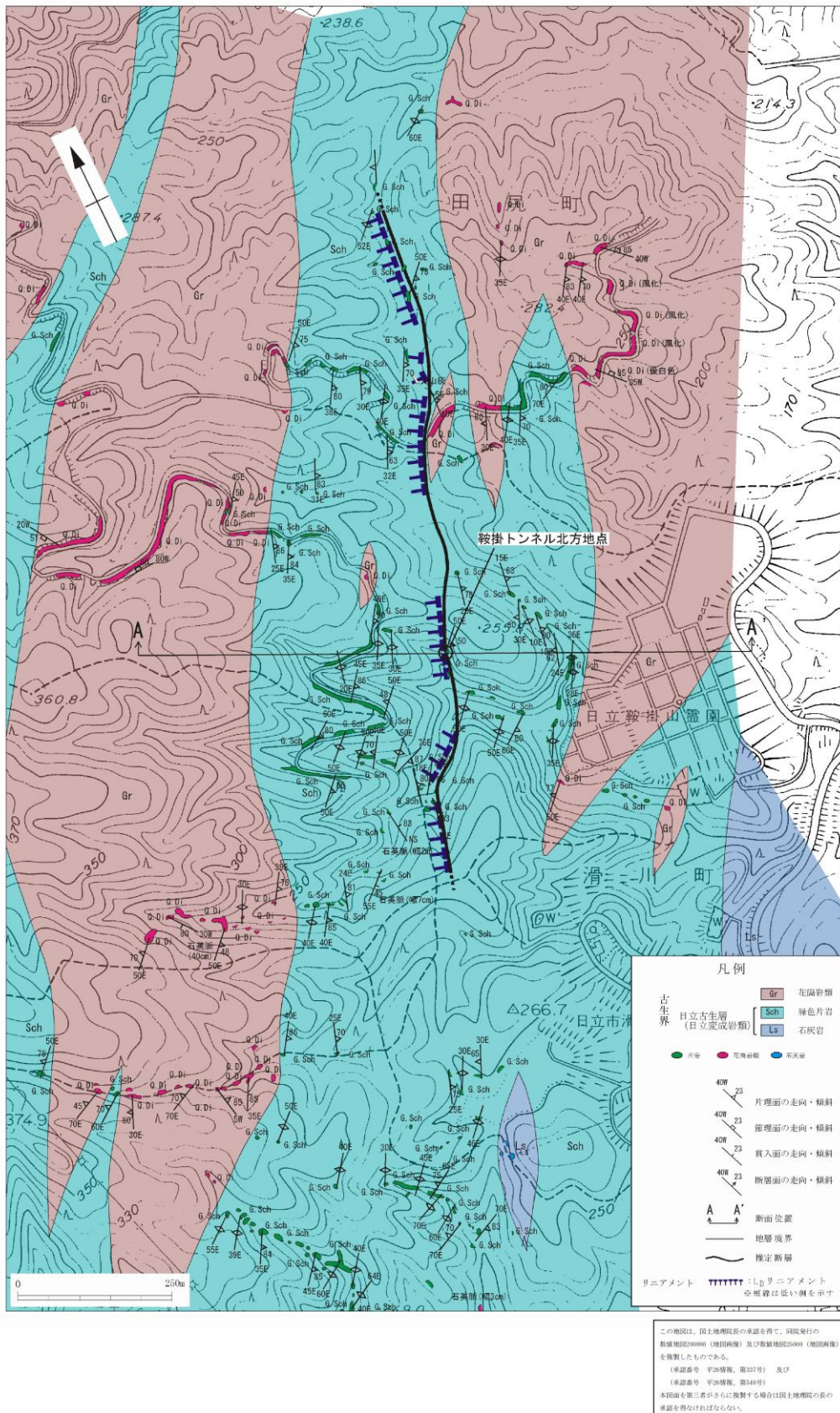
露頭スケッチ

- ホルンフェルス (泥質岩起源) とアプライト (細粒花崗岩) との貫入境界が認められる。
- アプライト中にホルンフェルスがブロック状に取り込まれている。
- 貫入境界の方向は概ねN80° E50° Sである。
- 貫入面は密着・固結し凹凸に富む。

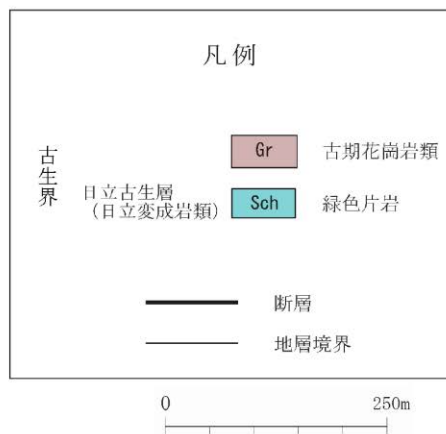
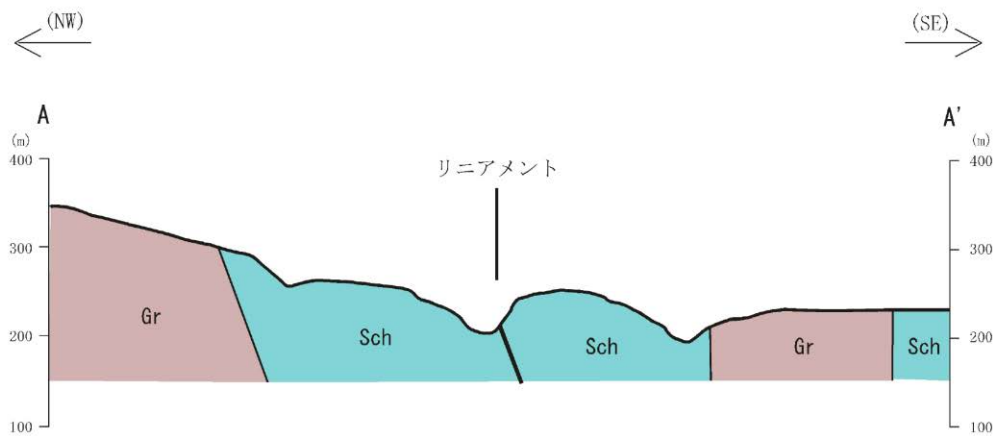
第 3. 2. 106 図 露頭スケッチ (木植)



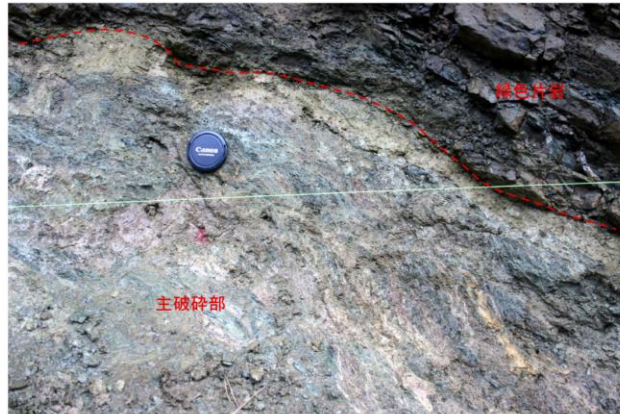
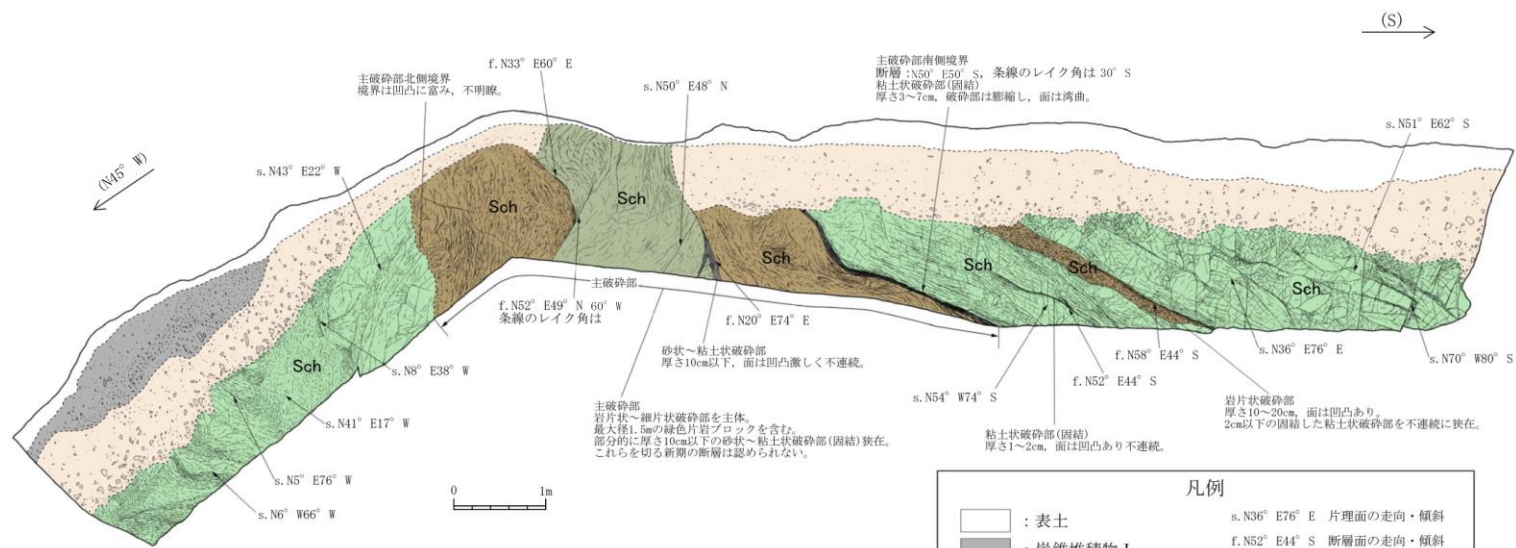
第 3. 2. 107 図 沢口～星山付近のルートマップ



第 3.2.108 図 日上市宮田町付近リニアメント周辺の地質図



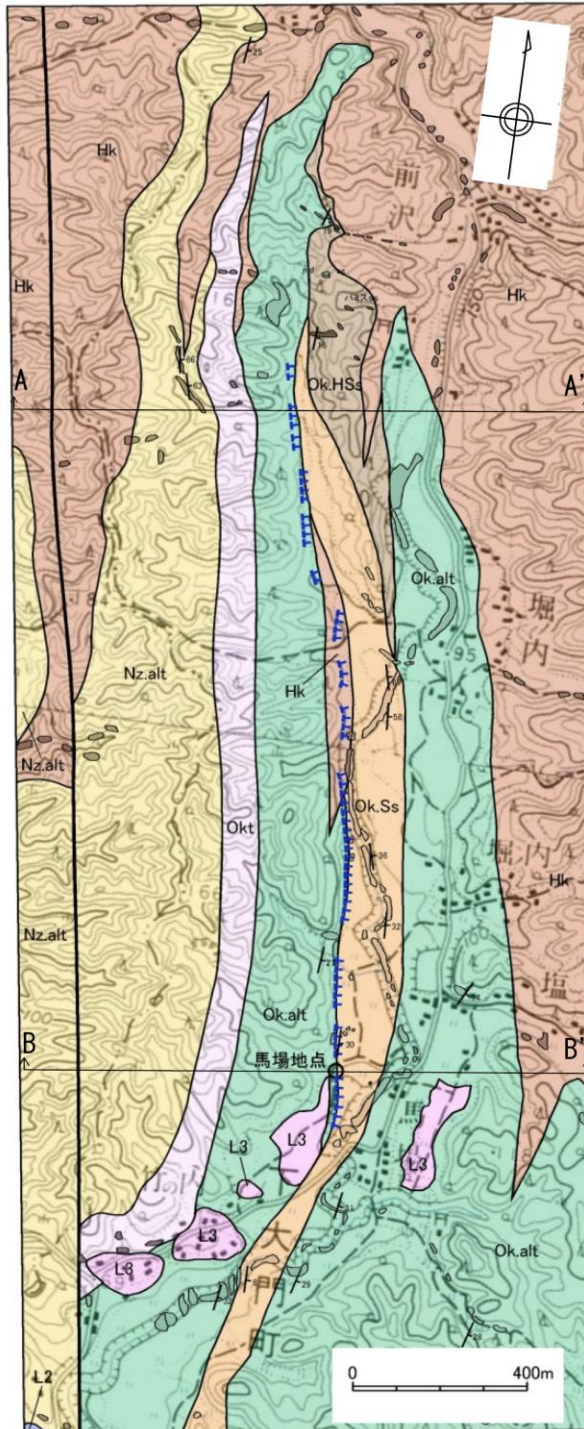
第 3. 2. 109 図 日立市宮田町付近リニアメント周辺の地質断面図



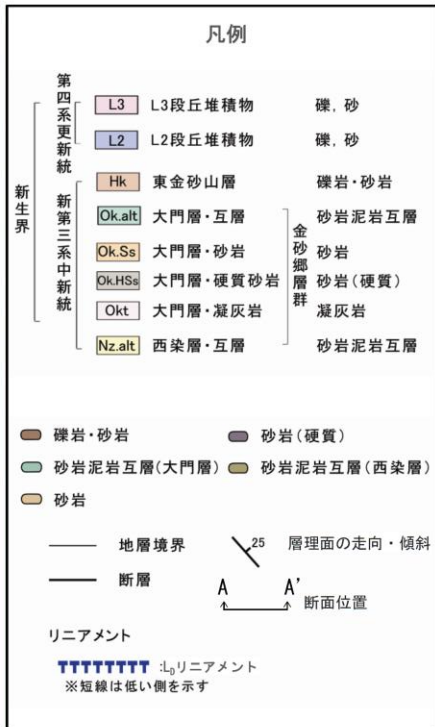
主破砕部南側境界付近の破砕部の状況

- リニアメントが通過する鞍部直下において断層が認められる。
- 断層面は平面的ではなく、破砕部は固結している。
- これらを切る新期の断層は認められない。

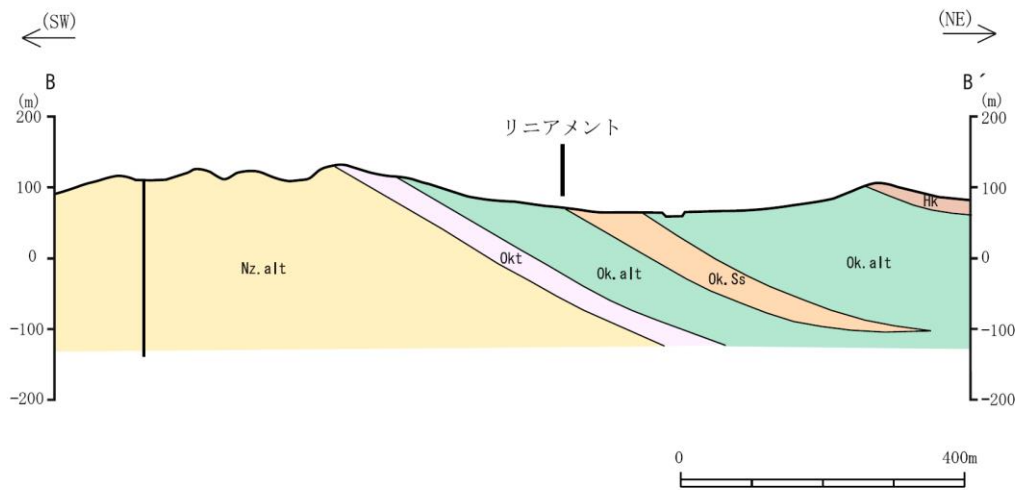
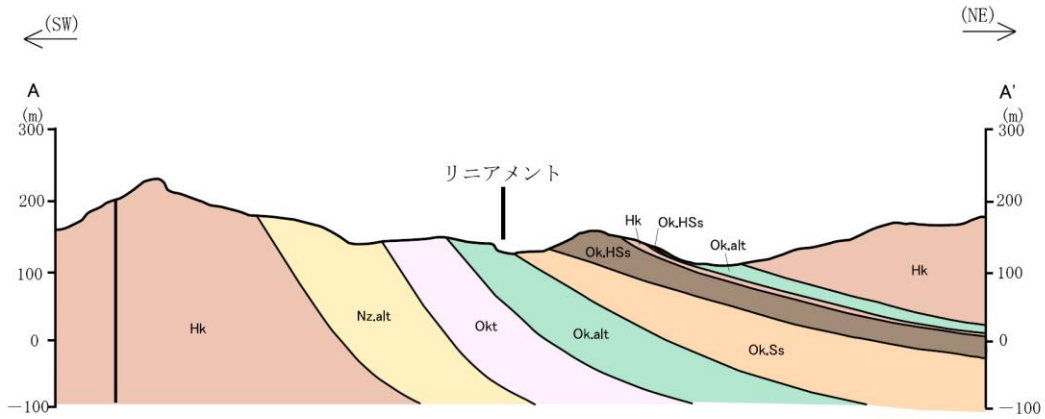
第 3. 2. 110 図 露頭スケッチ (鞍掛トンネル北方)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、四国銀行の
 数値地図200000（地図前後）及び数値地図25000（地図前後）
 を複製したものである。
 （承認番号 平26情復、第337号） 及び
 （承認番号 平28情復、第340号）
 本図を第三者がさらに複製する場合は国土地理院の長の
 承認を得なければならない。

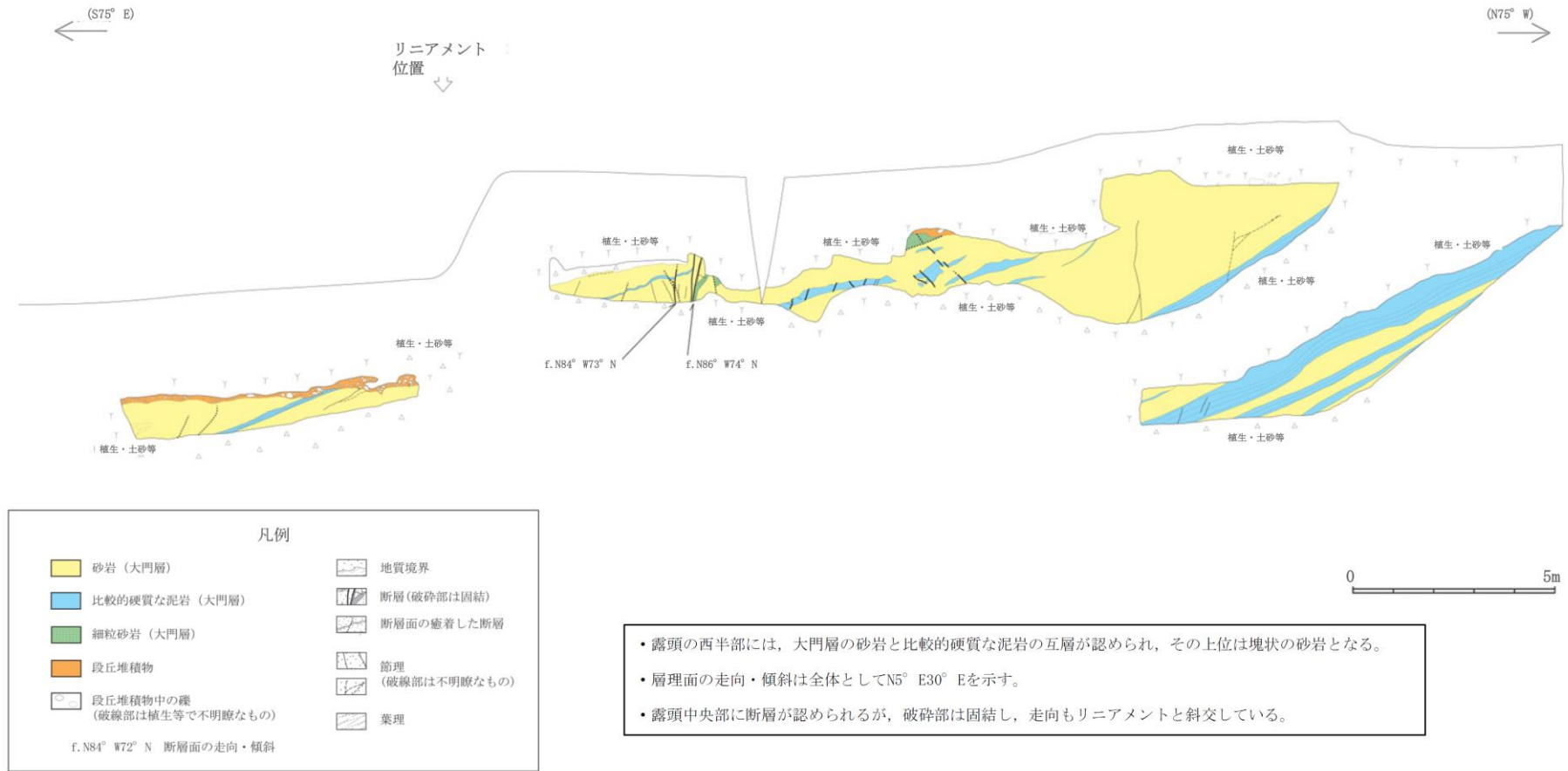


第 3.2.111 図 常陸太田市下大門町付近リニアメント周辺の地質図

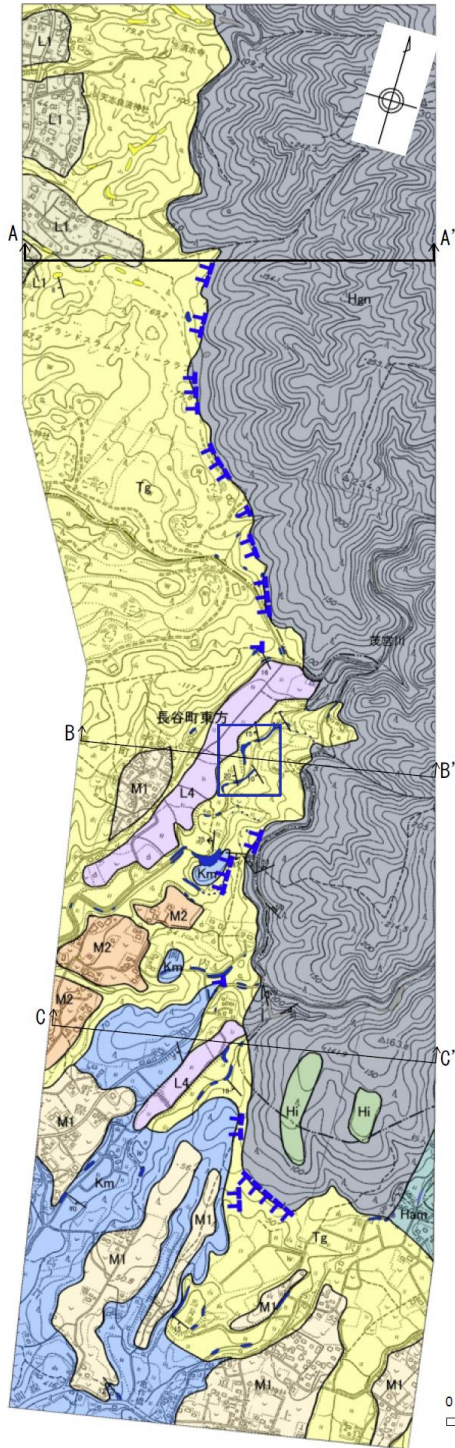


凡例			
新 生 界	新 第 三 系 中 新 統	Hk 東金砂山層	礫岩・砂岩
		Ok.alt 大門層・互層	砂岩泥岩互層
		Ok.Ss 大門層・砂岩	金砂岩
		Ok.HSs 大門層・硬質砂岩	砂岩（硬質）
		Okt 大門層・凝灰岩	凝灰岩
		Nz.alt 西染層・互層	砂岩泥岩互層
		— 地層境界	
		— 断層	

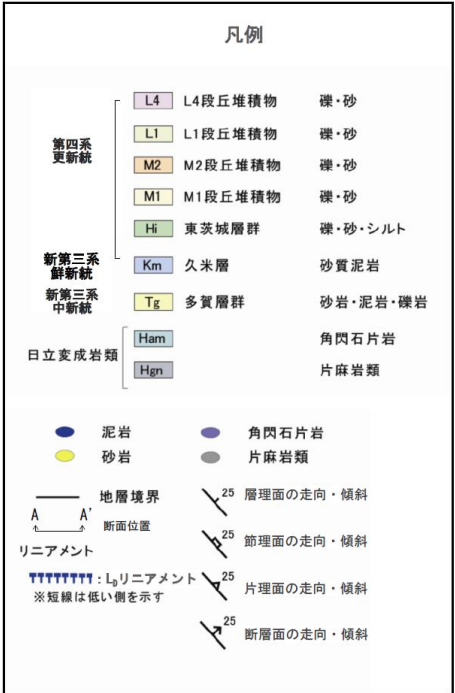
第 3. 2. 112 図 常陸太田市下大門町付近リニアメント周辺の地質断面図



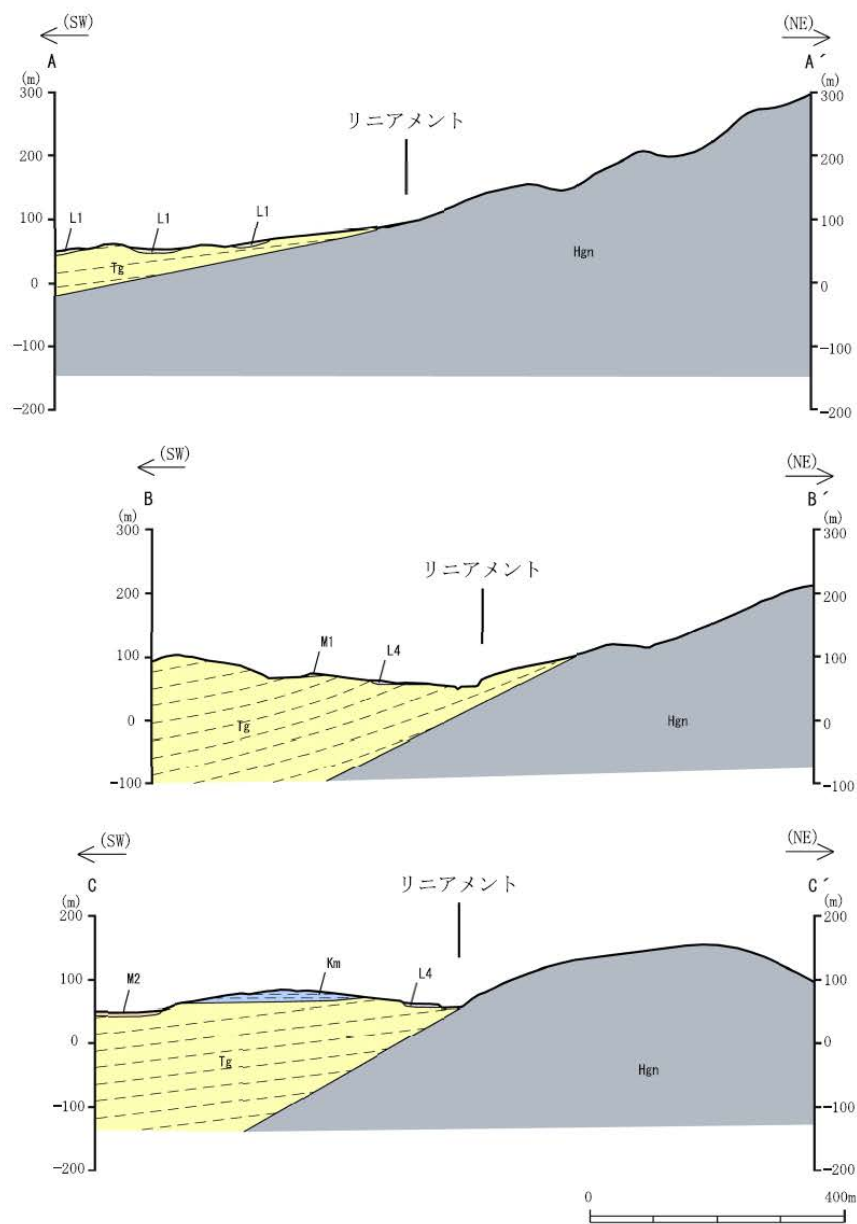
第3.2.113 図 露頭スケッチ (常陸太田市馬場)



この地図は、国土院院長の承認を得て、国民旅行の
 事業費補助20000（地形図費）及び事業費補助20000（地形図費）
 を費したものである。
 〔地形図費〕 地形図費、地形図費、地形図費、及び
 〔地形図費〕 地形図費、地形図費、地形図費、及び
 本図を複製して用いることは、複製する場合は国土院院長の
 承認を得なければならない。

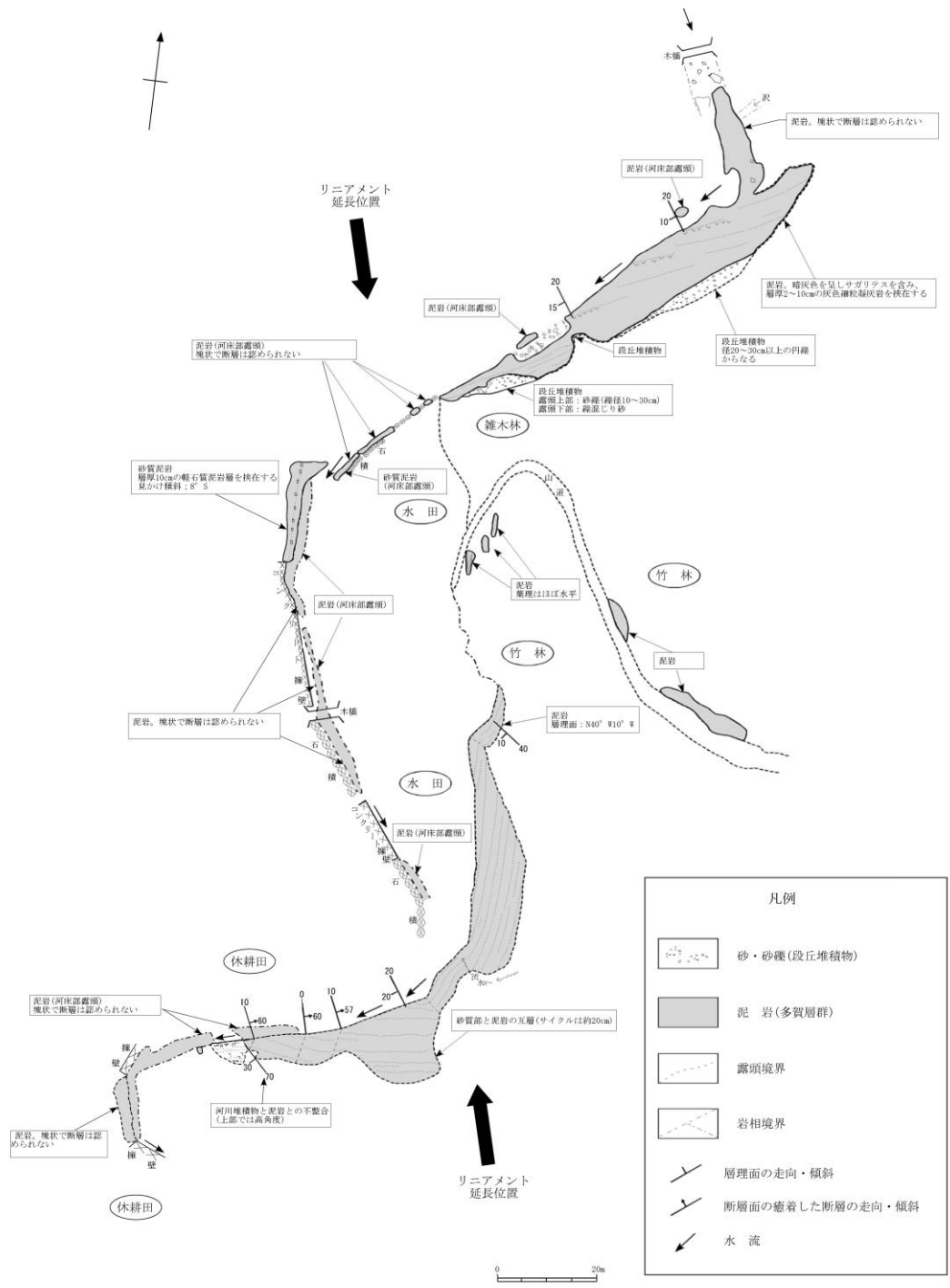


第 3. 2. 114 図 常陸太田市長谷町付近リニアメント周辺の地質図

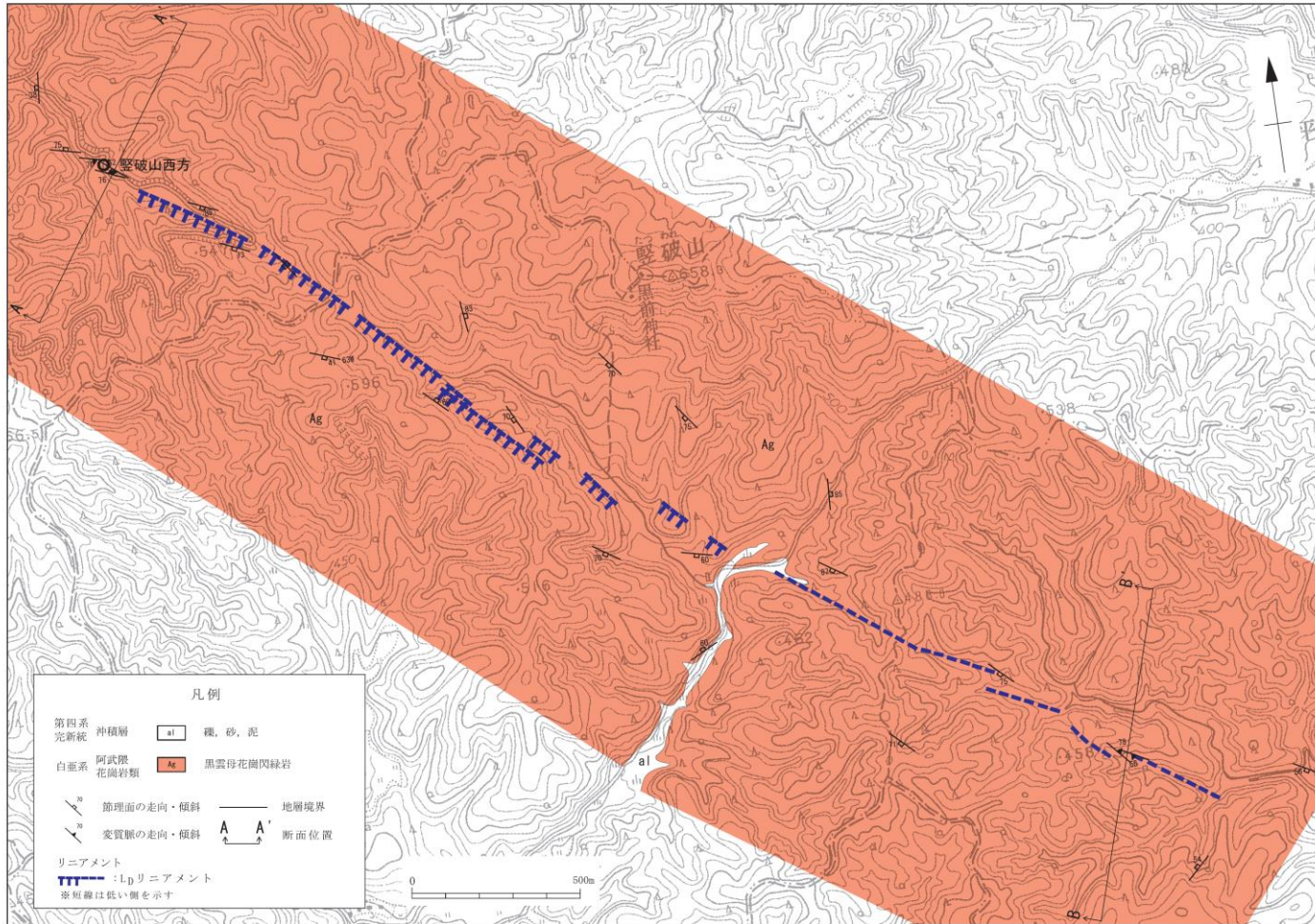


凡例	
第四系 更新統	L4 L4段丘堆積物 礫・砂
	L1 L1段丘堆積物 礫・砂
	M2 M2段丘堆積物 礫・砂
	M1 M1段丘堆積物 礫・砂
新第三系 中新統	Km 久米層 砂質泥岩
	Tg 多賀層群 砂岩・泥岩・礫岩
日立変成岩類	Hgn 片麻岩類
—— 地層境界	
---- 層理面	

第 3.2.115 図 常陸太田市長谷町付近リニアメント周辺の地質断面図

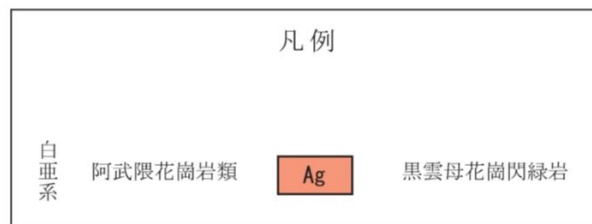
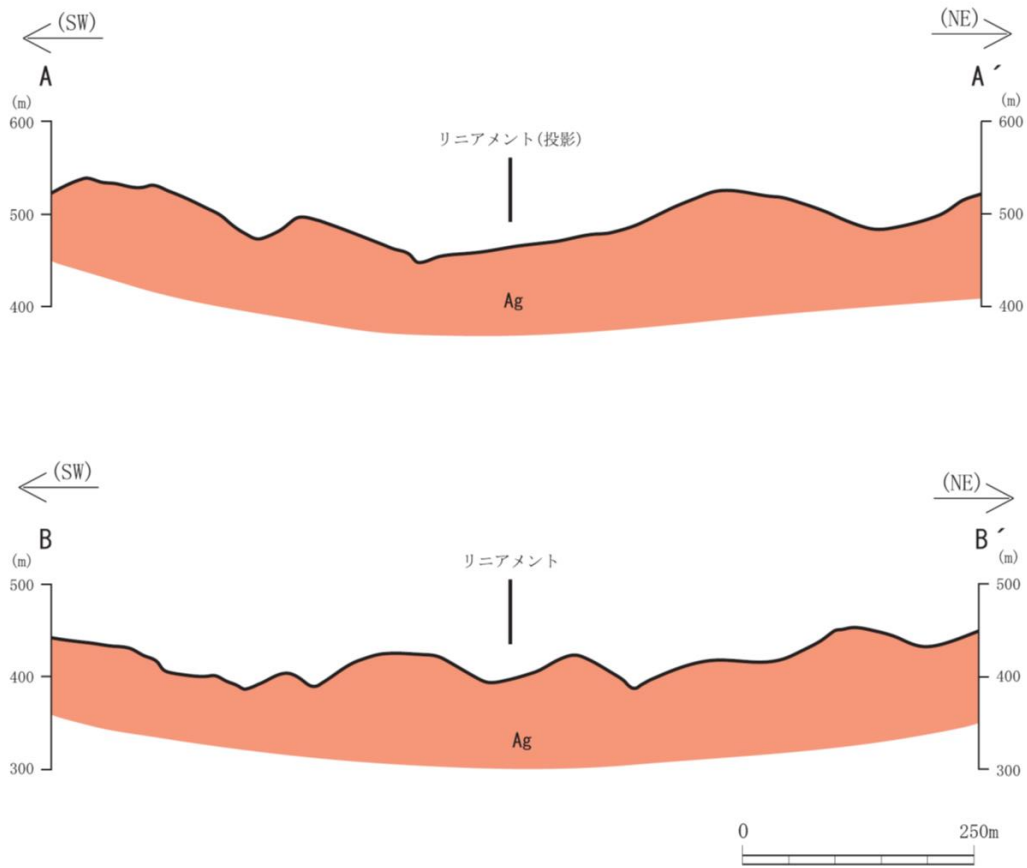


第 3. 2. 116 図 常陸太田市長谷町東方のルートマップ



この地図は、国土院の地質図を基に作成されたもので、詳細な地質調査の結果に基づいて作成されたものではありません。また、この地図は、地質図の作成に当たっては、関係機関との協議を経て作成されたものであり、関係機関の承認を得て作成されたものではありません。

第 3. 2. 117 図 豎破山南西付近リニアメント周辺の地質図



第 3.2.118 図 豎破山南西付近リニアメント周辺の地質断面図

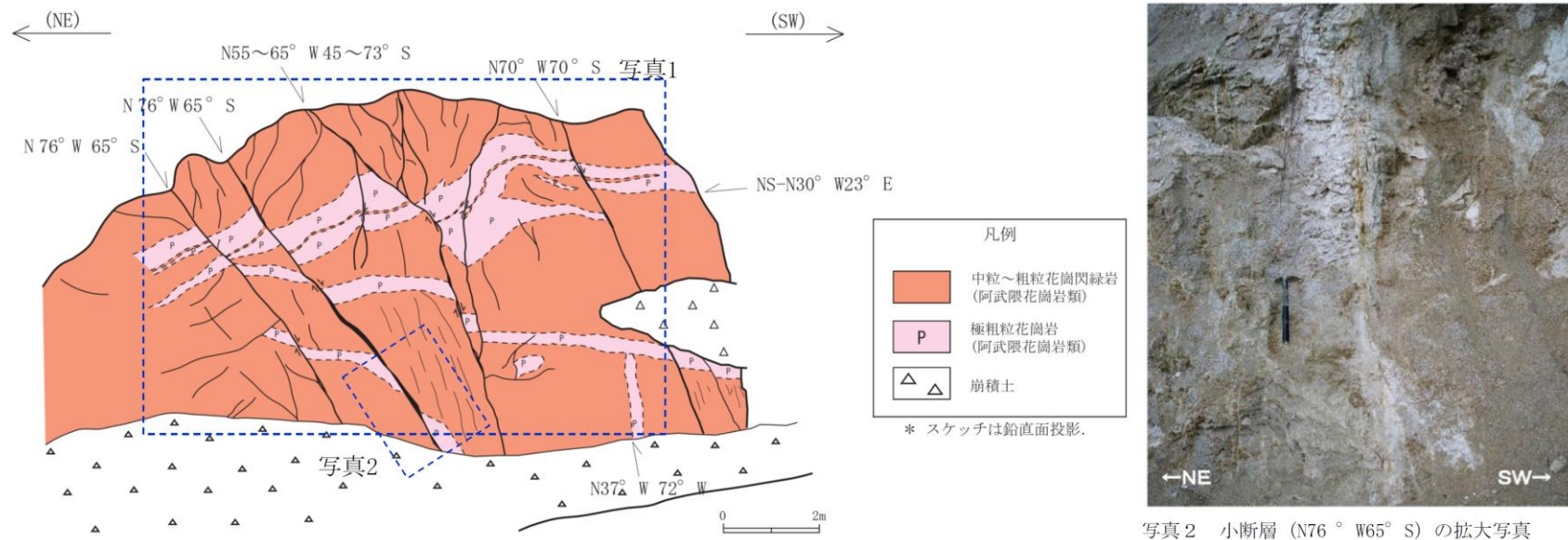
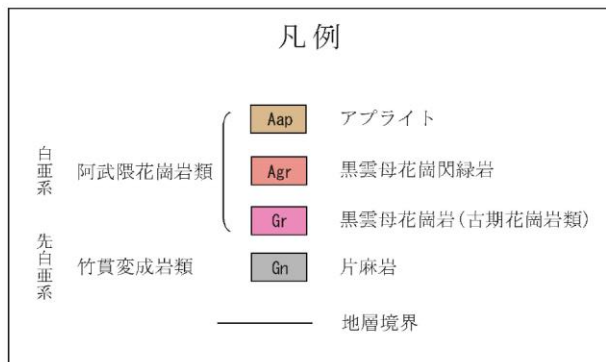
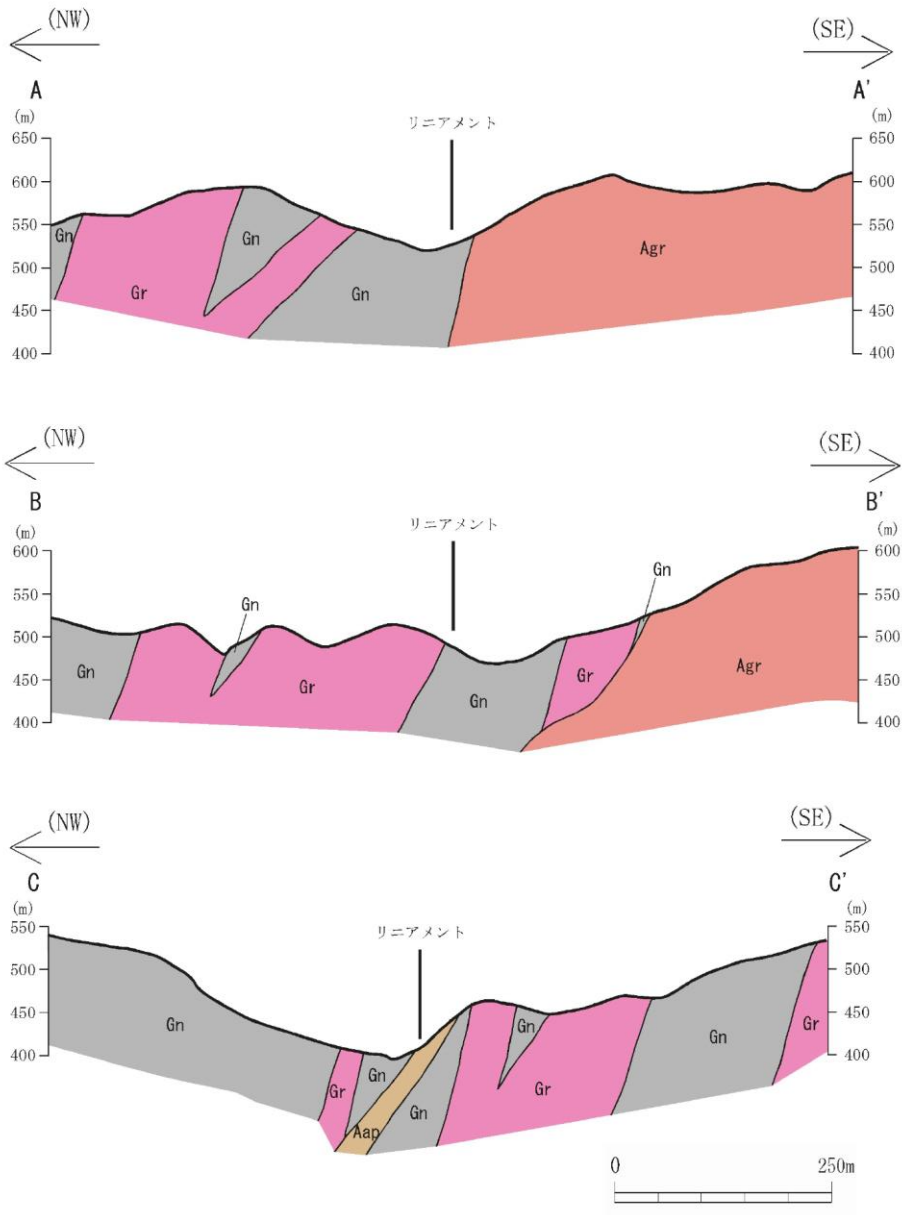


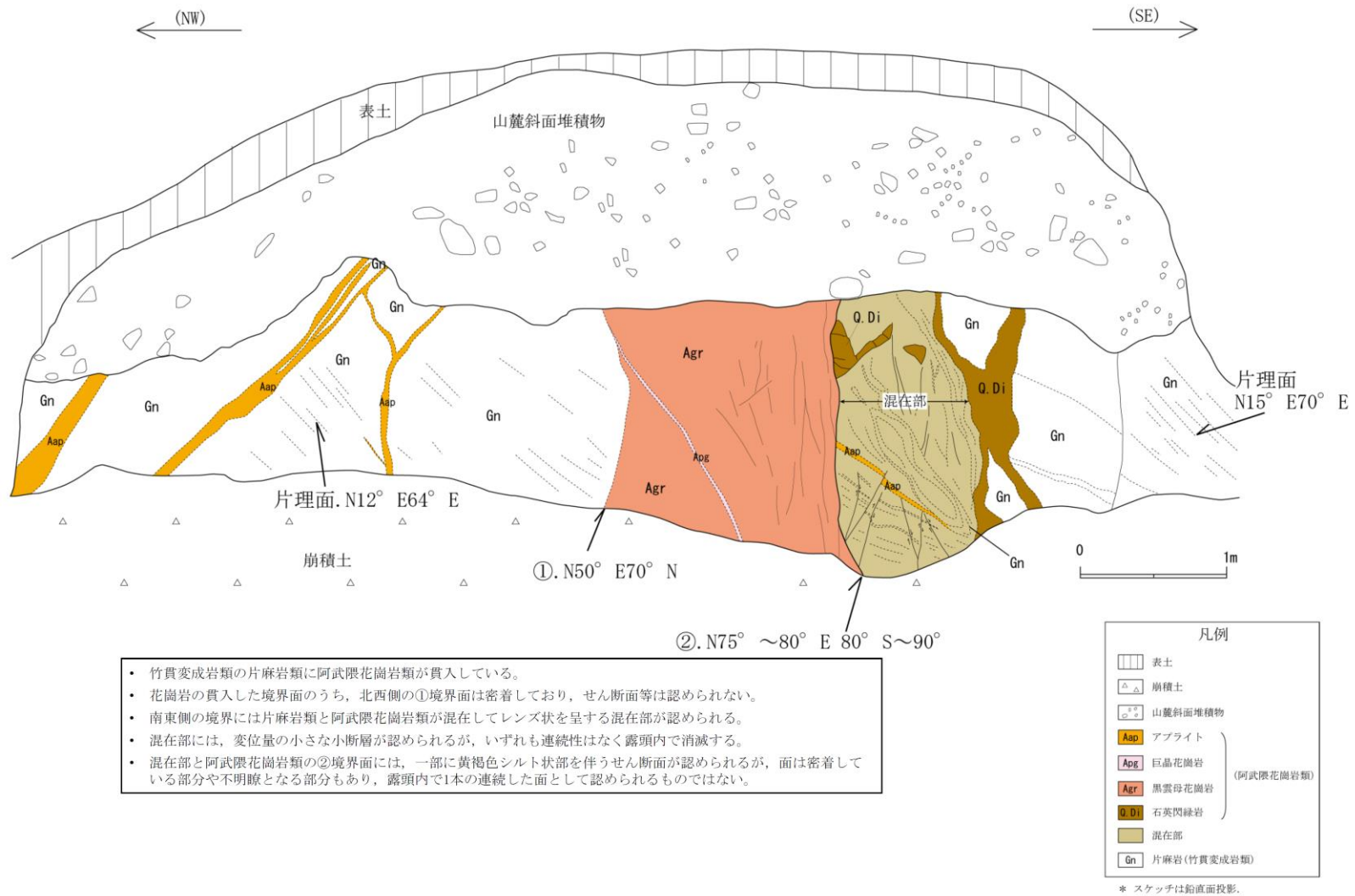
写真1 露頭

- 阿武隈花崗岩類の中粒～粗粒花崗閃緑岩中に貫入する極粗粒花崗岩に、小規模な断層が数条認められるが、いずれも変位は小さい。
- これらの断層には淡黄灰白色を呈する熱水変質脈が網目状に認められる。
- この熱水変質脈は、幅10cm程度以下で、ほとんどは固結しており、一部に不明瞭なせん断面が認められるが、長く連続するものは認められない。

第3.2.119 図 露頭スケッチ (豎破山西方)

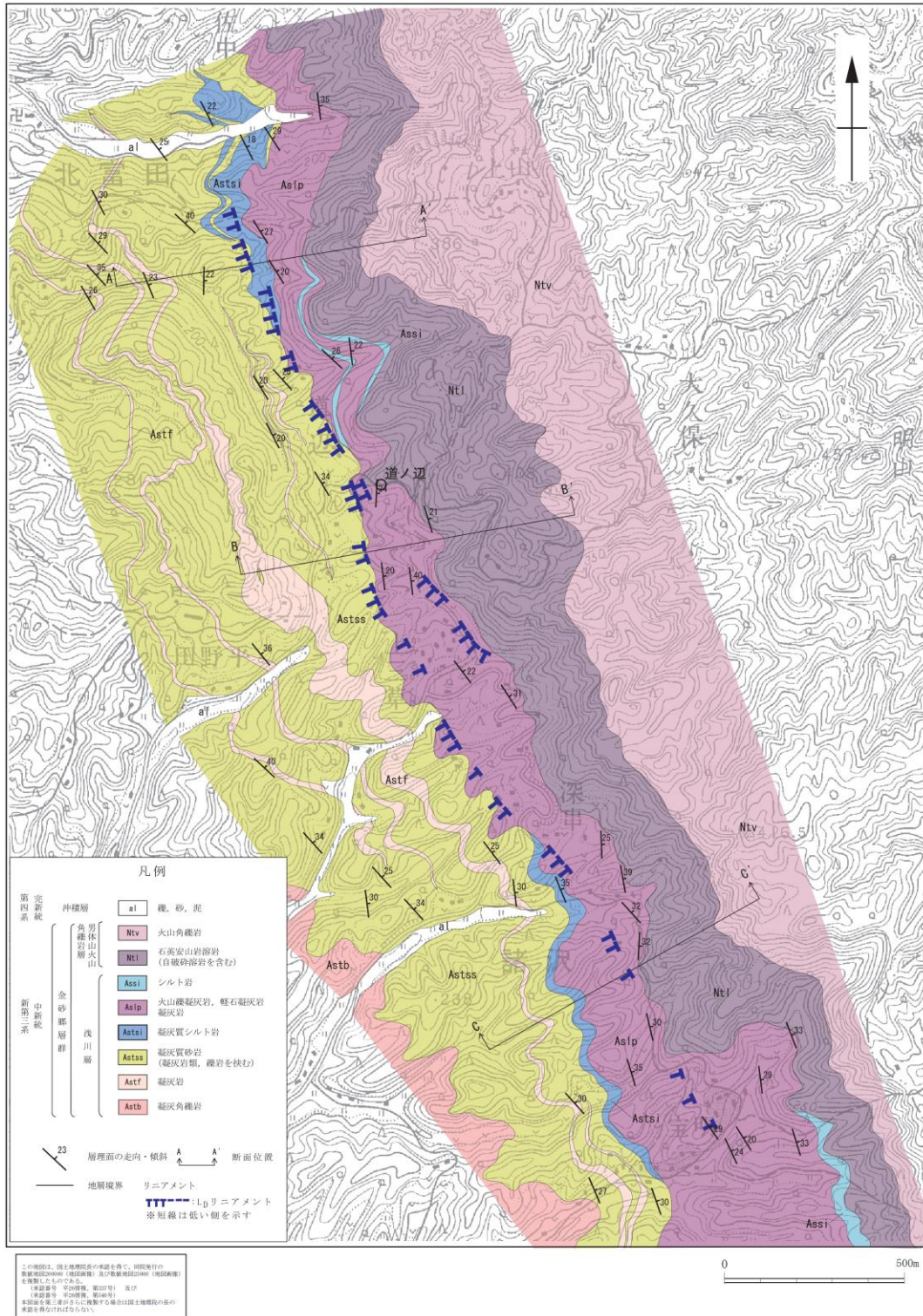


第 3.2.121 図 常陸太田市小中町東方付近リニアメント周辺の地質断面図

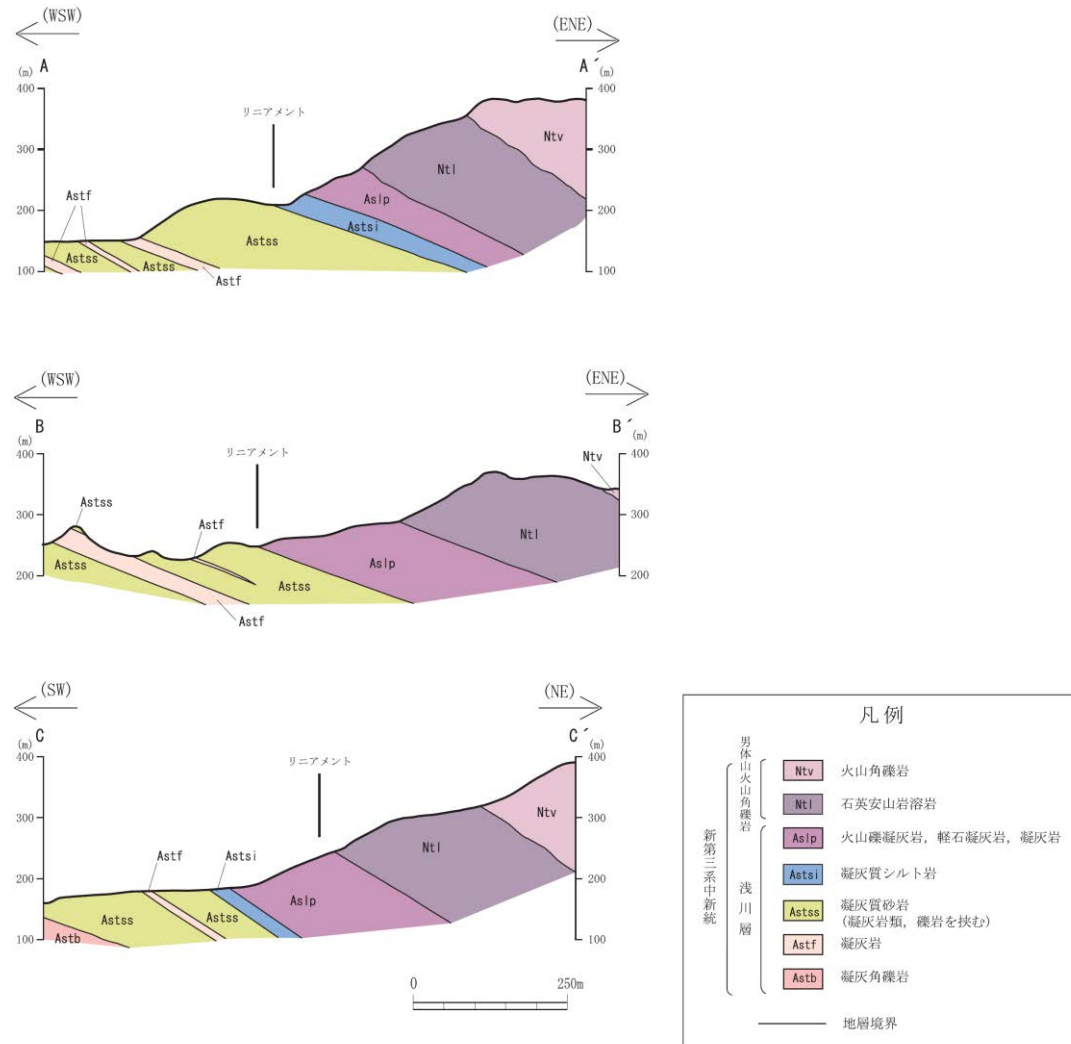


- 竹貫変成岩類の片麻岩類に阿武隈花崗岩類が貫入している。
- 花崗岩の貫入した境界面のうち、北西側の①境界面は密着しており、せん断面等は認められない。
- 南東側の境界には片麻岩類と阿武隈花崗岩類が混在してレンズ状を呈する混在部が認められる。
- 混在部には、変位量の小さな小断層が認められるが、いずれも連続性はなく露頭内で消滅する。
- 混在部と阿武隈花崗岩類の②境界面には、一部に黄褐色シルト状部を伴うせん断面が認められるが、面は密着している部分や不明瞭となる部分もあり、露頭内で1本の連続した面として認められるものではない。

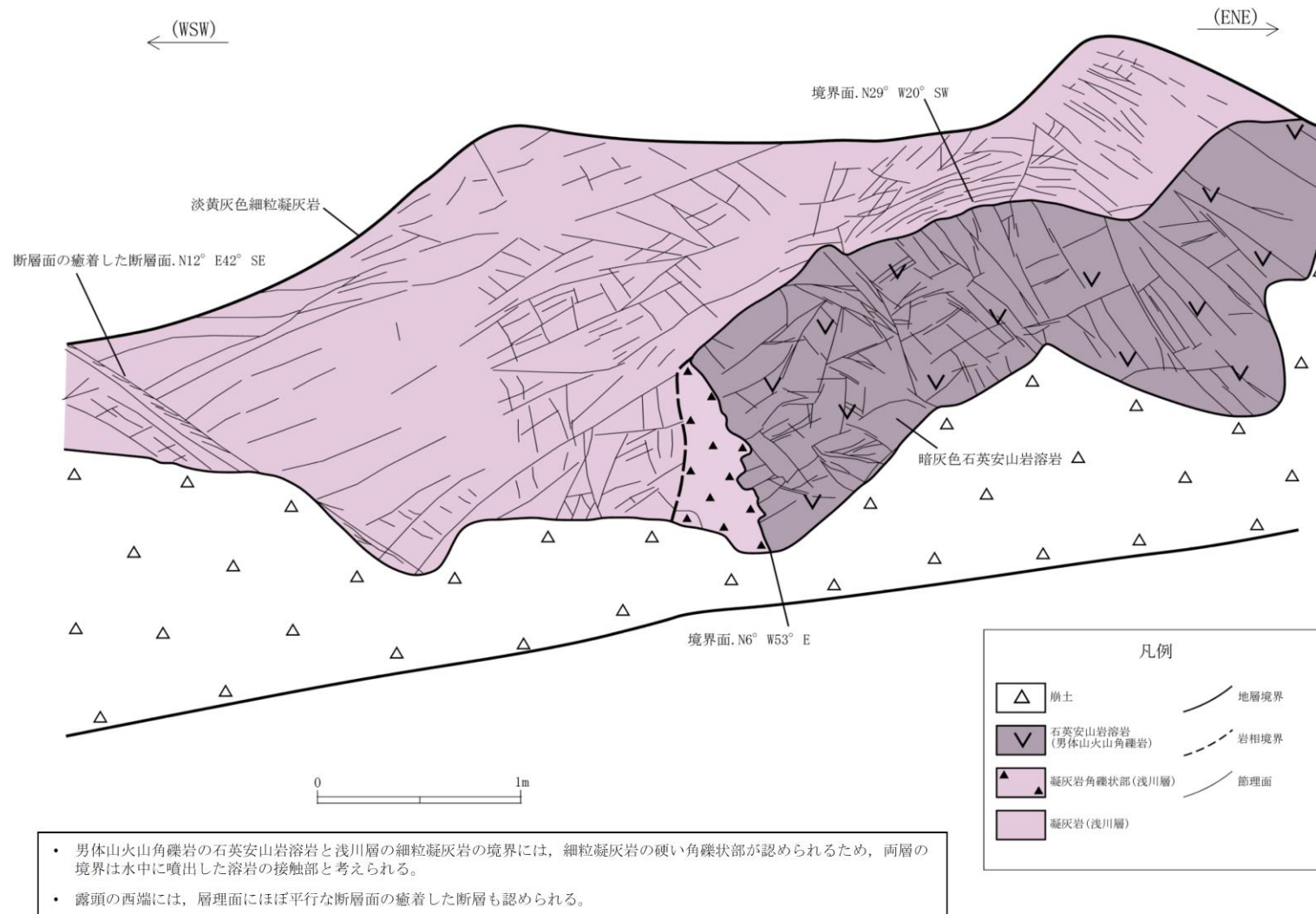
第 3. 2. 122 図 露頭スケッチ (常陸太田市小中町東方)



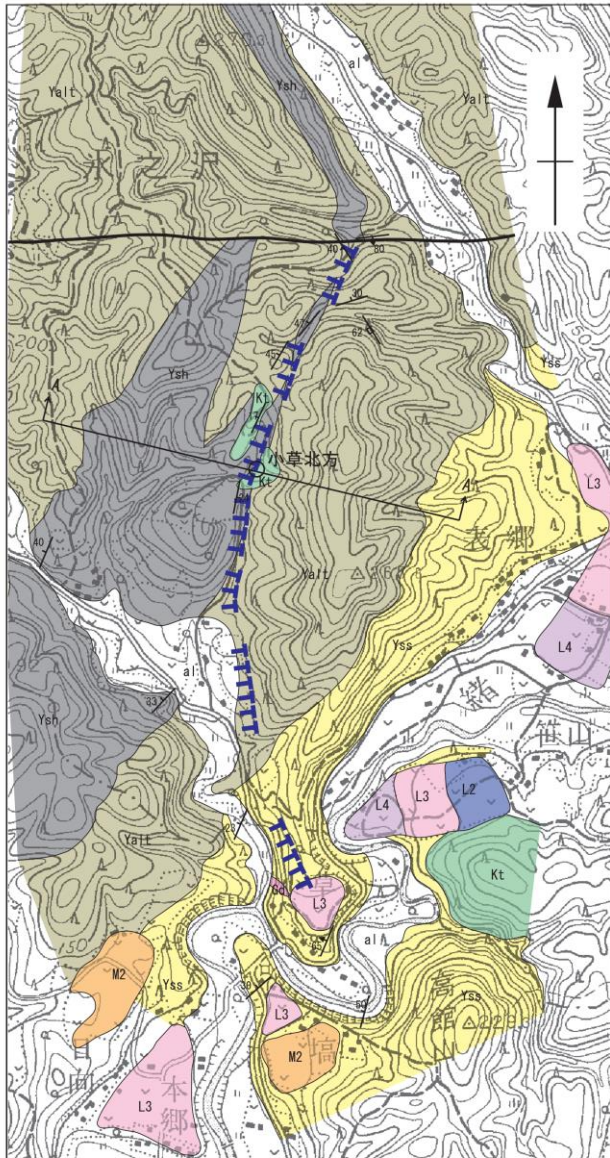
第 3. 2. 123 図 久慈郡大子町北富田付近リニアメント周辺の地質図



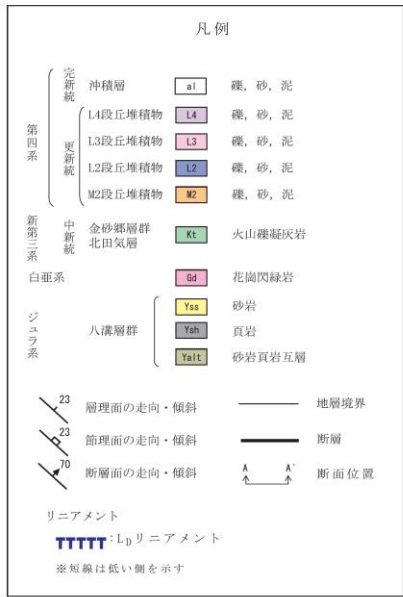
第 3.2.124 図 久慈郡太子町北富田付近リニアメント周辺の地質断面図



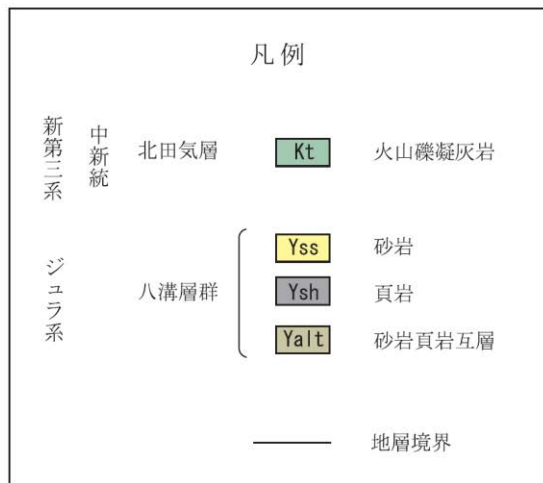
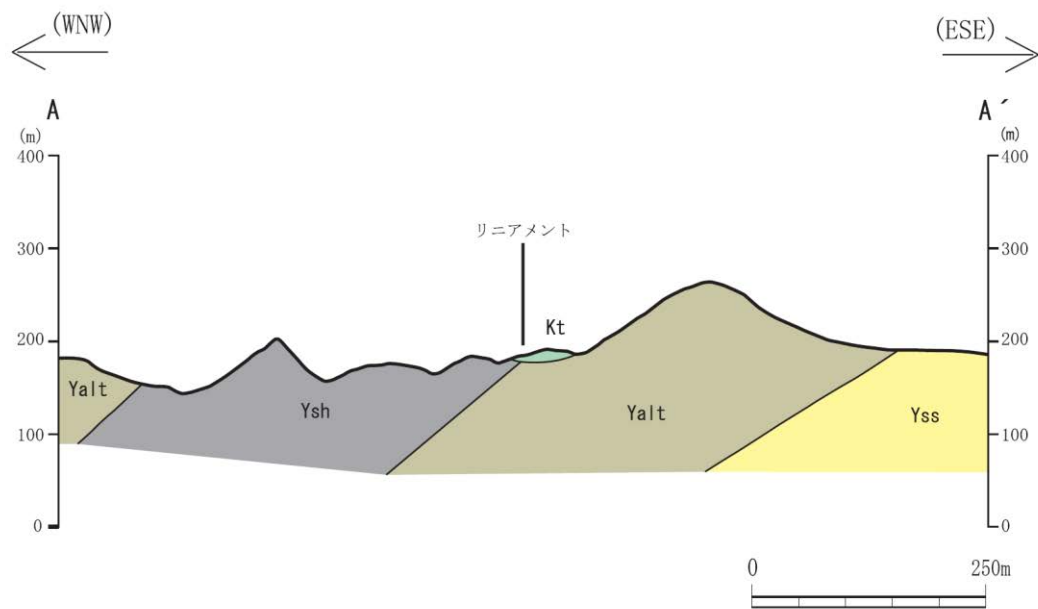
第 3. 2. 125 図 露頭スケッチ (久慈郡太子町道ノ辺)



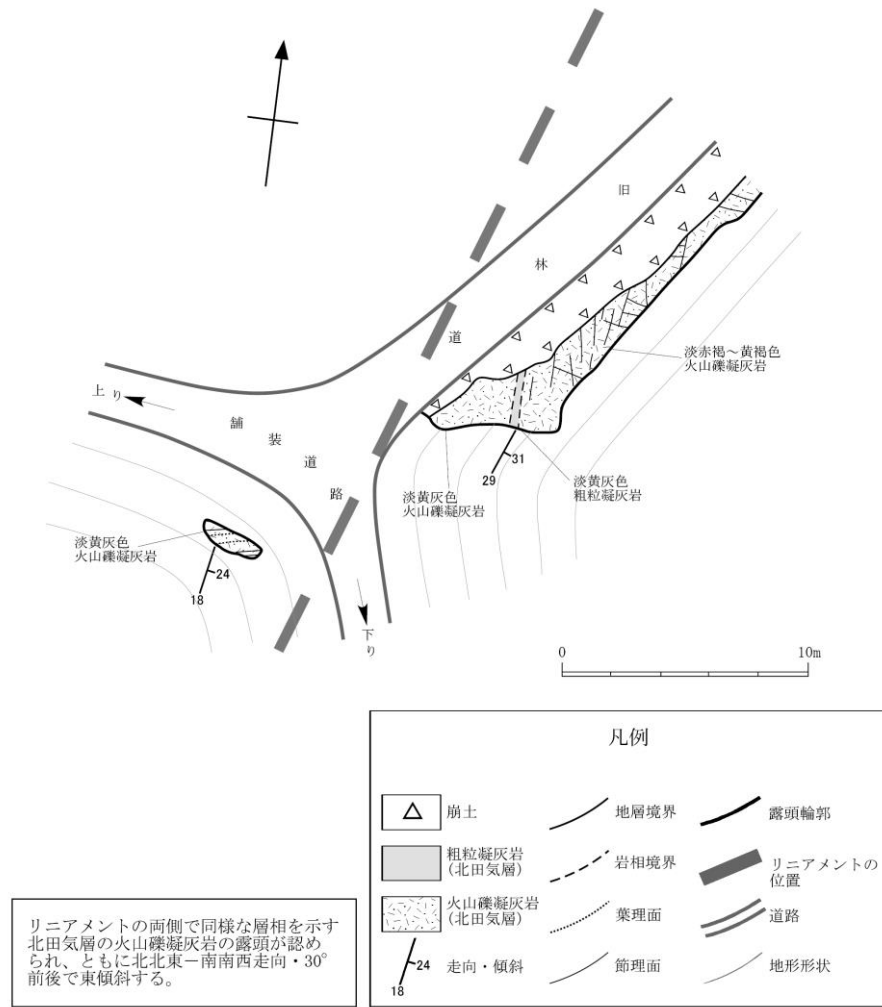
この地図は、国土院院長の承認を経て、同院発行の
 標準地形図(1:50,000) (地形図番号) 及び地質図(1:50,000) (地質図番号)
 等資料をもとに作成された。なお、
 ・本図は、地形図、地質図、断面位置、及び
 ・本図は、地形図、地質図、断面位置、及び
 ・本図は、地形図、地質図、断面位置、及び
 承認を受けて作成された。本図は、国土院院長の承認
 を受けて作成された。



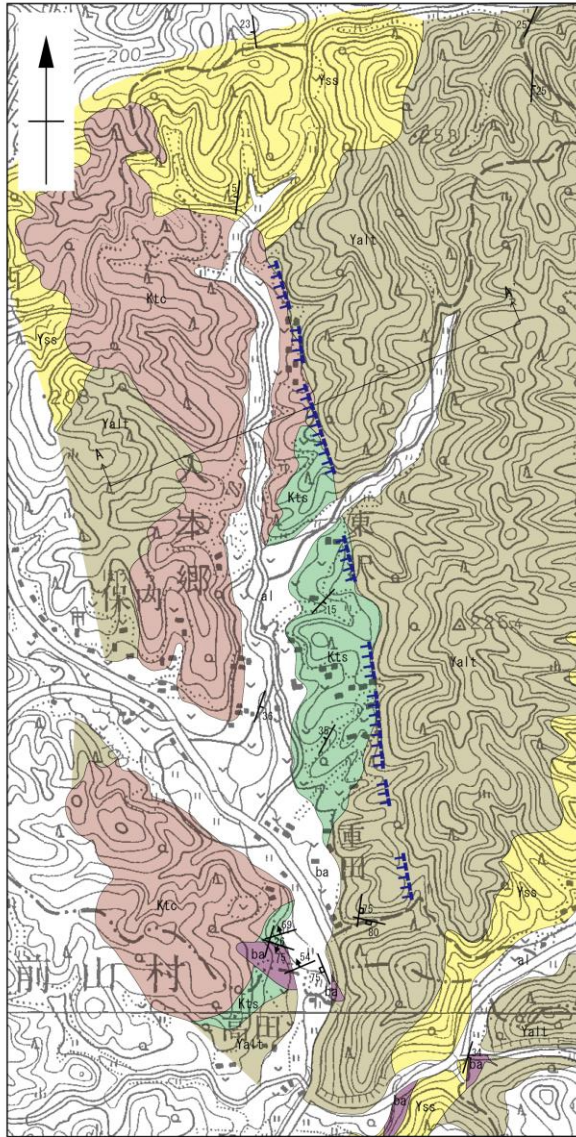
第 3.2.126 図 常陸大宮市氷之沢付近リニアメント周辺の地質図



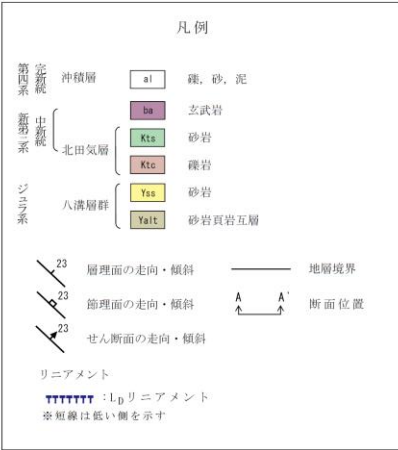
第 3. 2. 127 図 常陸大宮市氷之沢付近リニアメント周辺の地質断面図



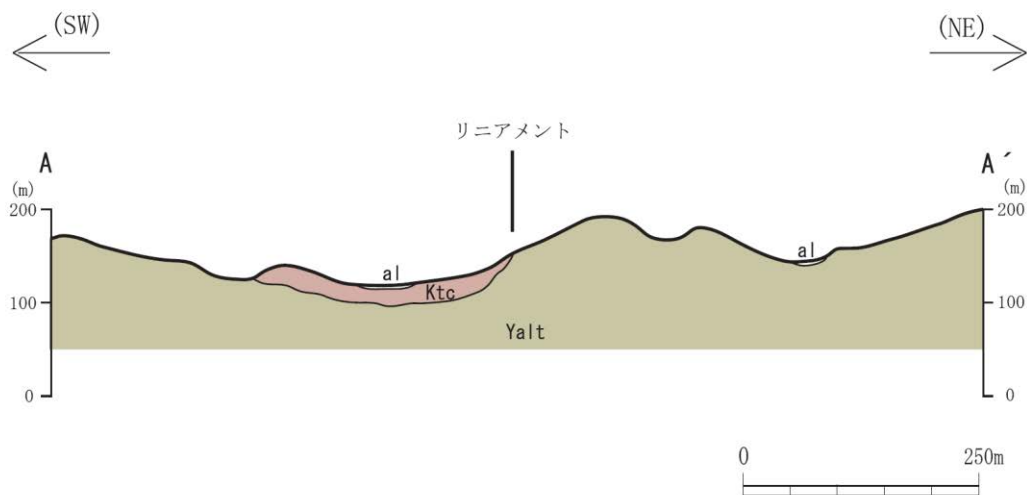
第 3. 2. 128 図 常陸大宮市小草北方付近の拡大ルートマップ



この地図は、国土庁地質院長の承認を得て、国土地理院の
 縮尺1:25,000の「地形地質図 常陸大宮市周辺(地質図幅)
 1:50,000(第23号) 及び
 本図面を第三者がさらに複製する場合は国土庁地質院の長の
 承認を得なければならない。

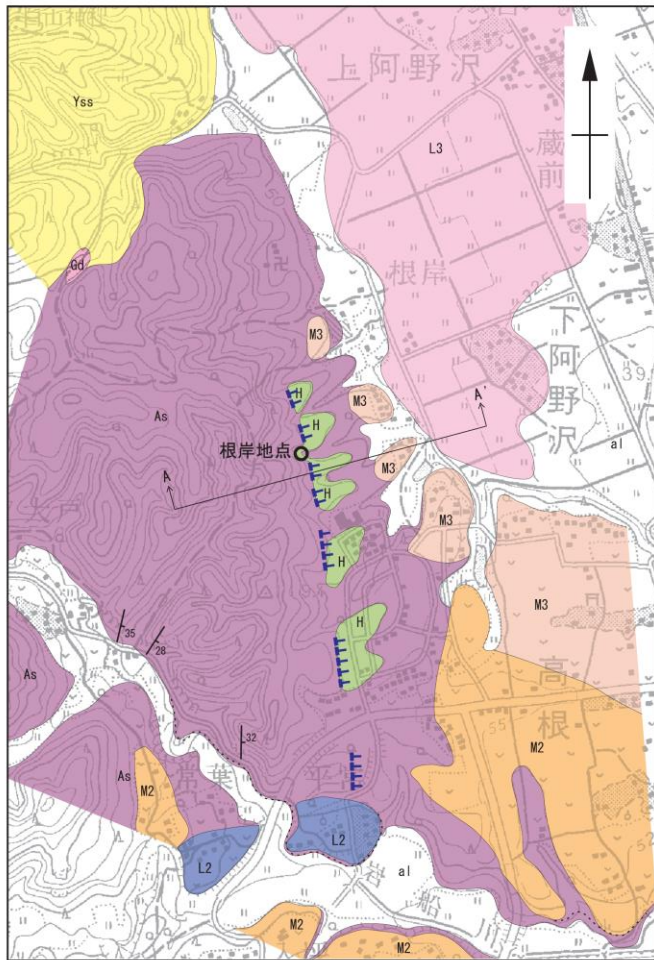


第 3. 2. 129 図 常陸大宮市入本郷付近リニアメント周辺の地質図

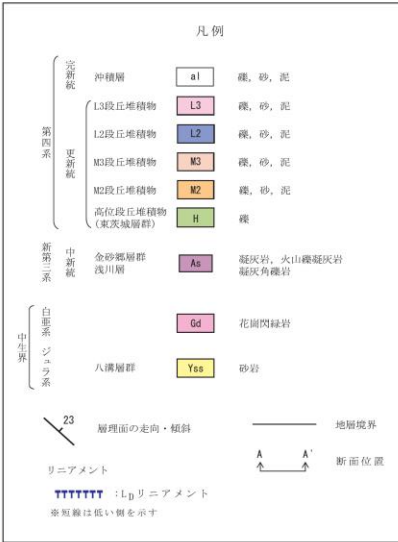


凡例			
第四系	完新統	沖積層	al 礫, 砂, 泥
新第三系	中新統	北田気層	Ktc 礫岩
ジュラ系		八溝層群	Yalt 砂岩頁岩互層
		—	地層境界

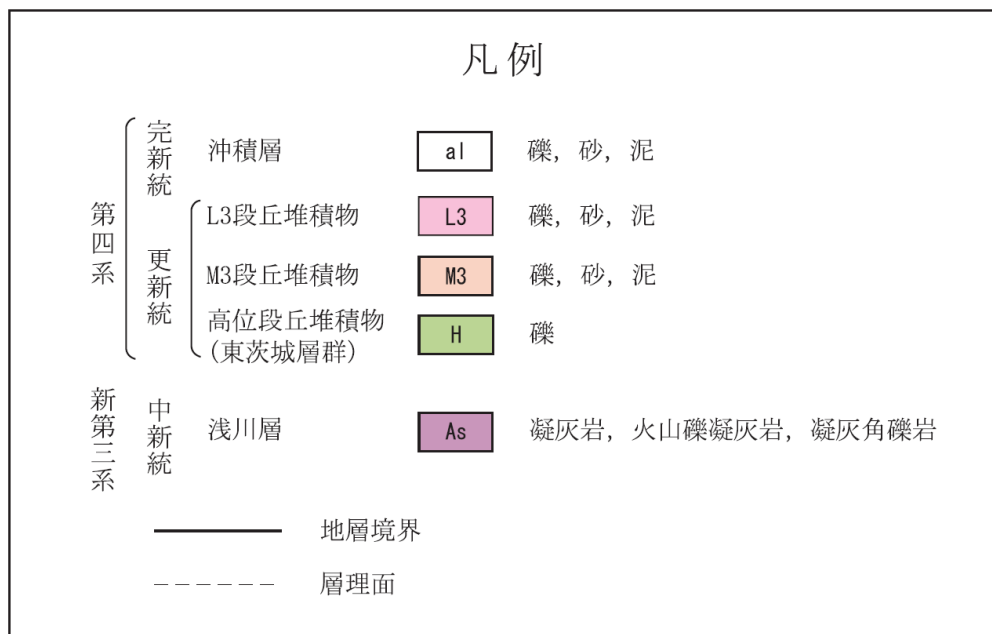
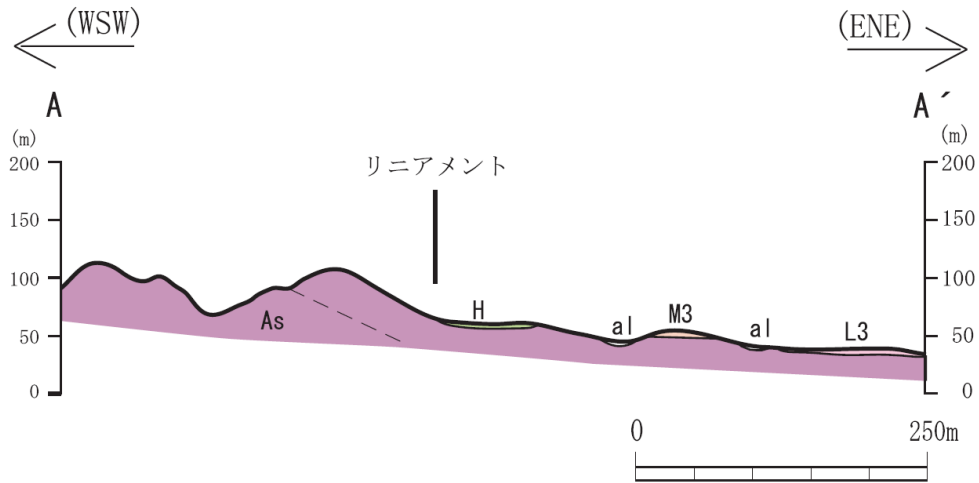
第 3. 2. 130 図 常陸大宮市入本郷付近リニアメント周辺の地質断面図



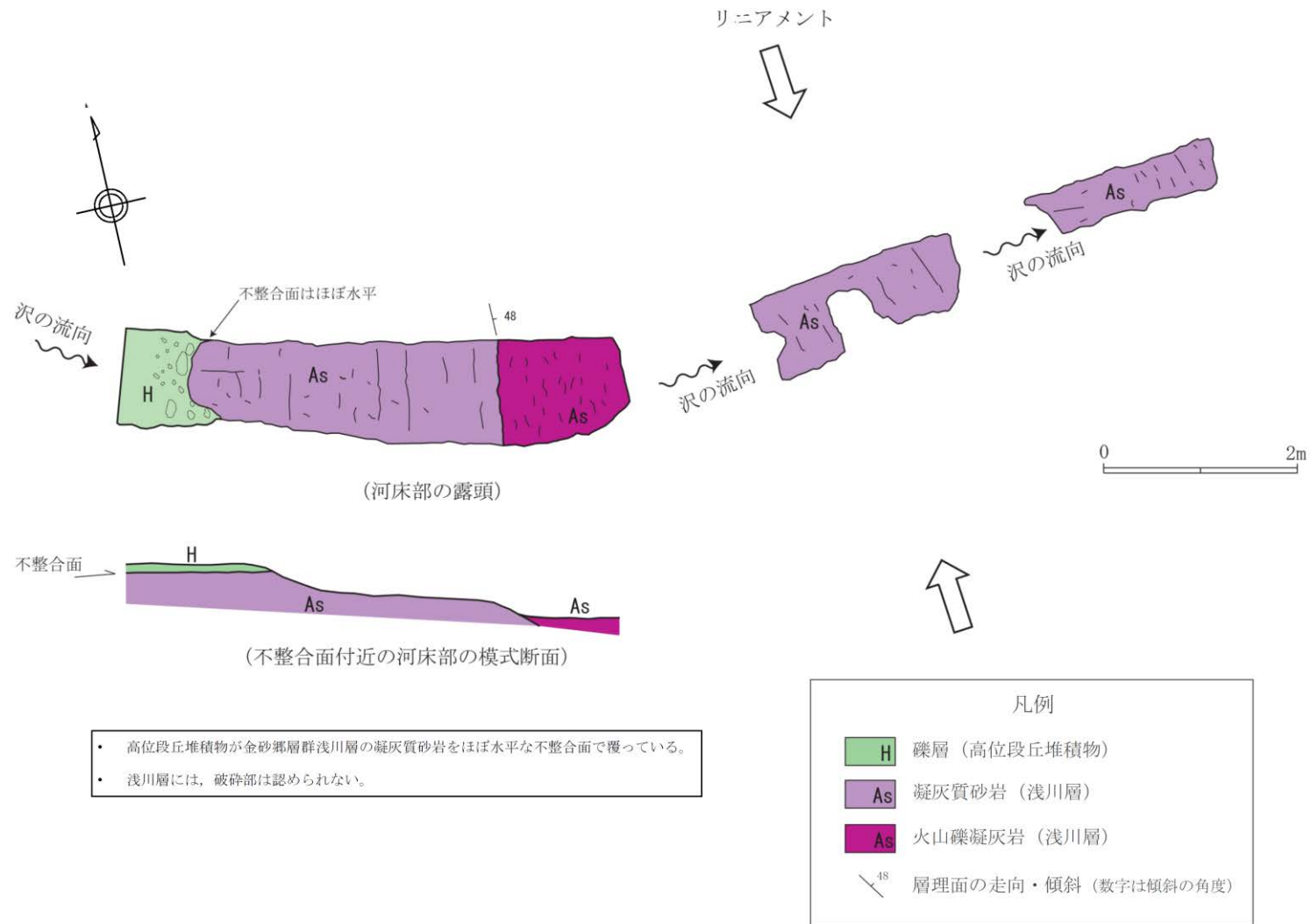
この地図は、国土地理院長の承認を得て、防災資料の
 調査地図20000（防災地図）及び調査地図25000（地図画像）
 を複製したものである。（国土院令 第319号）及び
 本図面を第三書とみなして複製する場合は国土地理院の長の
 承認を得なければならない。



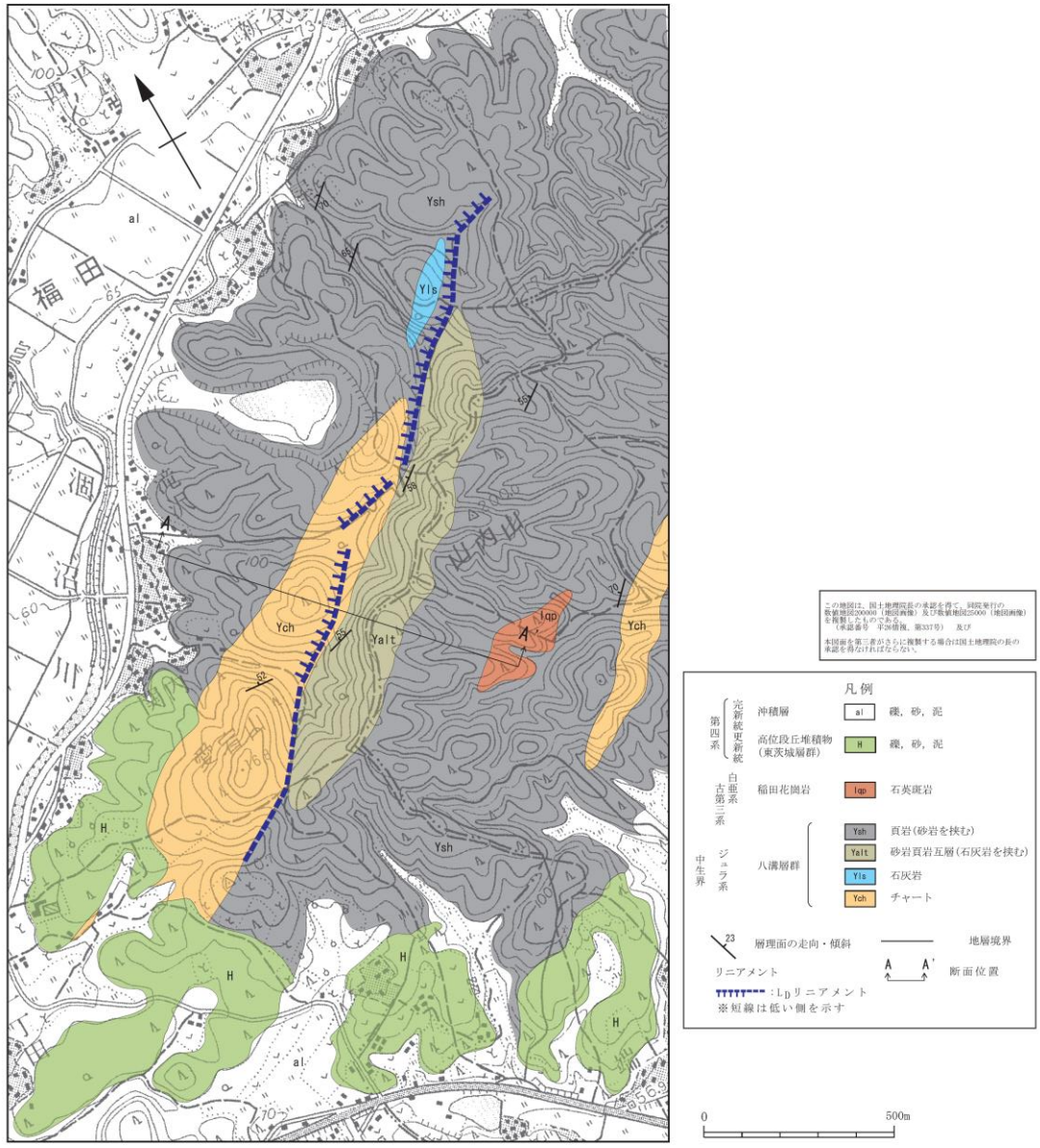
第 3. 2. 131 図 東茨城郡城里町高根付近リニアメント周辺の地質図



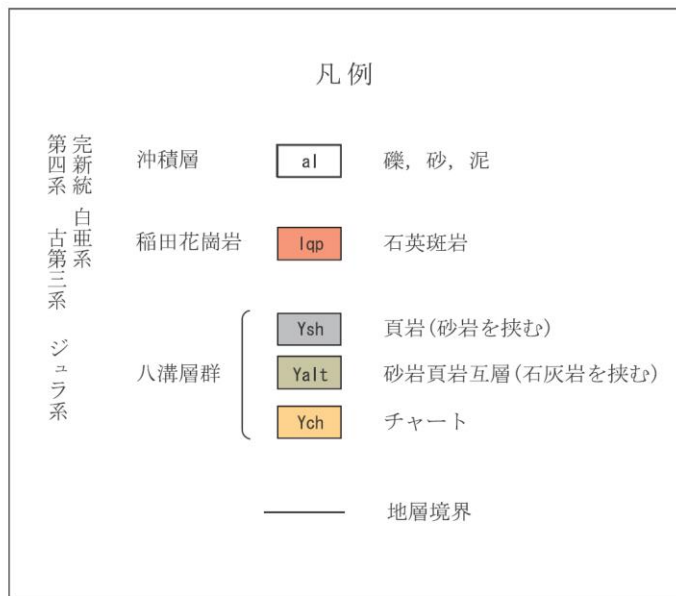
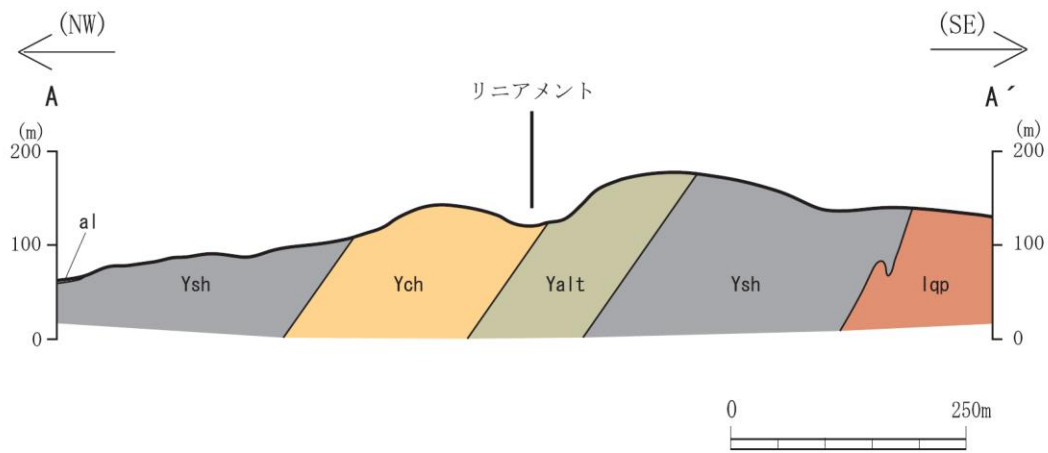
第 3. 2. 132 図 東茨城郡城里町高根付近リニアメント周辺の地質断面図



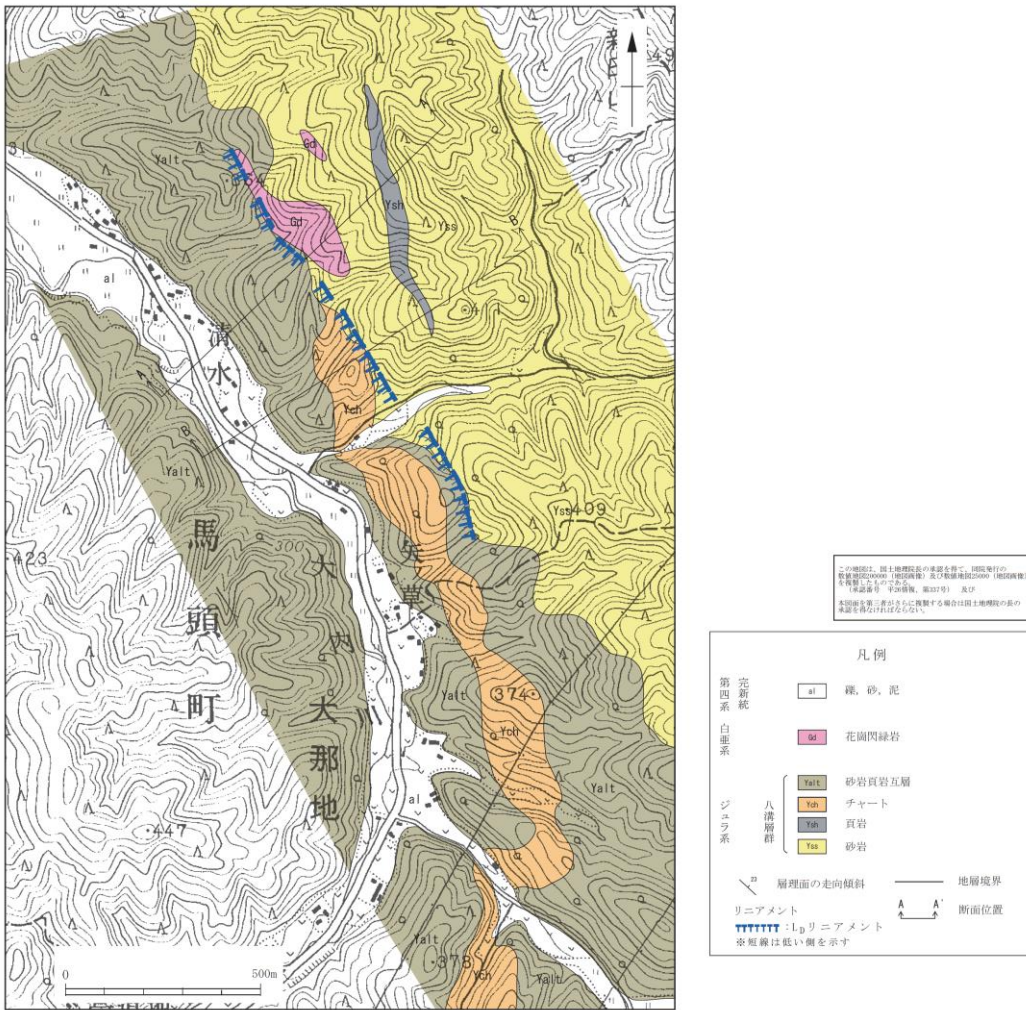
第 3. 2. 133 図 露頭スケッチ (東茨城郡城里町根岸)



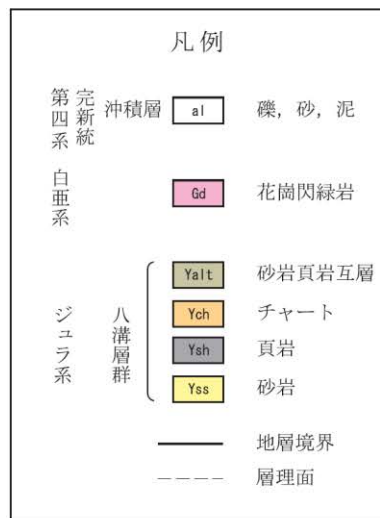
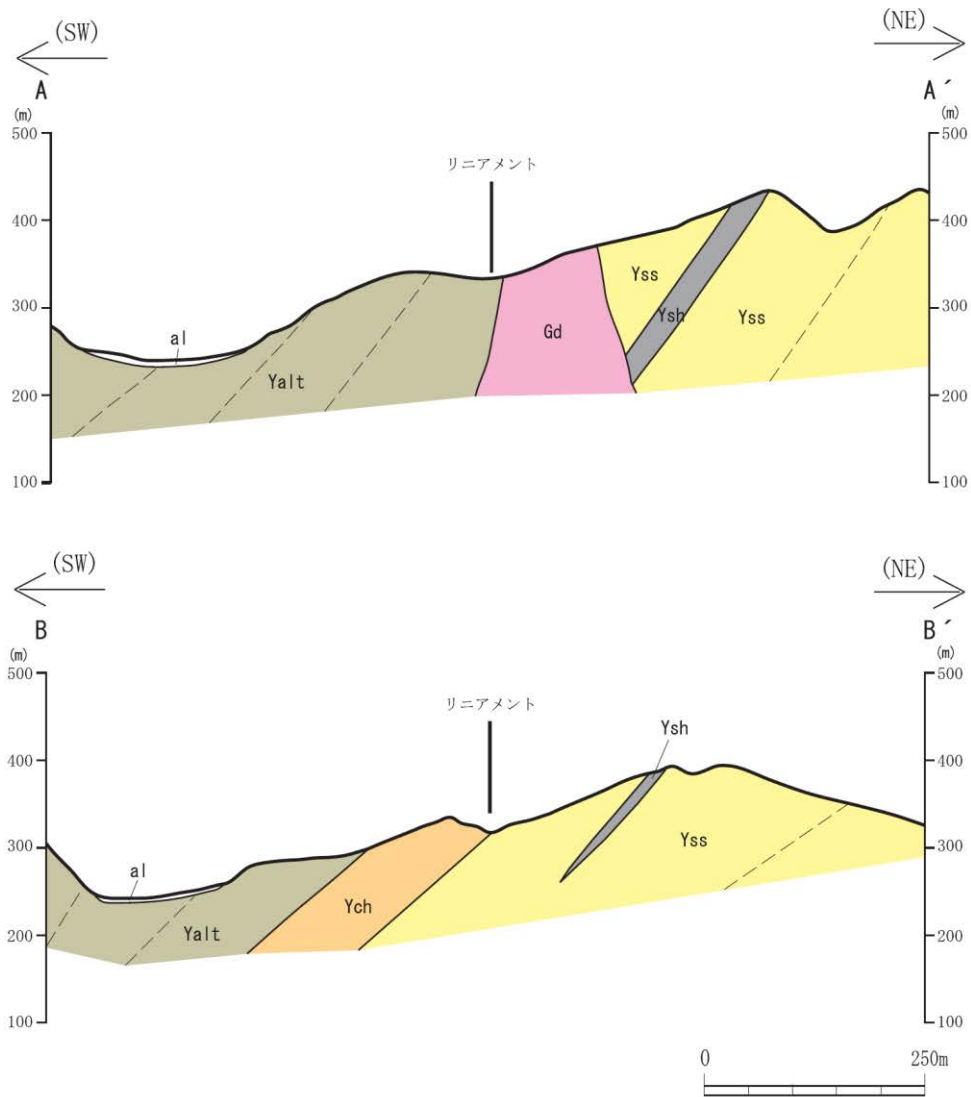
第 3.2.134 図 笠間市福田南方付近リニアメント周辺の地質図



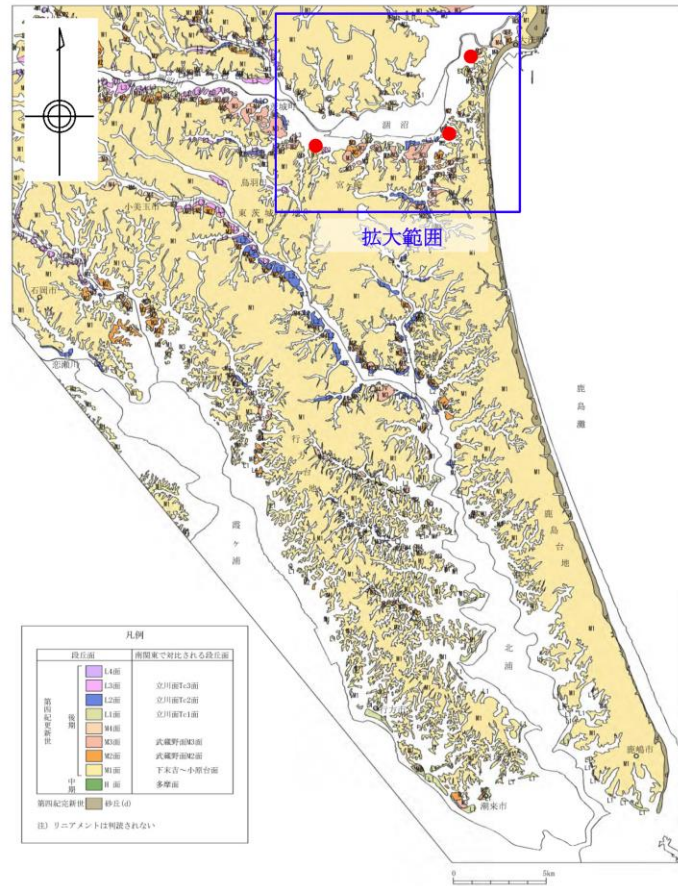
第 3. 2. 135 図 笠間市福田南方付近リニアメント周辺の地質断面図



第 3. 2. 136 図 栃木県那珂川町大那地付近リニアメント周辺の地質図

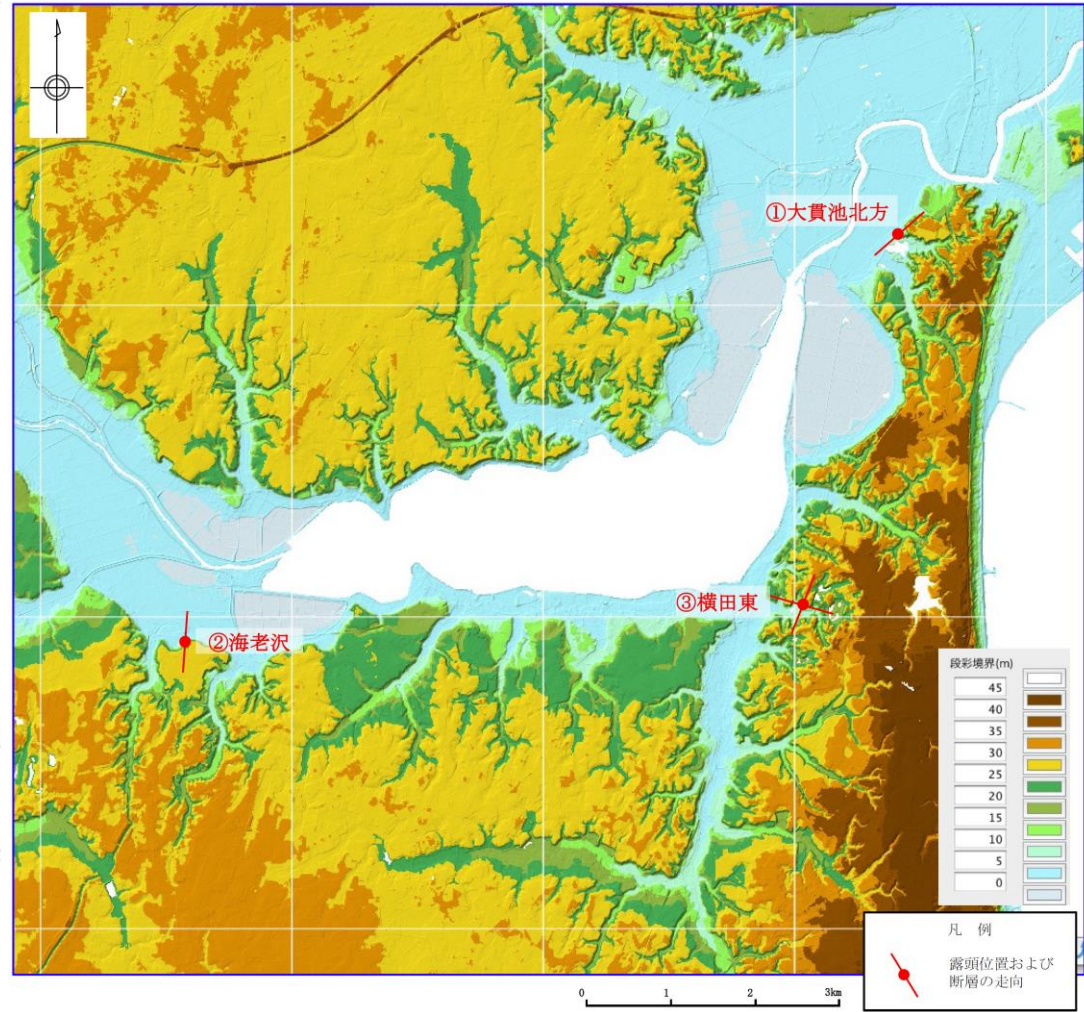


第 3. 2. 137 図 栃木県那珂川町大那地付近リニアメント周辺の地質断面図



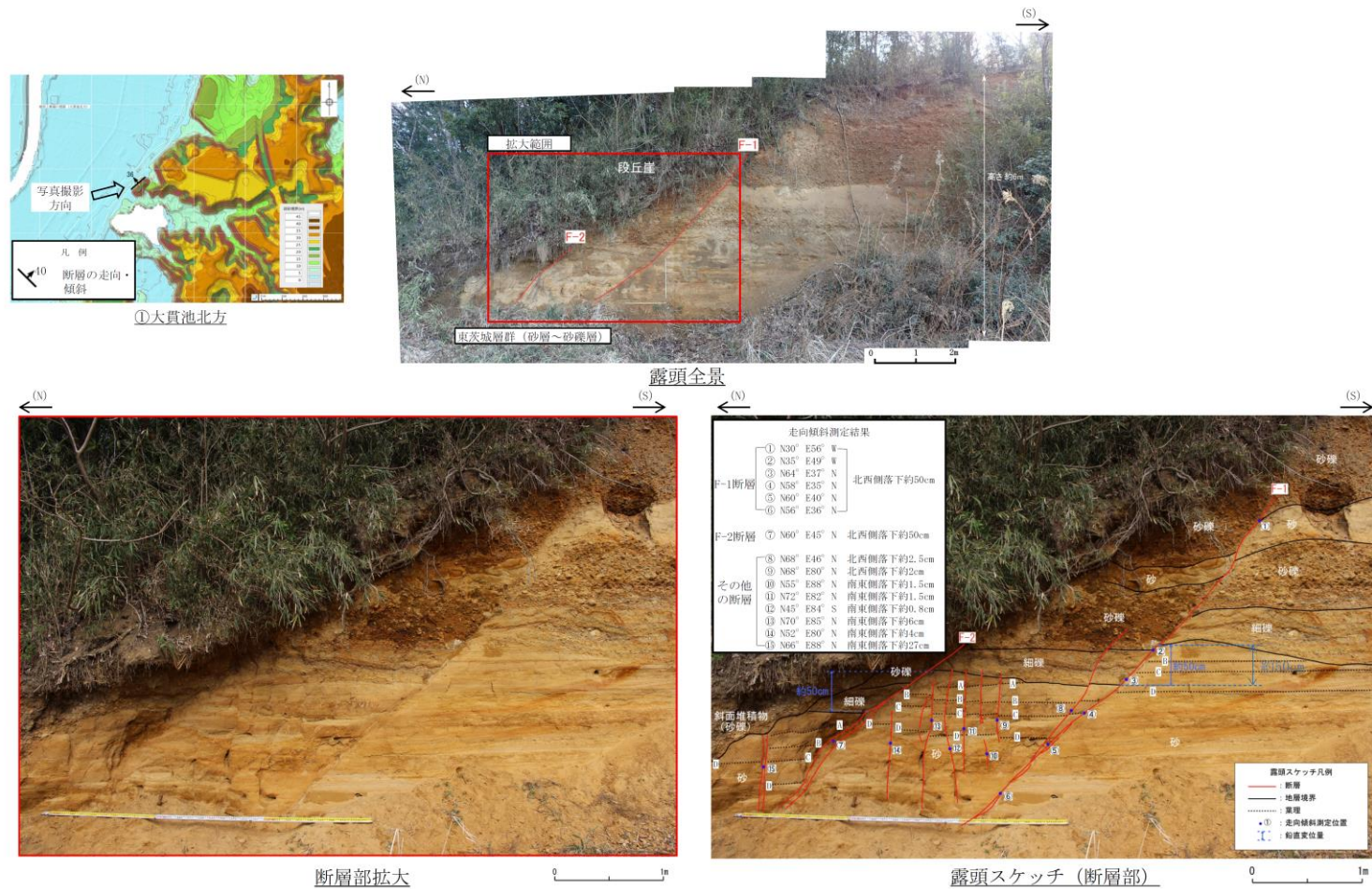
変動地形学的調査結果

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
 （承認番号 平26情複、第337号）及び
 （承認番号 平26情複、第540号）
 本図面を第三者がさらに複製する場合は国土地理院の長の承認を得なければならない。



各露頭位置及び断層の走向（国土地理院による10mメッシュDEMに基づく段彩陰影図）

第 3. 2. 138 図 涸沼付近の変動地形学的調査結果



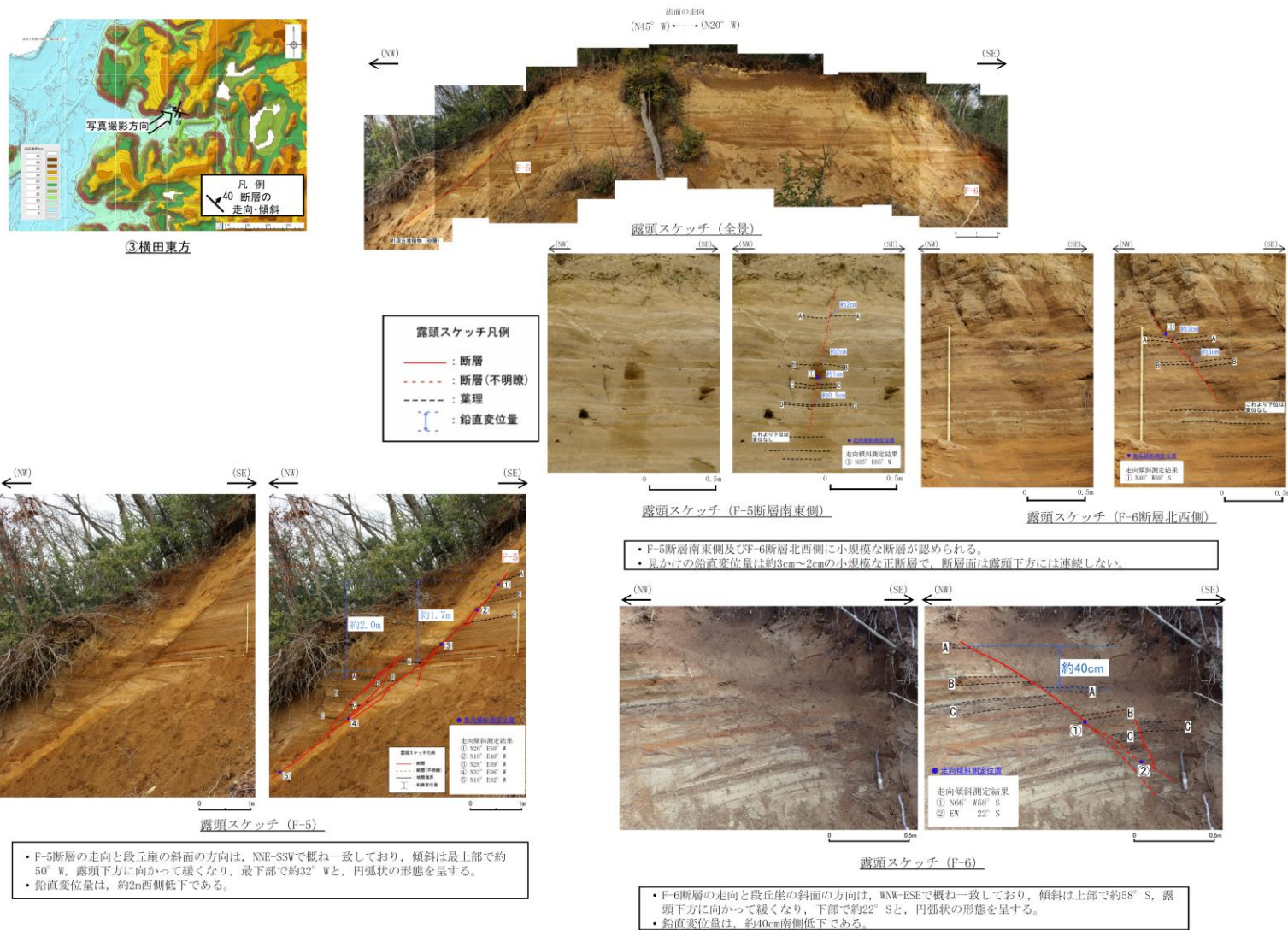
- F-1及F-2断層の走向と段丘崖の斜面の方向は、NE-SWで概ね一致しており、傾斜は最上部で約56° W、露頭下方に向かって緩くなり、最下部で約36° Nと、円弧状の形態を呈する。
- F-1及F-2断層の鉛直変位量はいずれの対比基準面についても概ね同様で、約50cm北西側低下であり、変位の累積性は認められない。
- また、これらの断層の上盤側には、ほぼ同様な走向で主に高角度傾斜の小規模な断層が多数認められる。これらの断層は主に南東側落下数cmの変位を示し、幅1mm程度開口している部分もあり、上端、下端はF-1及F-2断層を越えて連続しない。
- F-1断層とF-2断層間の砂層の葉理構造は、これらの断層によってF-1断層に向かって階段状に低下していることから、F-1断層とF-2断層間に見られる小規模な断層は、上盤が南東側に傾き下る回転により形成されたものと推測される。

第 3. 2. 139 図 露頭スケッチ (大貫池北方)

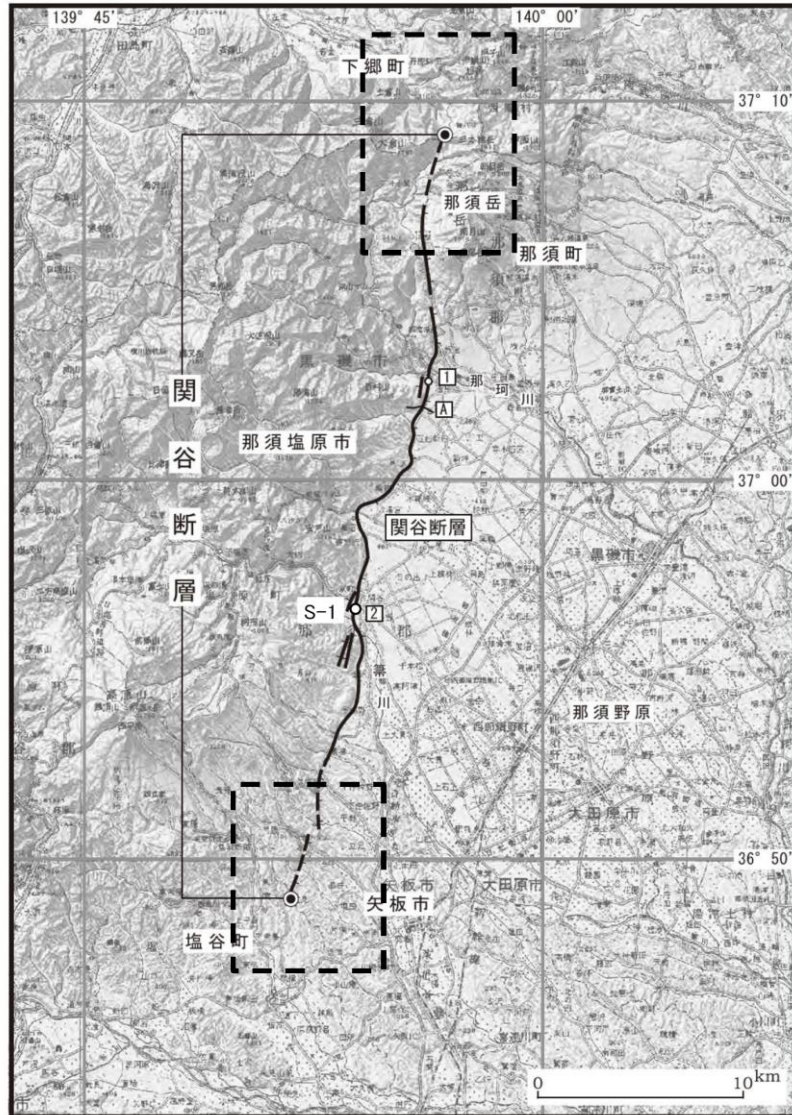


- 露頭の西端にF-3及びF-4断層が認められる。
- F-3及びF-4断層は段丘崖の斜面表層部に位置し、斜面の傾斜方向へ変位する正断層である。
- F-3及びF-4断層の走向と段丘崖の斜面の方向はN-S方向で概ね一致しており、傾斜は上部で約38° W、露頭下方に向かって緩くなり、下部で約34° Wと円弧状の形態を呈する。
- 鉛直変位量は約25cm西側低下である。

第3.2.140 図 露頭スケッチ (海老沢)



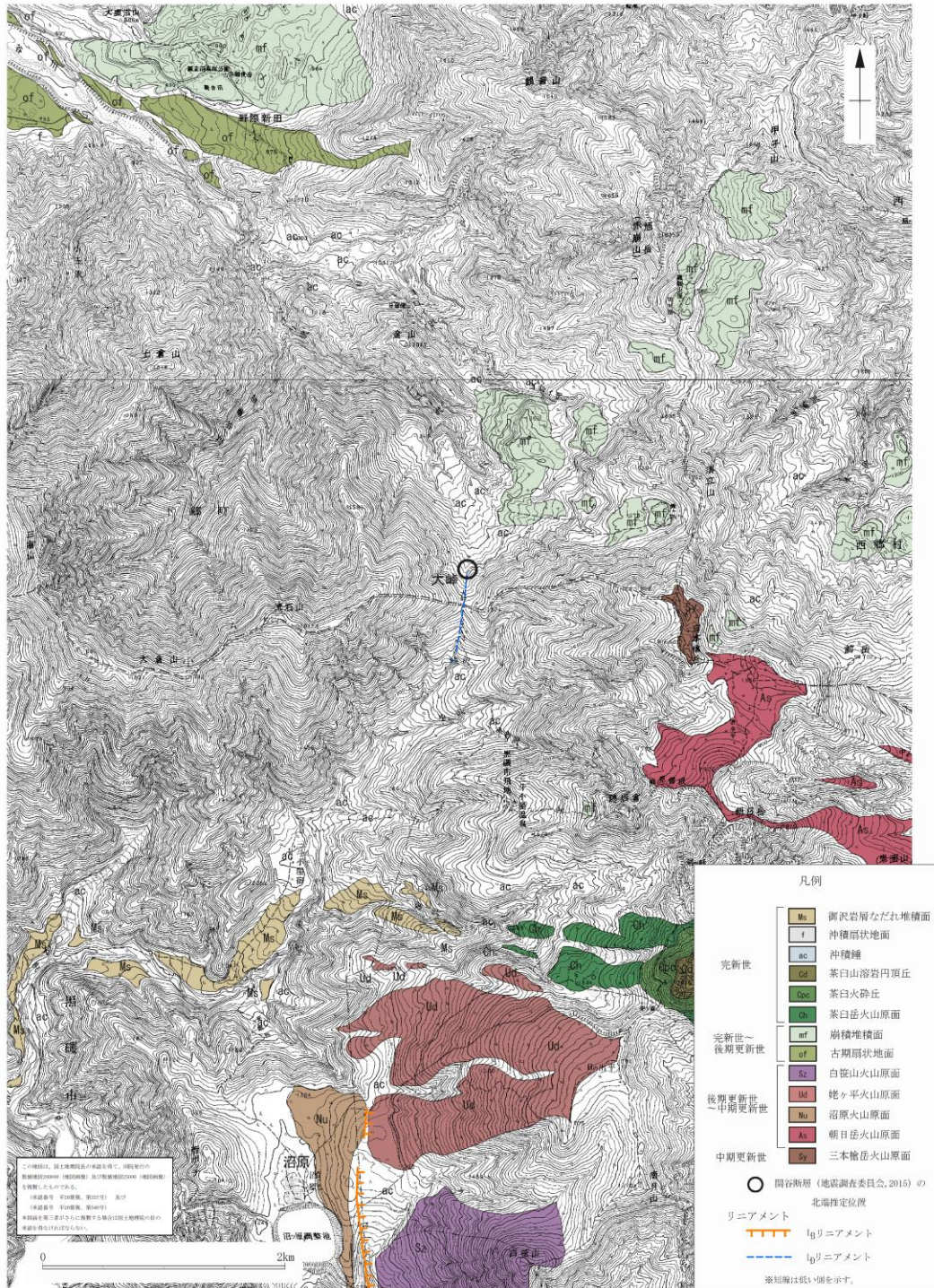
第 3.2.141 図 露頭スケッチ (横田東方)



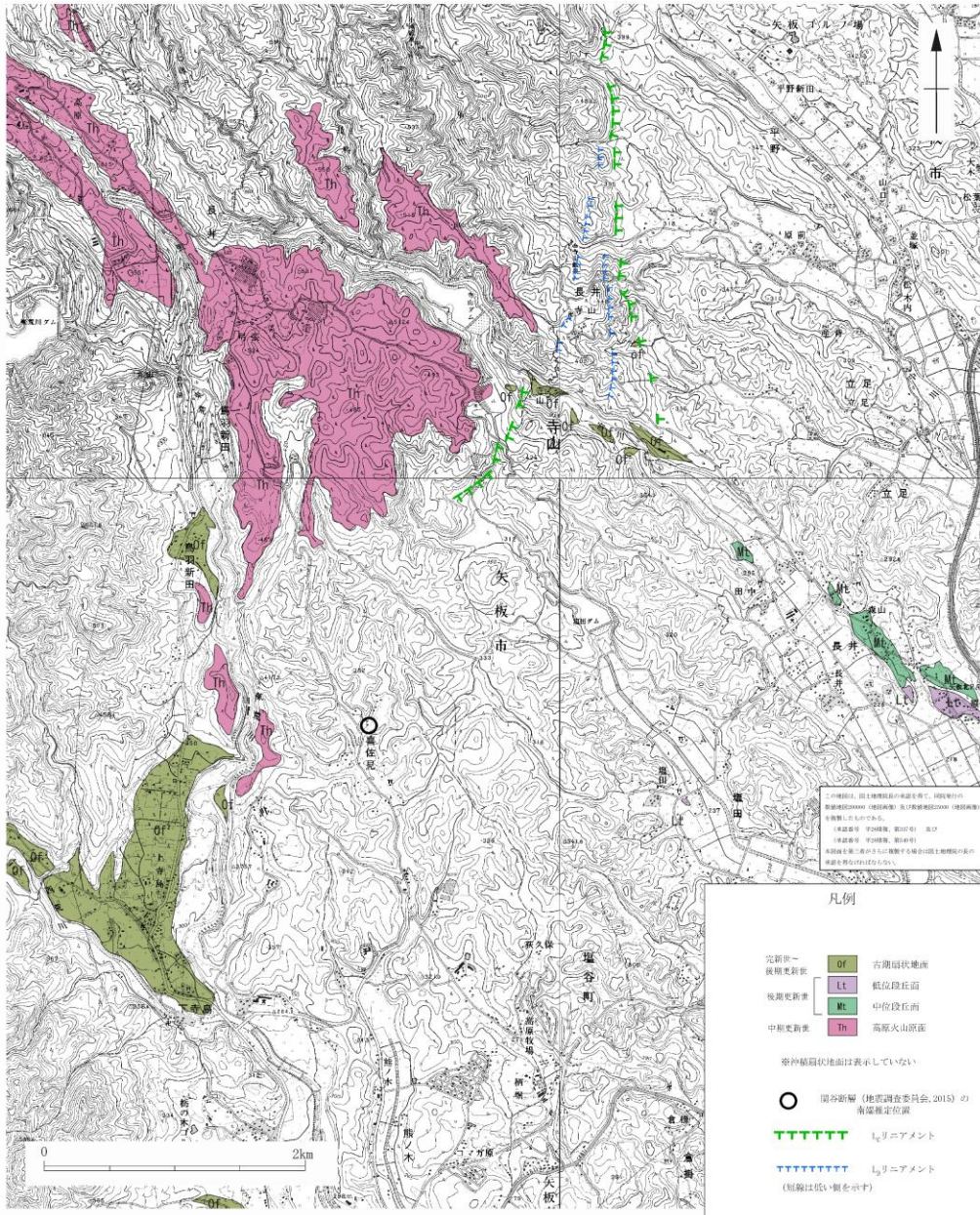
- ①~②: 「関谷断層の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された調査地点
(1: 百村地点、2: 関谷地点)
- △: 「関谷断層の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された反射法弾性波探査測線
- : 「関谷断層の長期評価(一部改訂)(2015)」による断層帯の北端と南端

凡例	
●	スケッチ箇所
△	変動地形調査範囲
S-1	地点番号

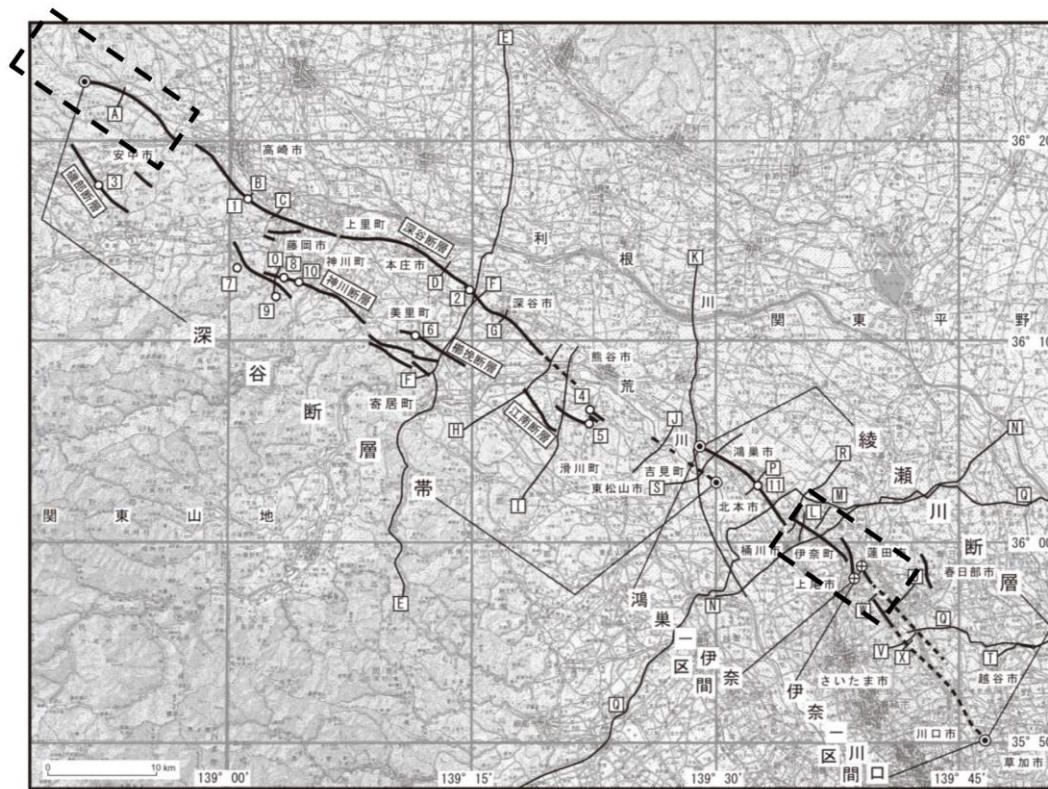
第 3. 2. 142 図 関谷断層調査位置図 (「地震調査委員会」(2015)に一部加筆)



第 3. 2. 143 図 関谷断層北端部付近の変動地形学的調査結果

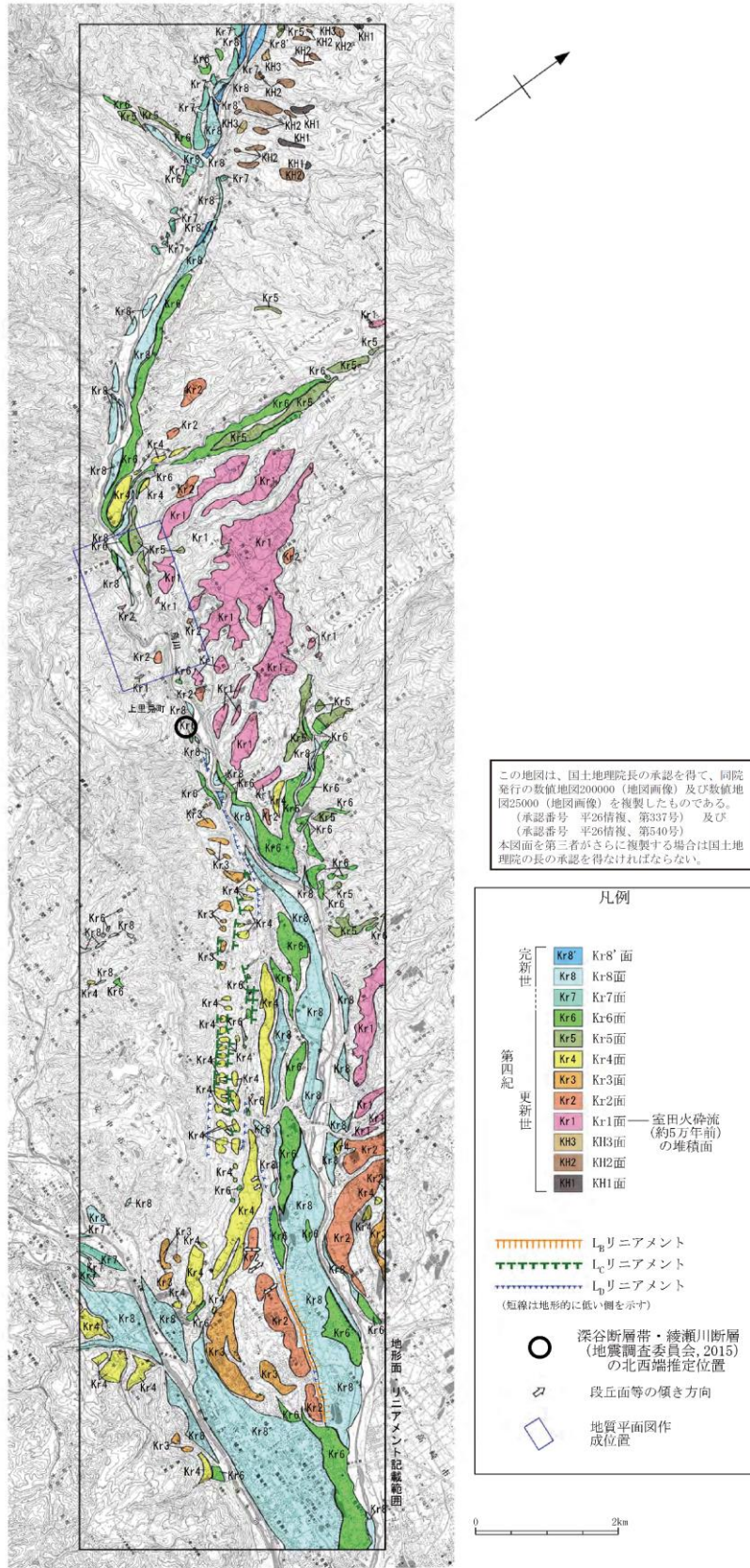


第 3. 2. 144 図 関谷断層南端部付近の変動地形学的調査結果

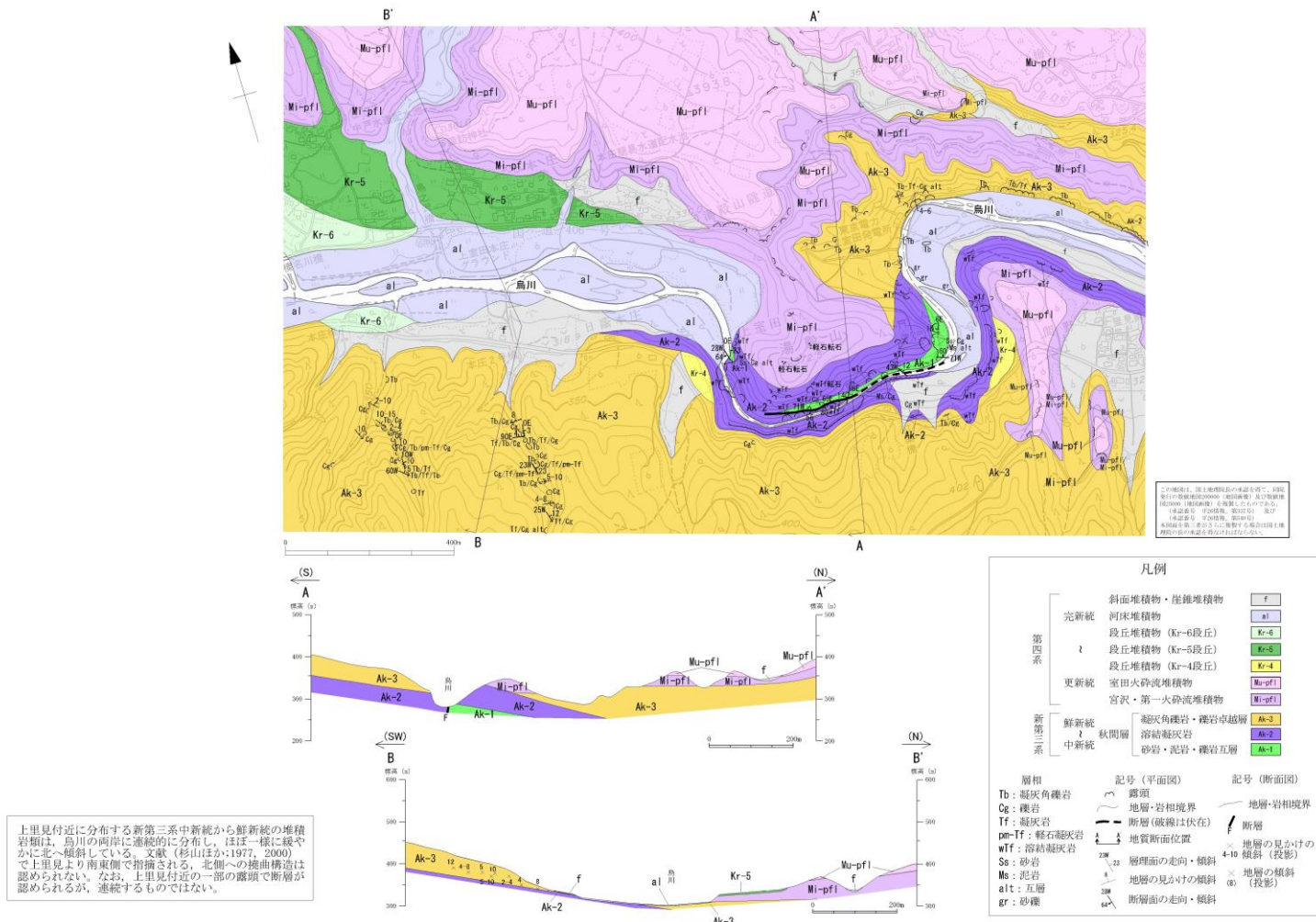


- ①~⑨ : 「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された調査地点
- Ⓐ~⓪ : 「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された反射法弾性波探査測線
- : 「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」による断層帯の北西端と南東端
- ⌈ ⌋ : 変動地形的調査等範囲 (「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」に一部加筆)

第 3. 2. 146 図 深谷断層帯・綾瀬川断層調査位置図 (「地震調査委員会」(2015)に一部加筆)

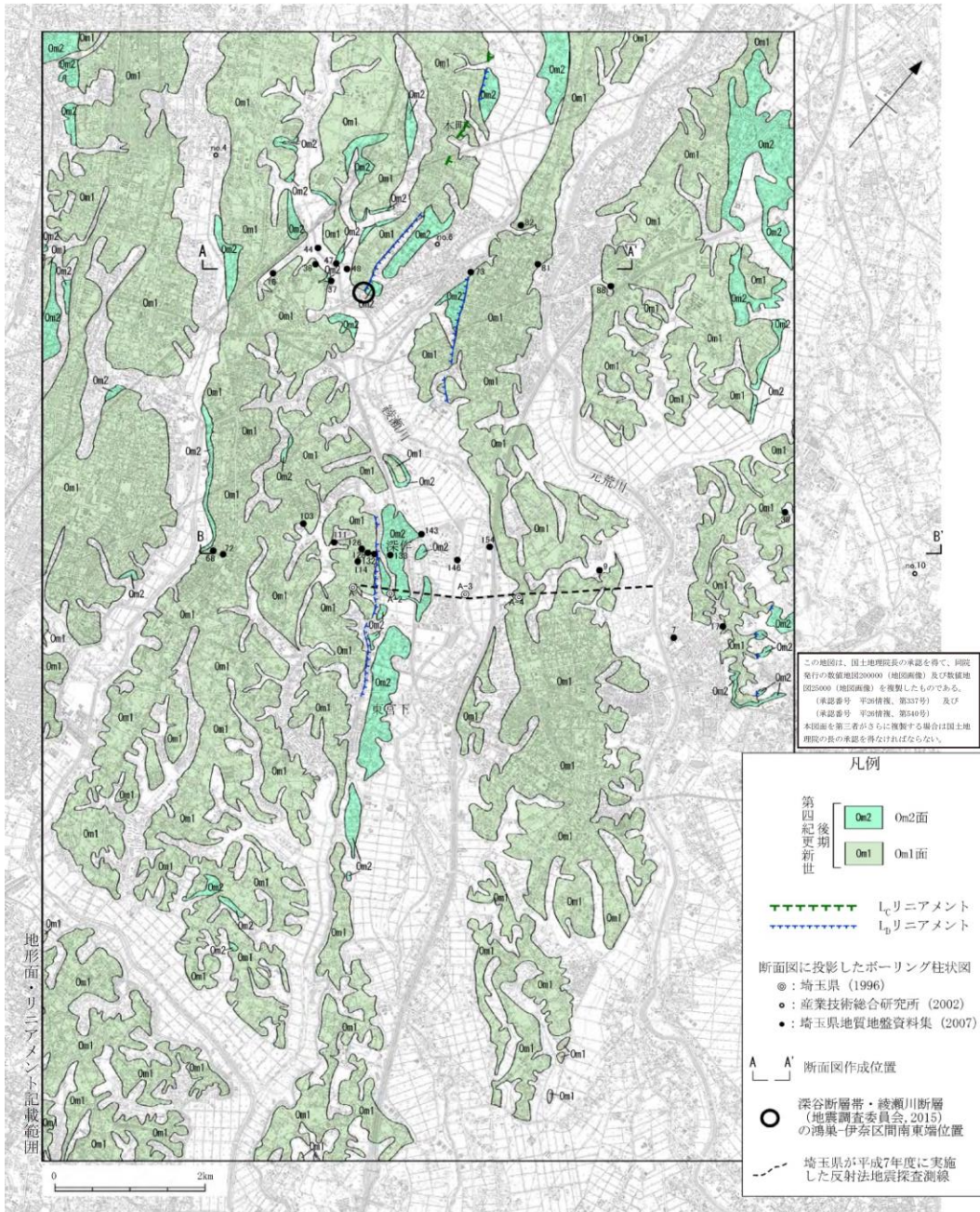


第3.2.147図 深谷断層帯・綾瀬川断層北西端部周辺の変動地形学的調査結果

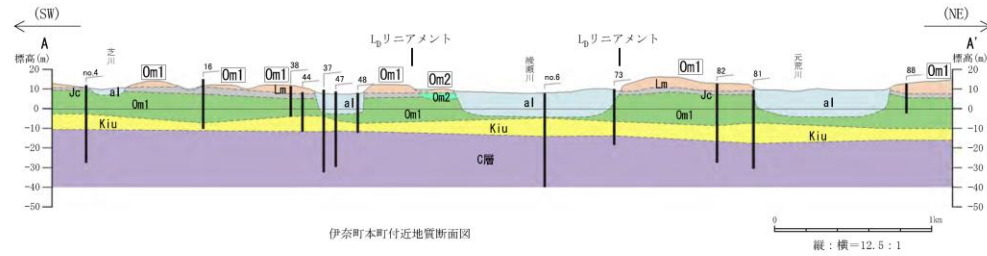


上里見町付近に分布する新第三系中新統から鮮新統の堆積岩類は、鳥川の両岸に連続的に分布し、ほぼ一様に緩やかに北～傾斜している。文献（杉山ほか、1977、2000）で上里見より南東側で指摘される、北側への拗曲構造は認められない。なお、上里見付近の一部の露頭で断層が認められるが、連続するものではない。

第 3. 2. 148 図 深谷断層帯・綾瀬川断層北西端部（上里見町付近）の地質図及び地質断面図

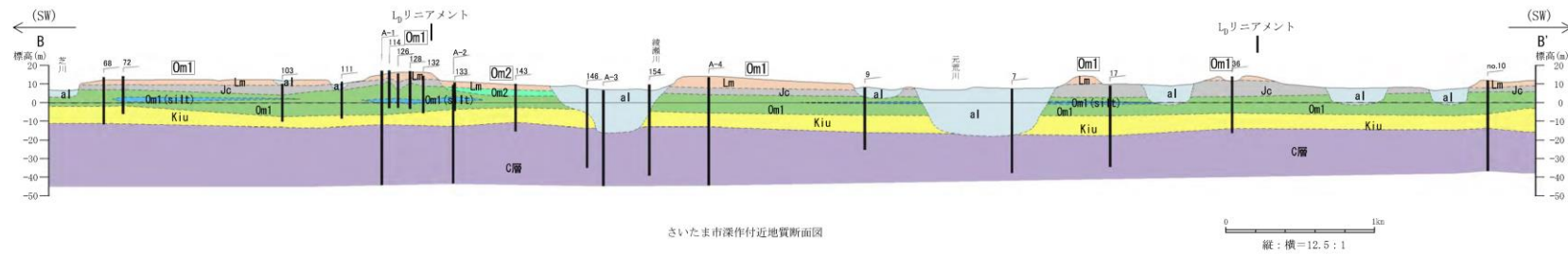
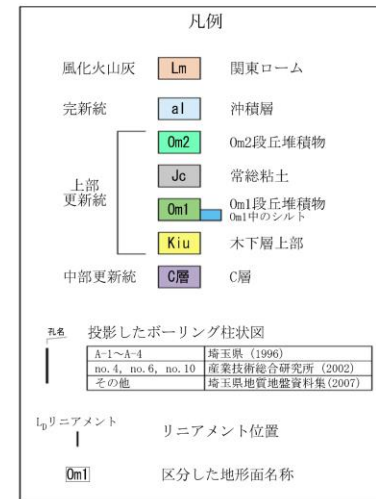


第 3.2.149 図 深谷断層帯・綾瀬川断層南東端部周辺の変動地形学的調査結果



伊奈町本町付近地質断面図

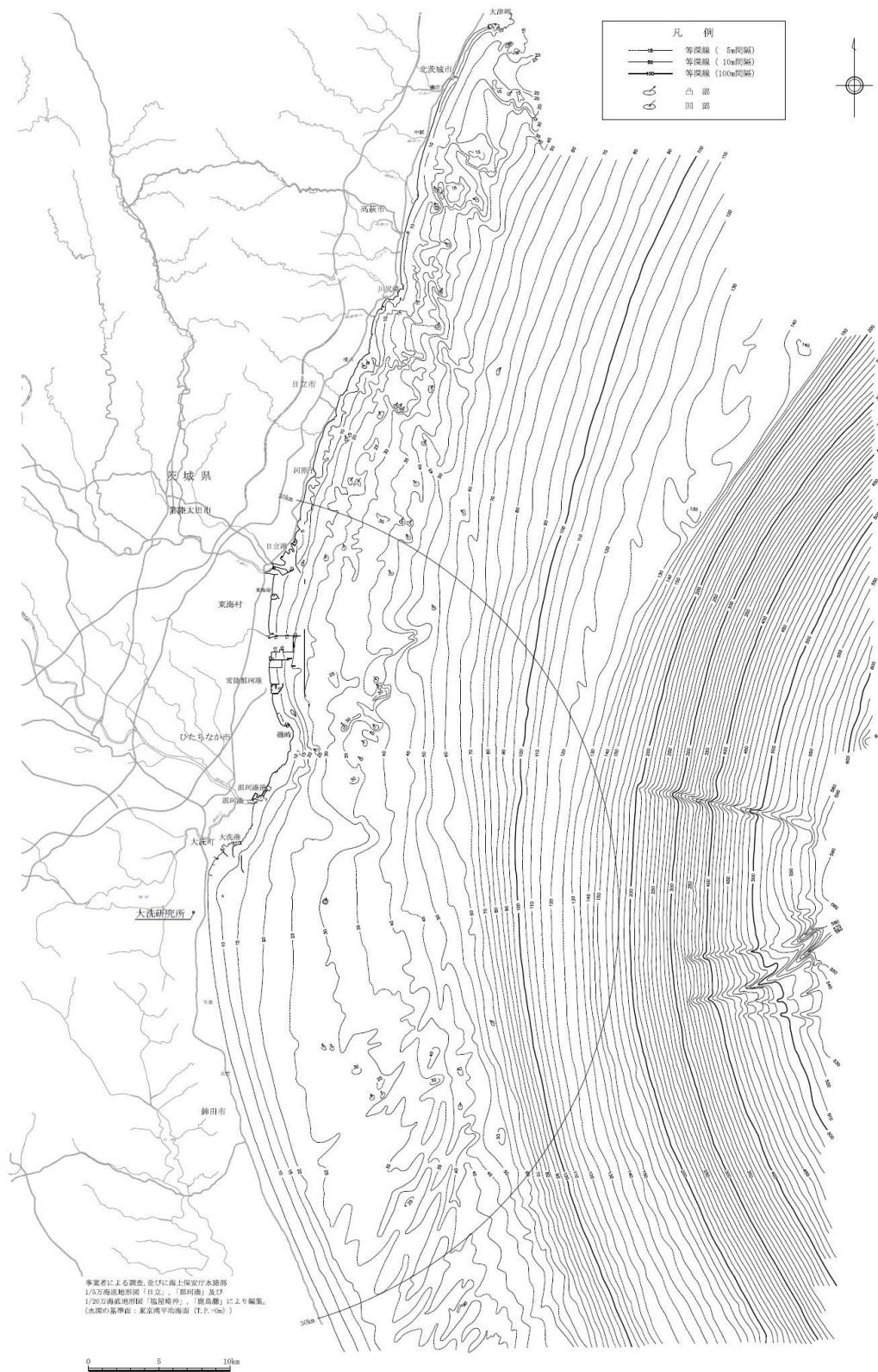
縦：横=12.5：1



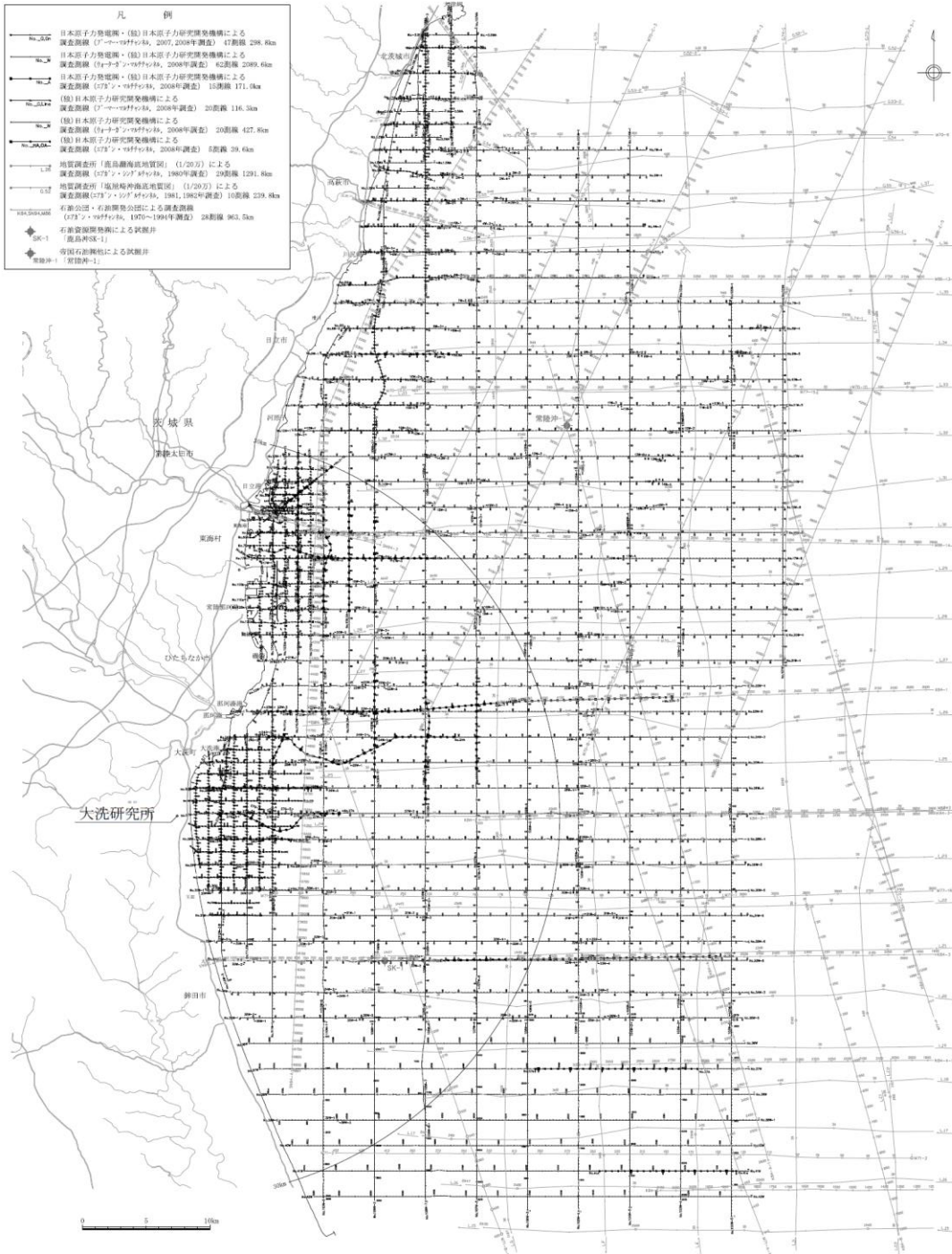
さいたま市深作付近地質断面図

縦：横=12.5：1

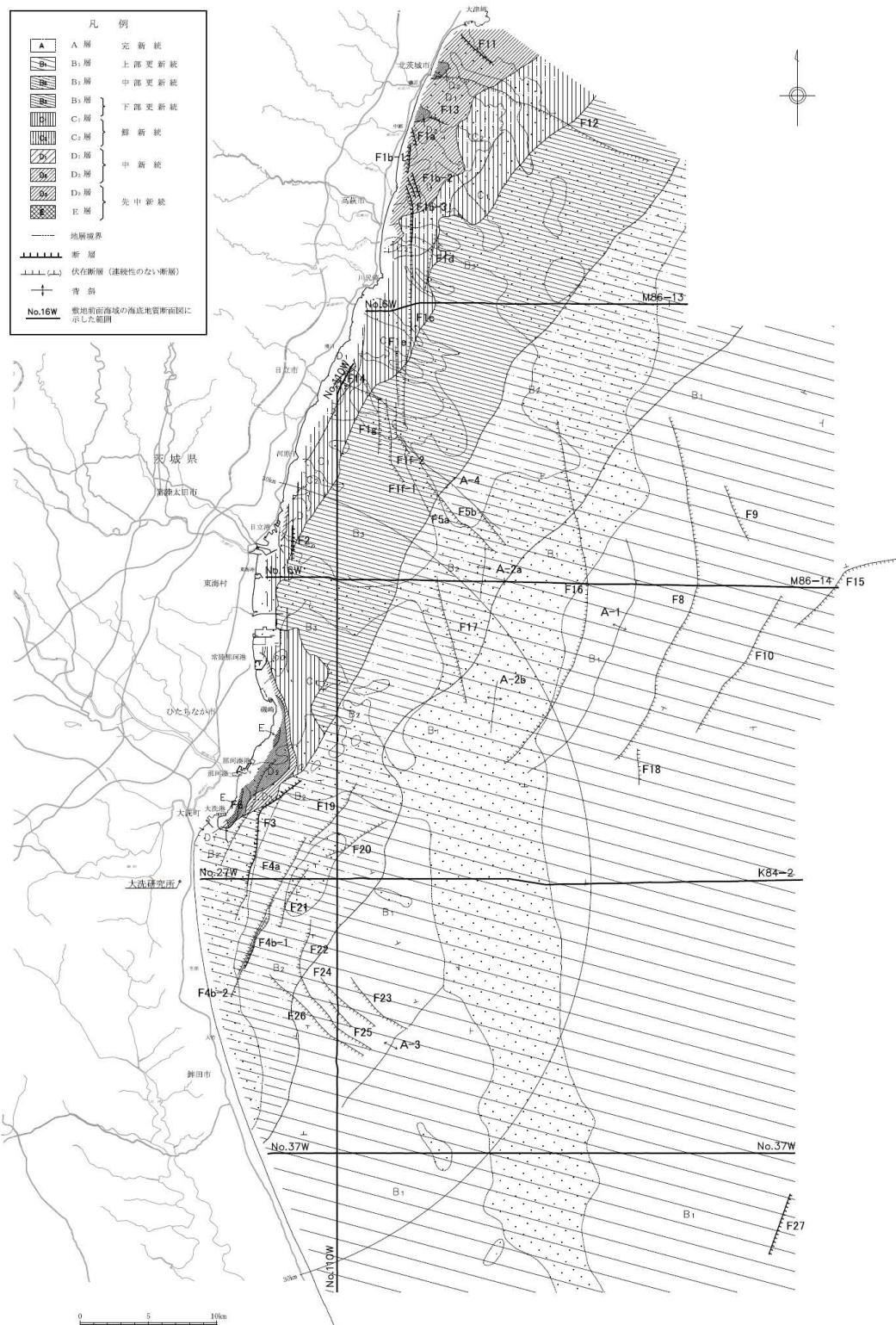
第 3. 2. 150 図 深谷断層帯・綾瀬川断層南東端部周辺の地質断面図



第 3.2.151 図 敷地前面海域の海底地形図

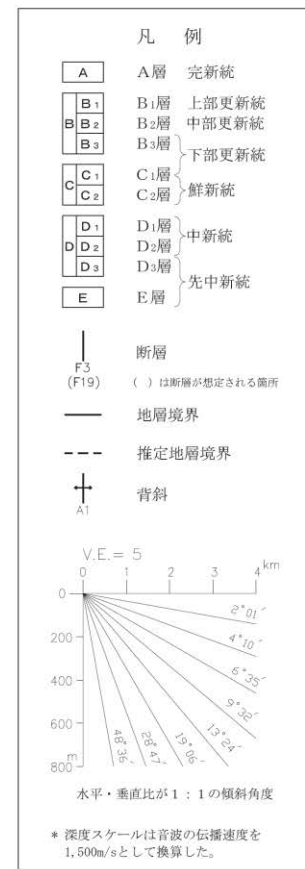
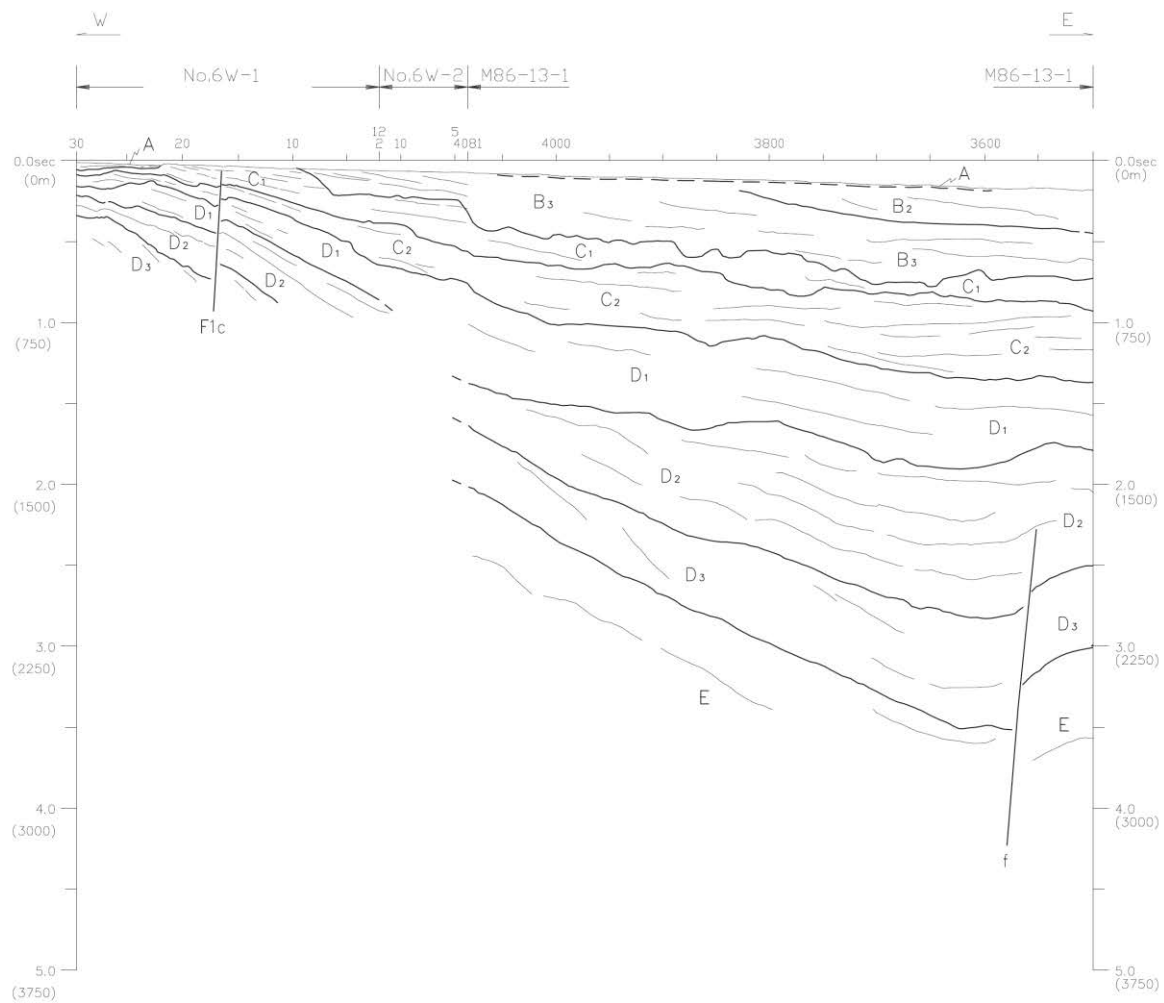


第 3. 2. 152 図 敷地前面海域の海上音波探査測線図

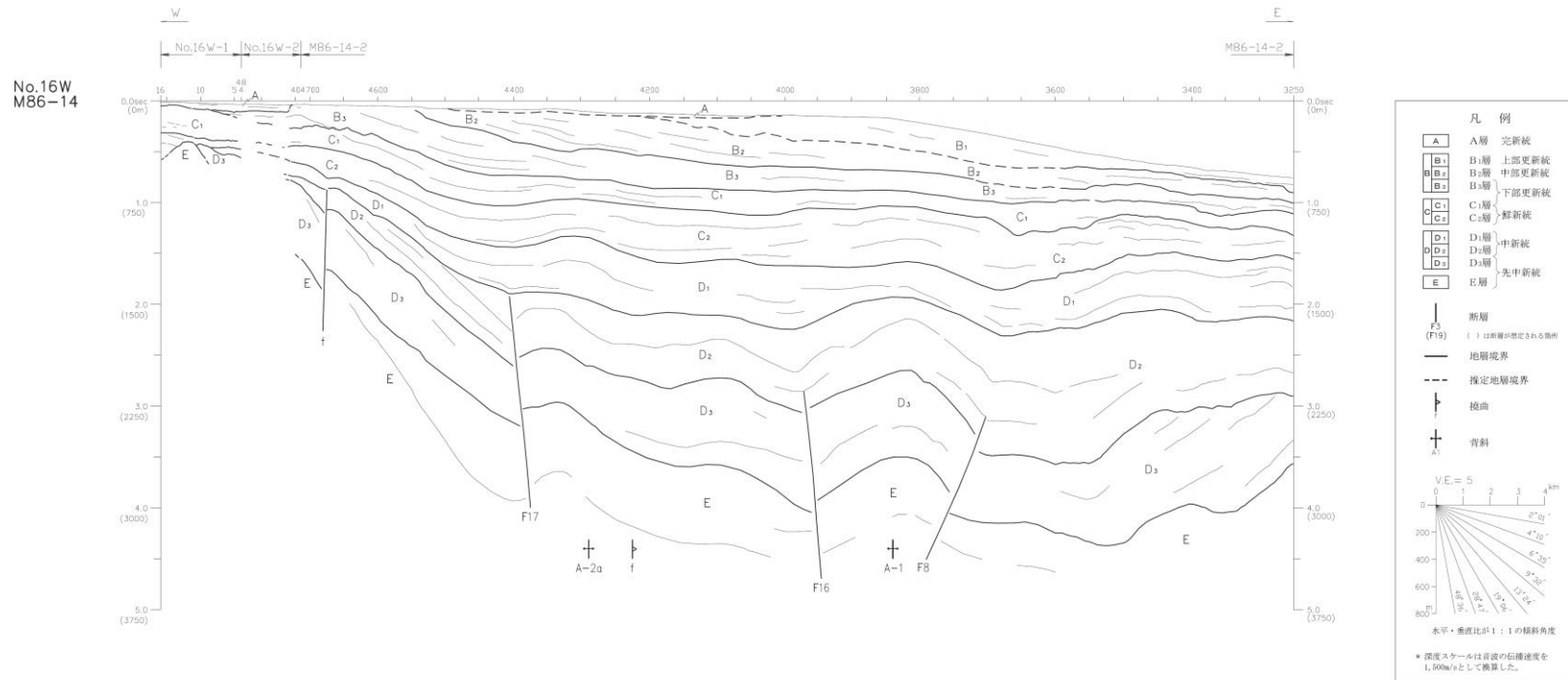


第 3. 2. 153 図 敷地前面海域の海底地質図

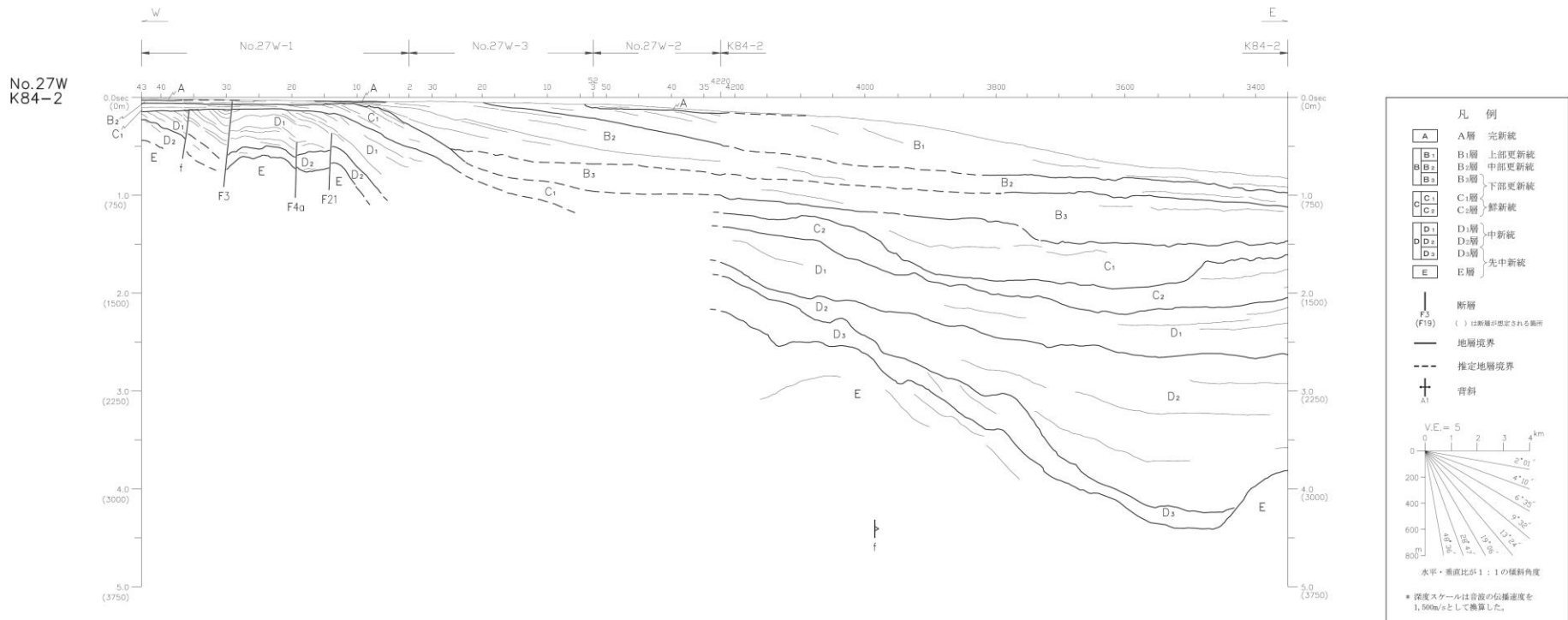
No.6W
M86-13



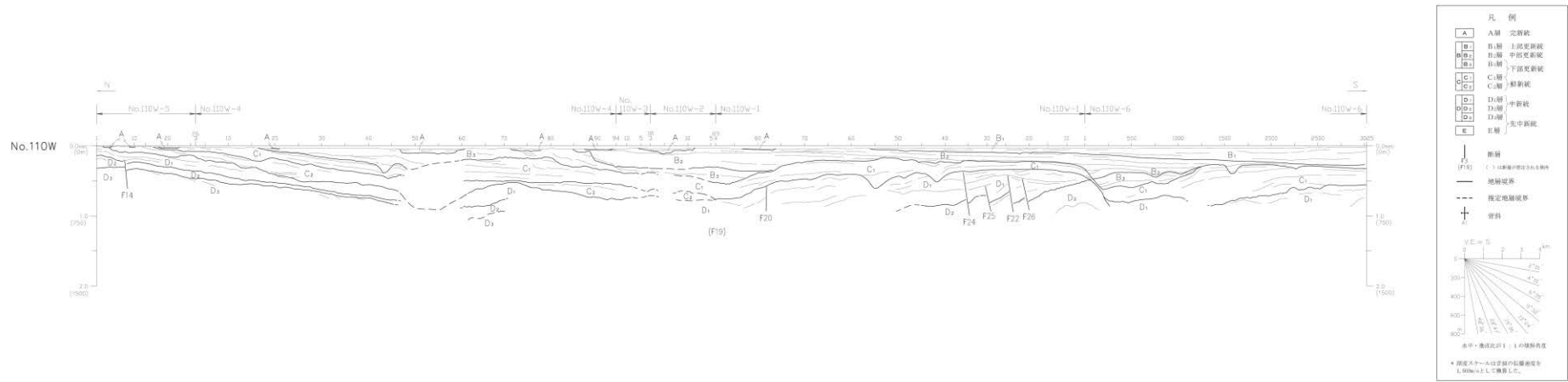
第 3. 2. 154 図(1) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その 1)



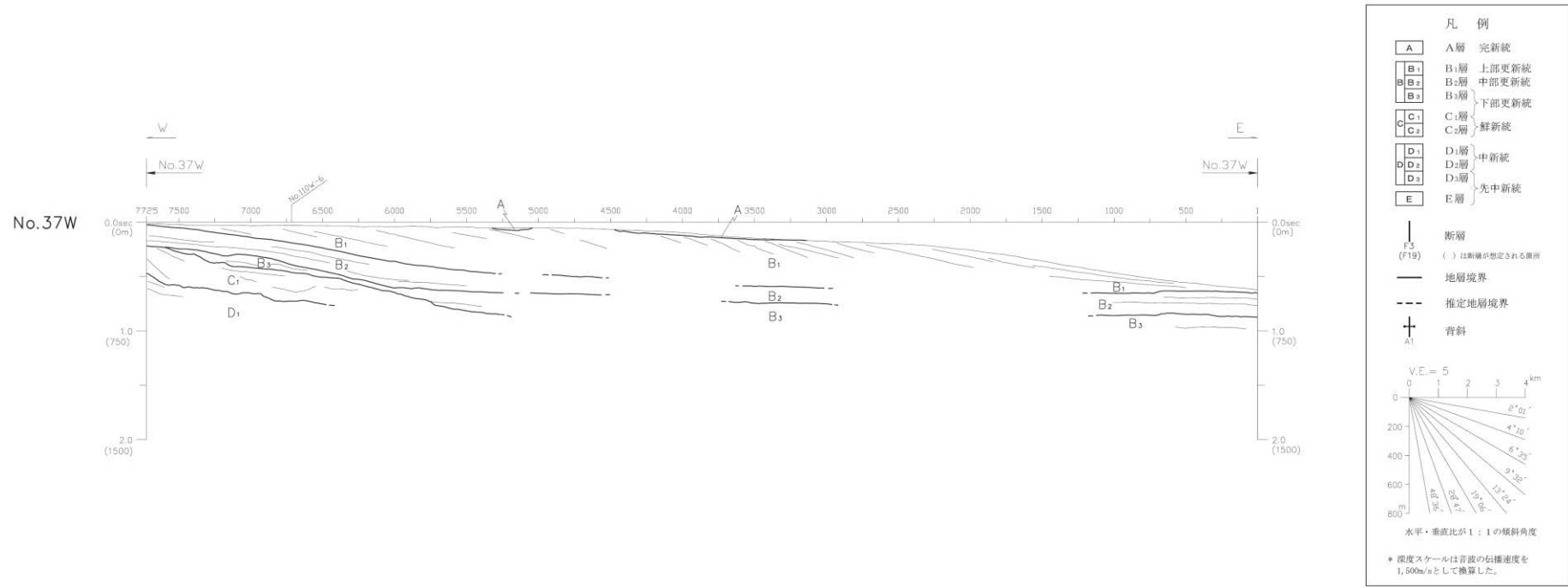
第 3. 2. 154 図(2) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その 2)



第 3. 2. 154 図(3) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その 3)

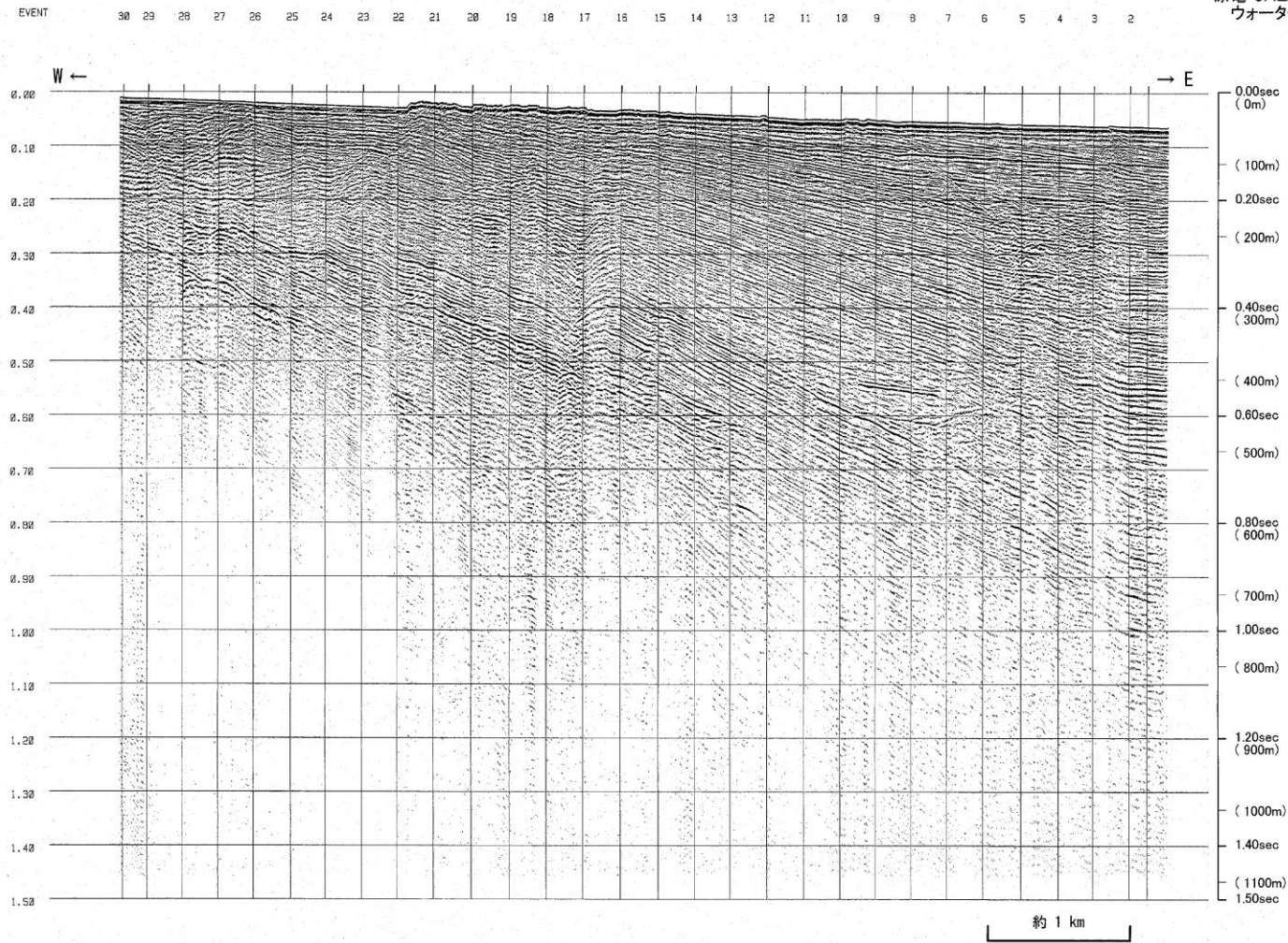


第 3. 2. 154 図(4) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その 4)

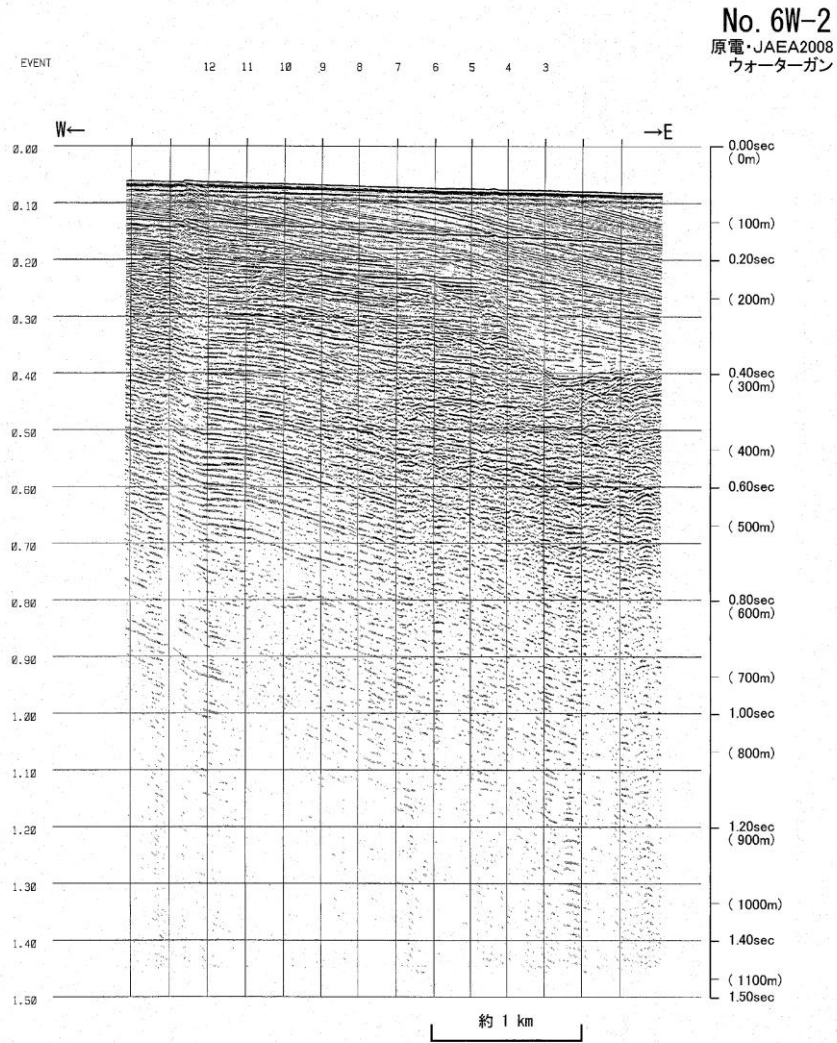


第 3. 2. 154 図(5) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その 5)

No. 6W-1
原電・JAEA2008
ウォーターガン

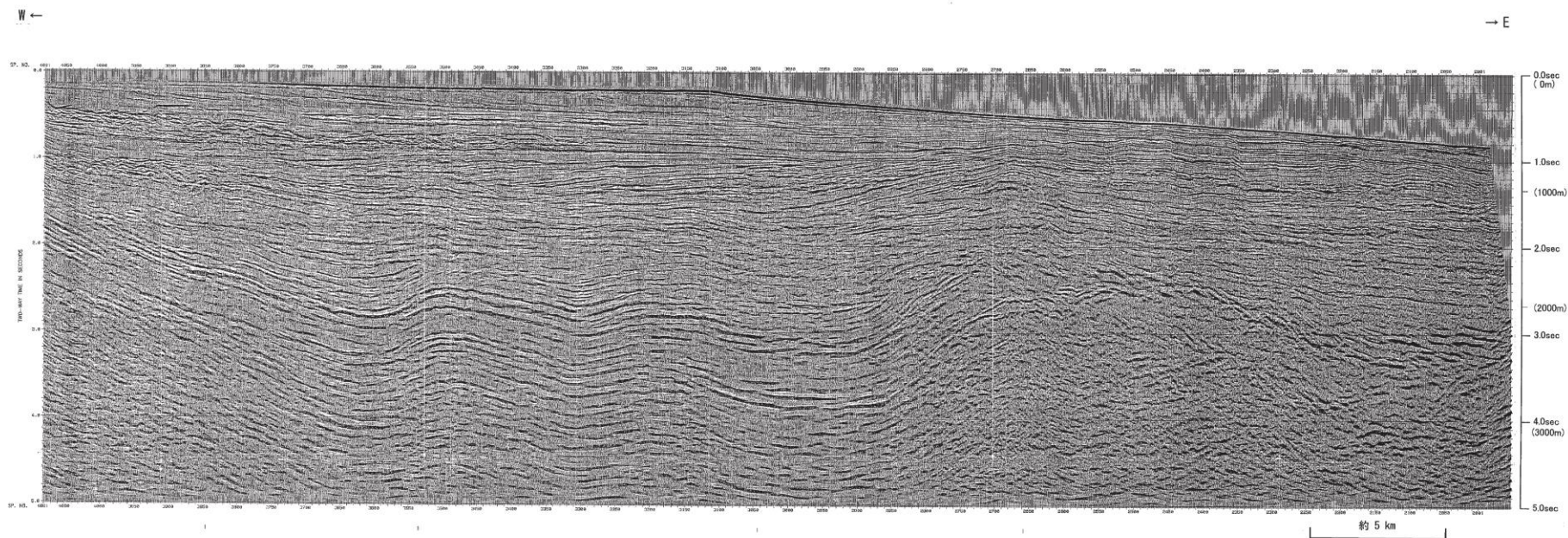


第 3. 2. 155 図(1) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.6W-1)



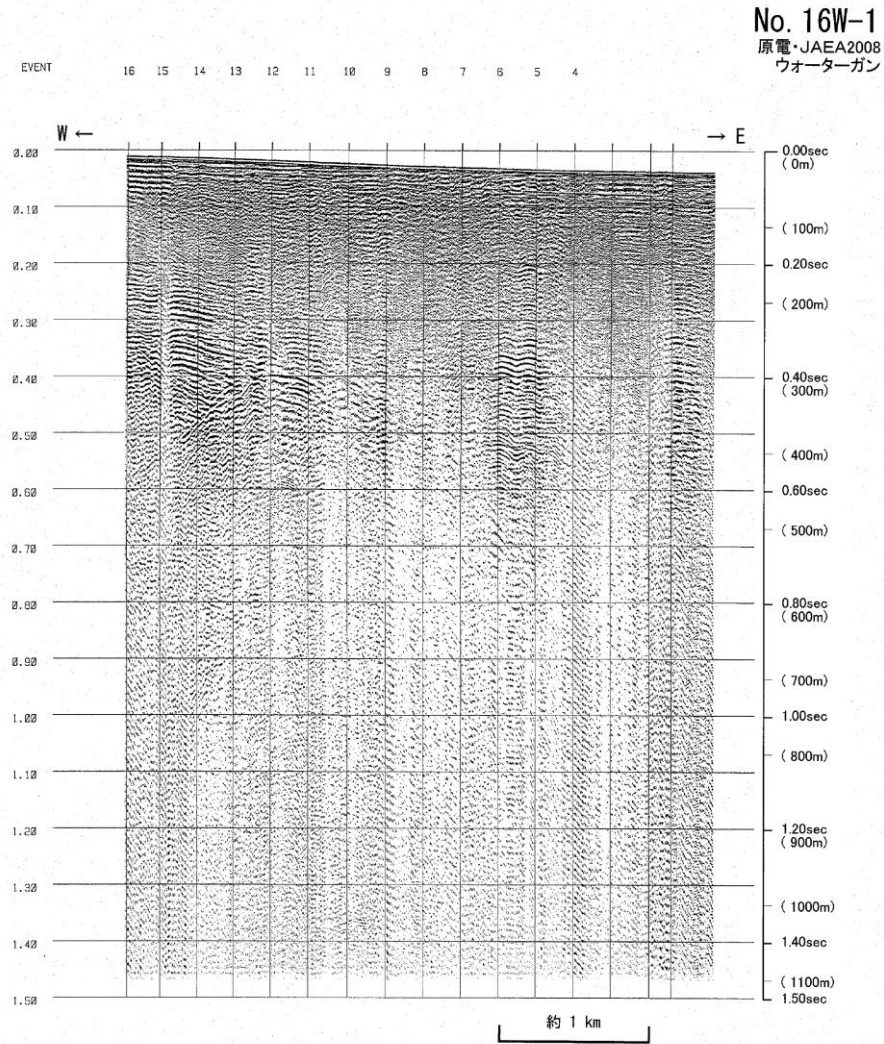
第 3. 2. 155 図(2) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.6W-2)

M86-13-1
石油公団(1986)
エアガン

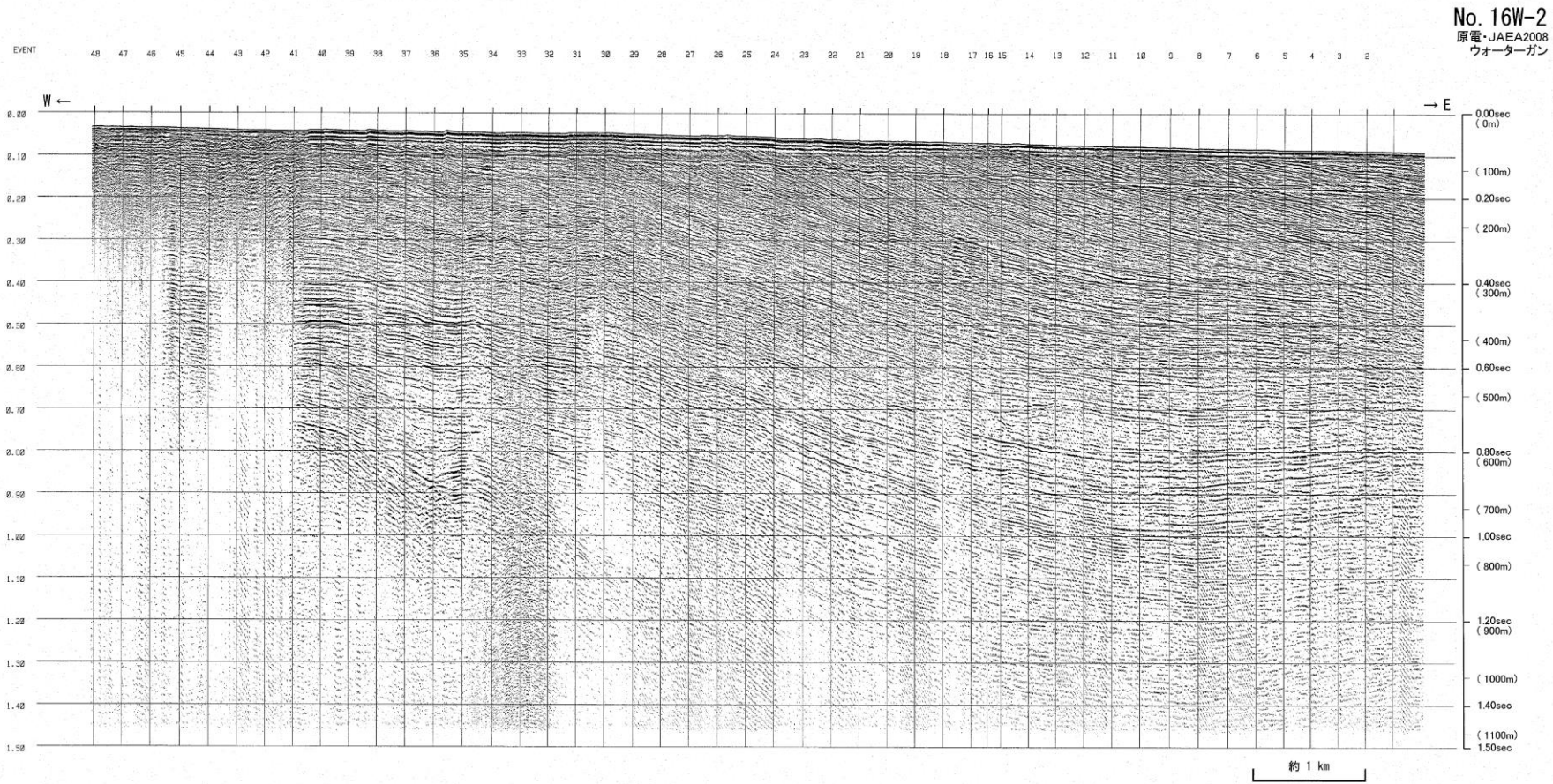


海上音波探査記録は、石油公団（現 独立行政法人
石油天然ガス・金属鉱物資源機構）によるものである。

第 3. 2. 155 図(3) 敷地前面海域の海上音波探査記録(M86-13-1)

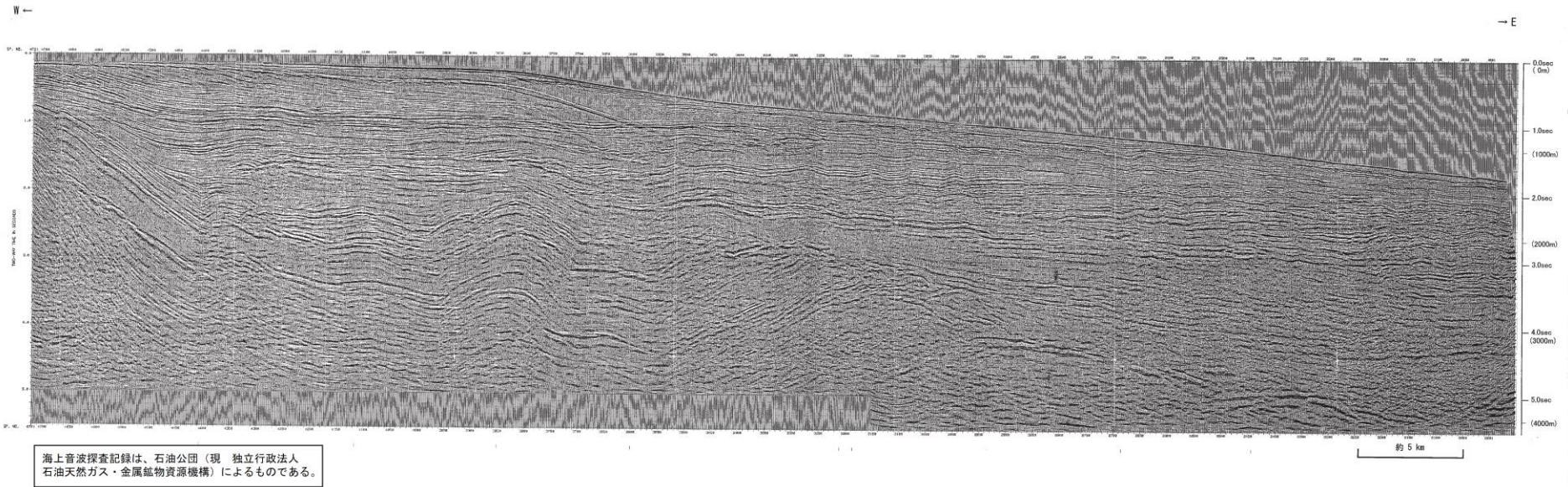


第 3. 2. 155 図(4) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.16W-1)



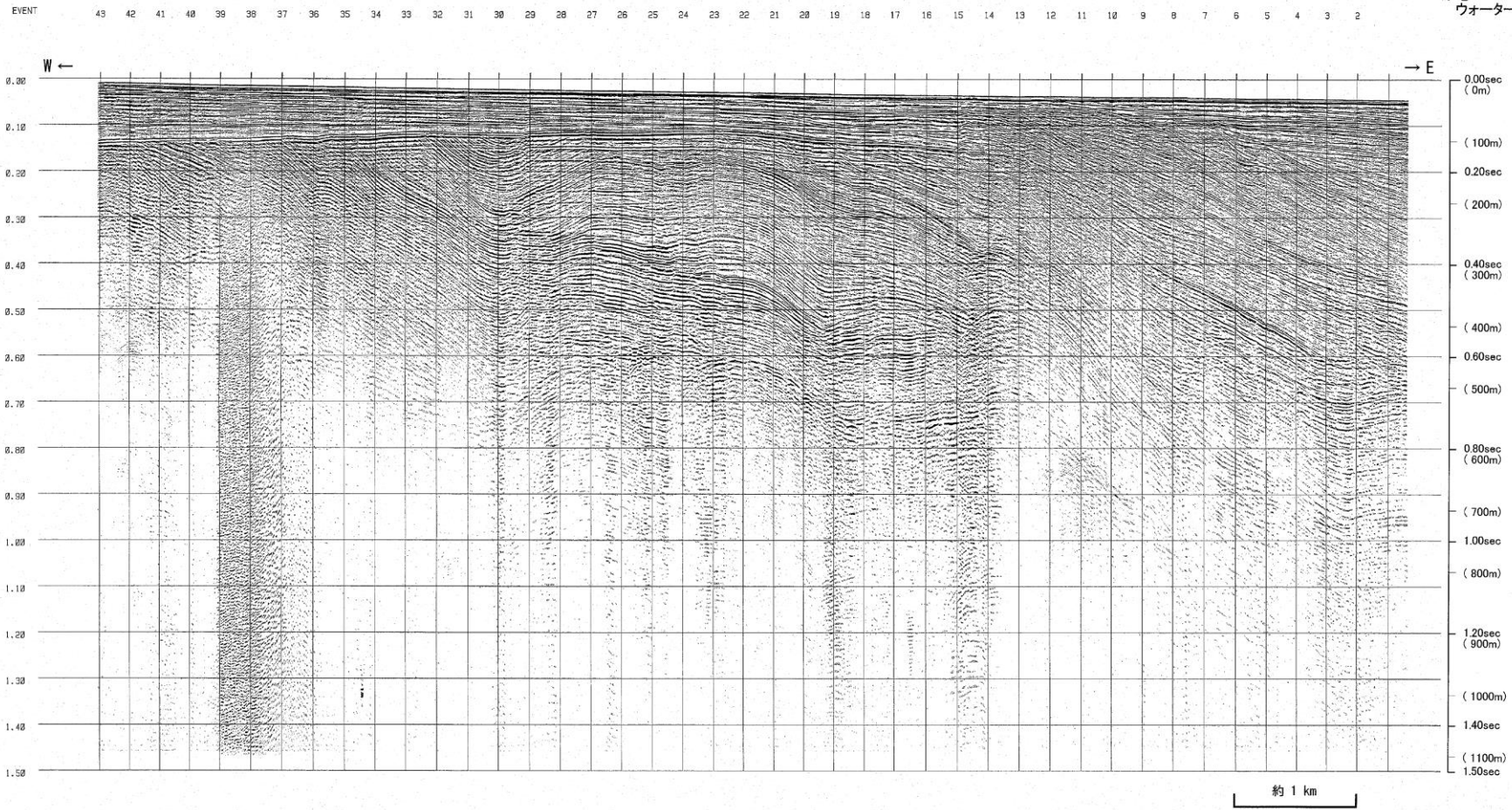
第 3. 2. 155 図(5) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No. 16W-2)

M86-14-2
石油公団(1986)
エアガン



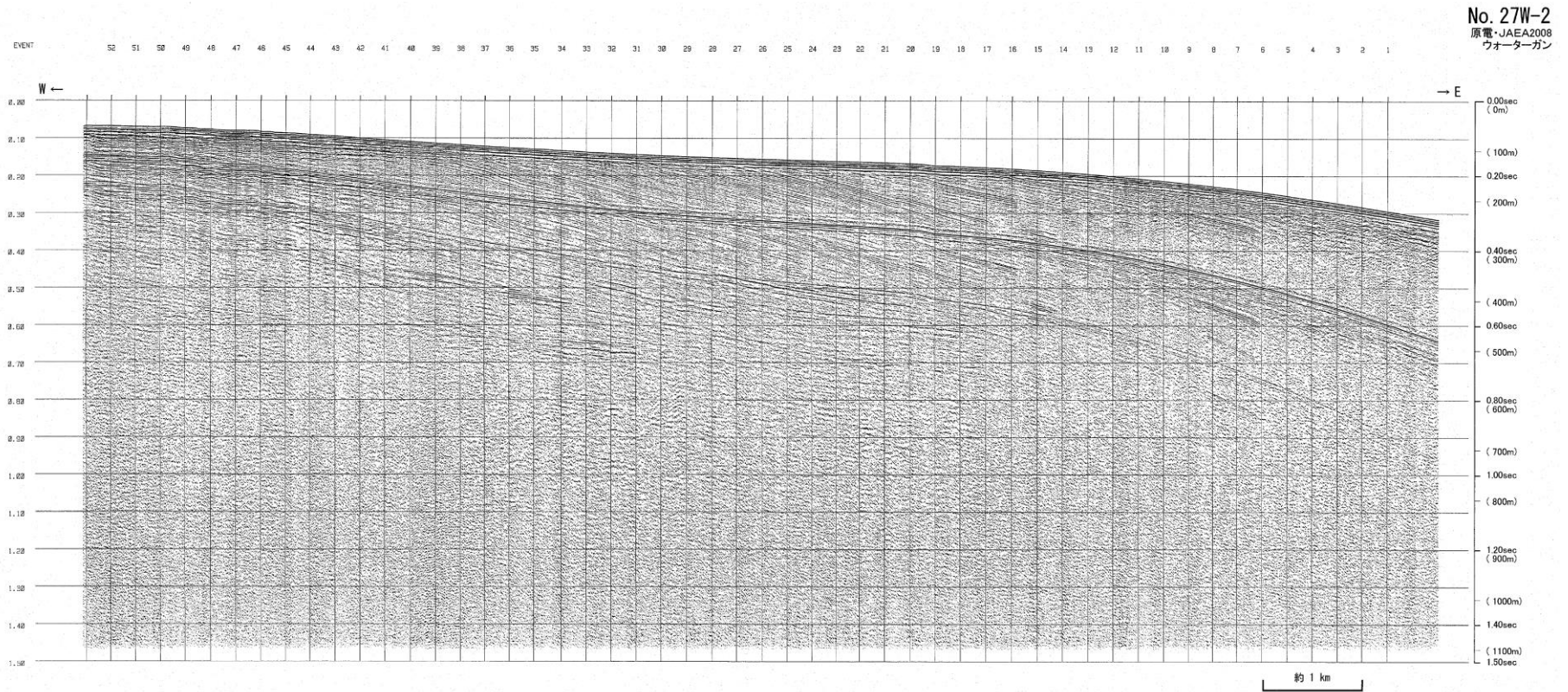
第 3. 2. 155 図(6) 敷地前面海域の海上音波探査記録(M86-14-2)

No. 27W-1
原電・JAEA2008
ウオーターガン



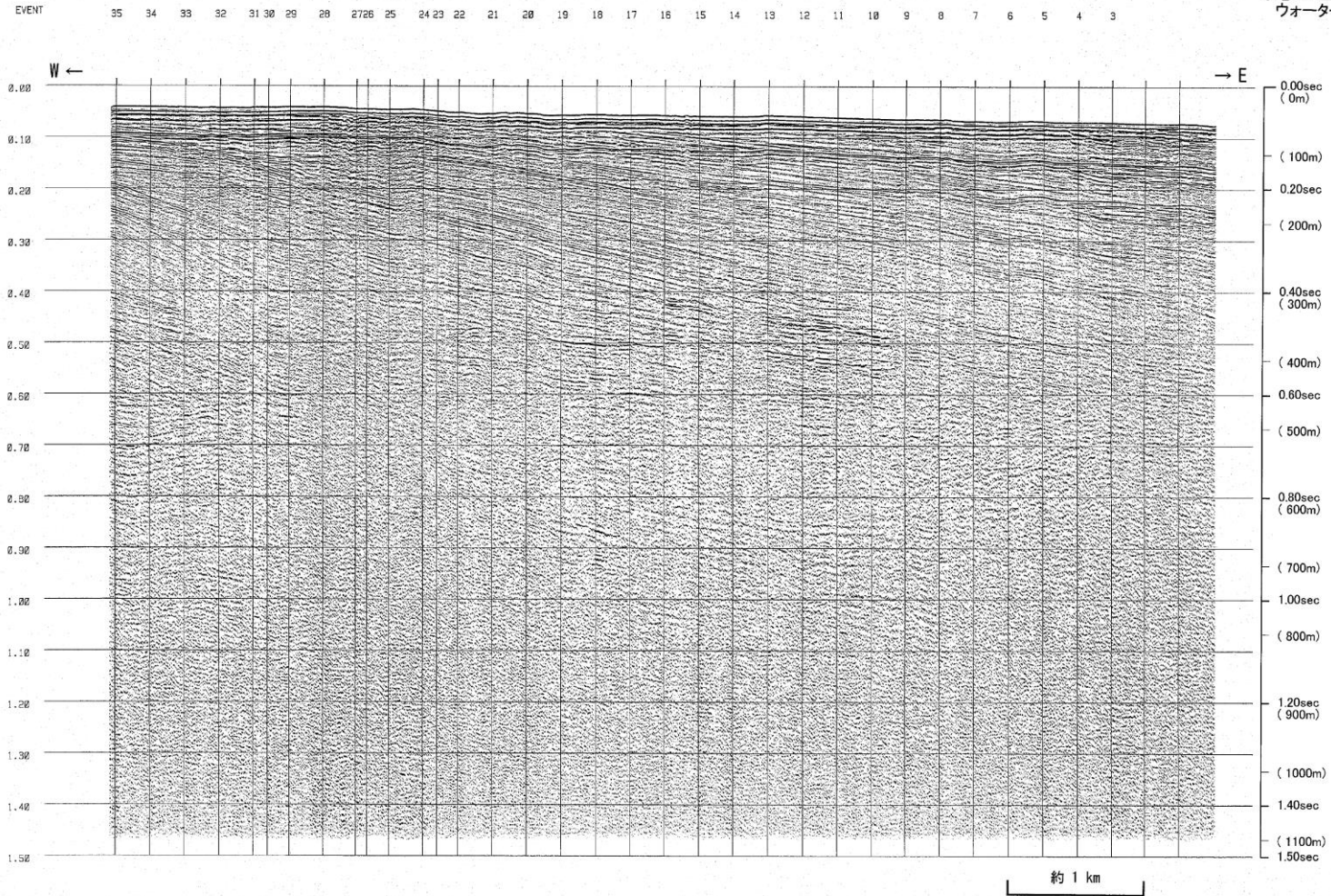
添-3-281

第 3. 2. 155 図(7) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.27W-1)



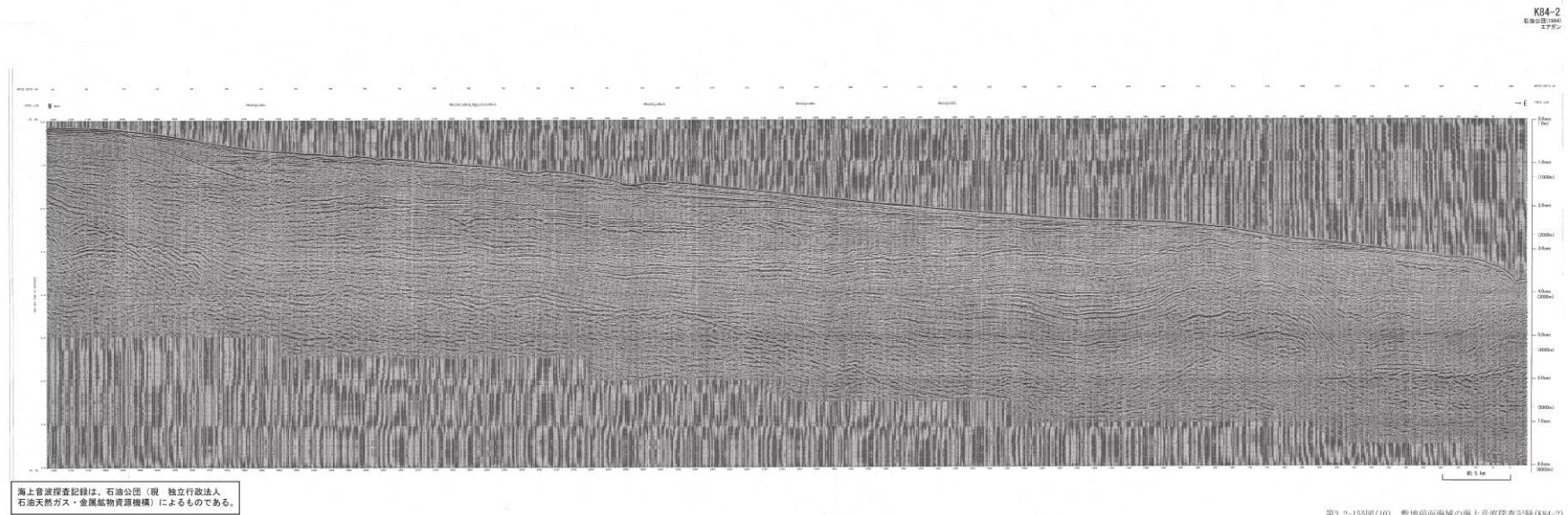
第 3. 2. 155 図(8) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No. 27W-2)

No. 27W-3
原電・JAEA2008
ウォーターガン

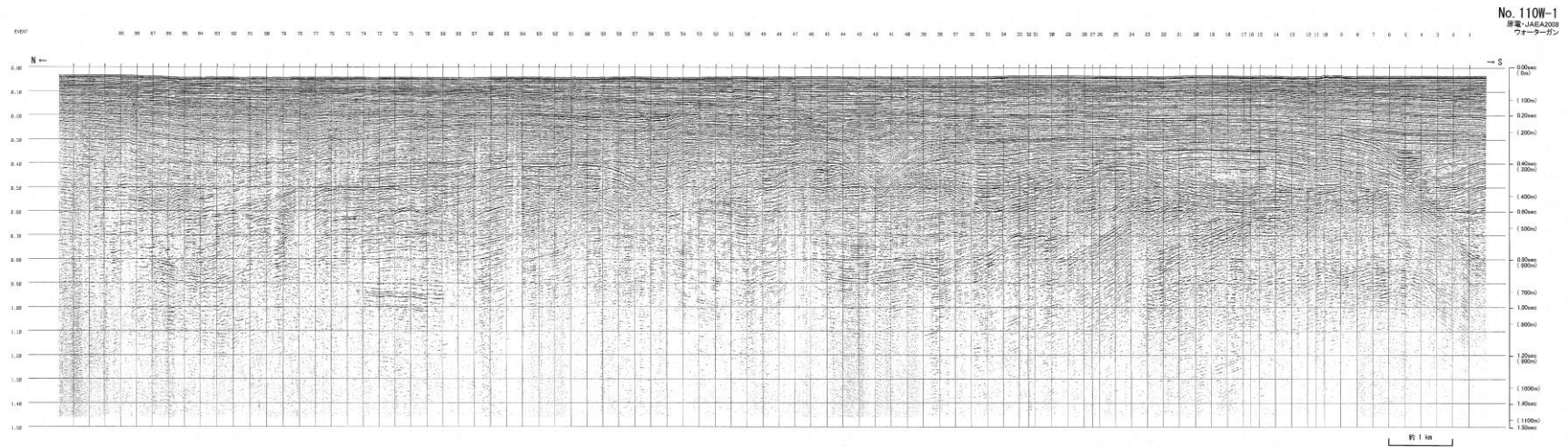


添-3-283

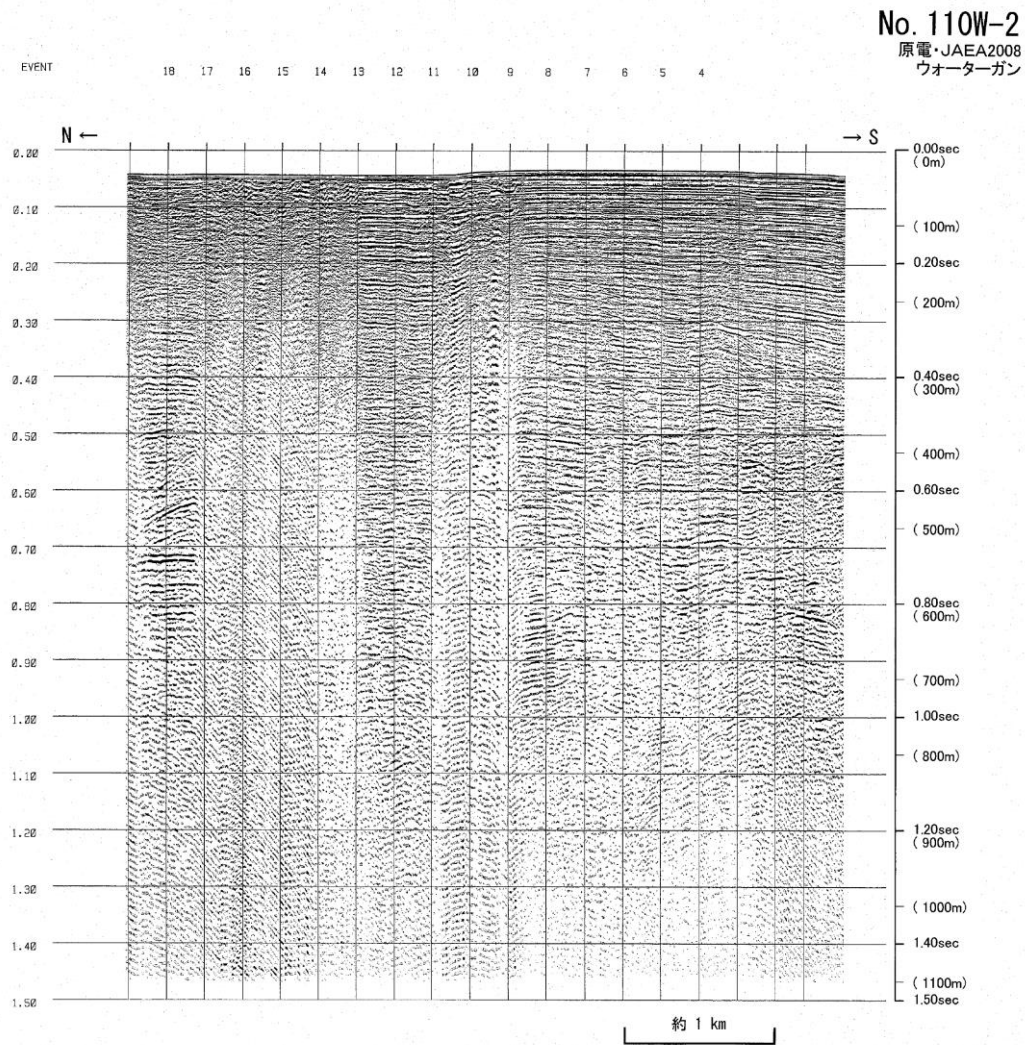
第 3. 2. 155 図(9) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.27W-3)



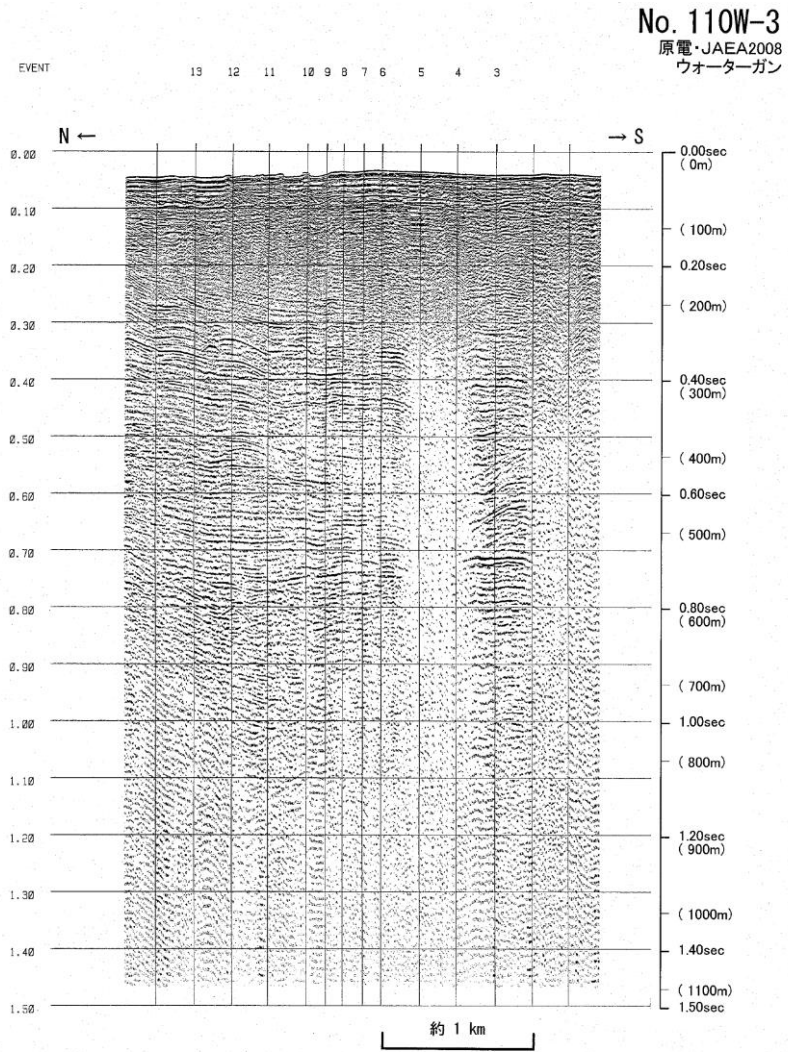
第 3. 2. 155 図(10) 敷地前面海域の海上音波探査記録(K84-2)



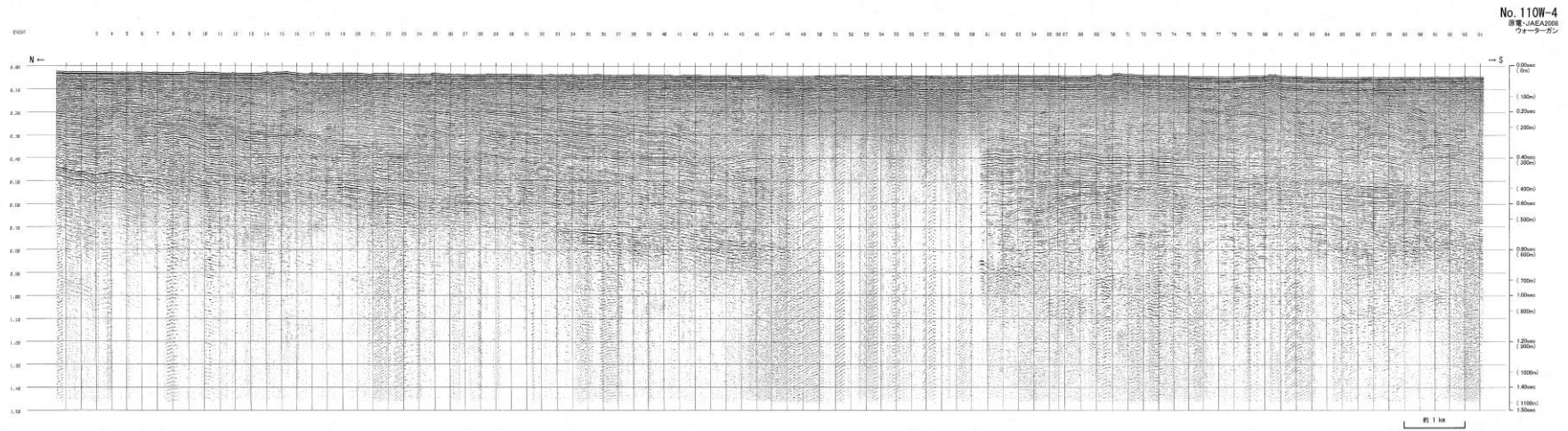
第 3. 2. 155 図(11) 敷地前面海域の海上音波探査記録(No.110W-1)



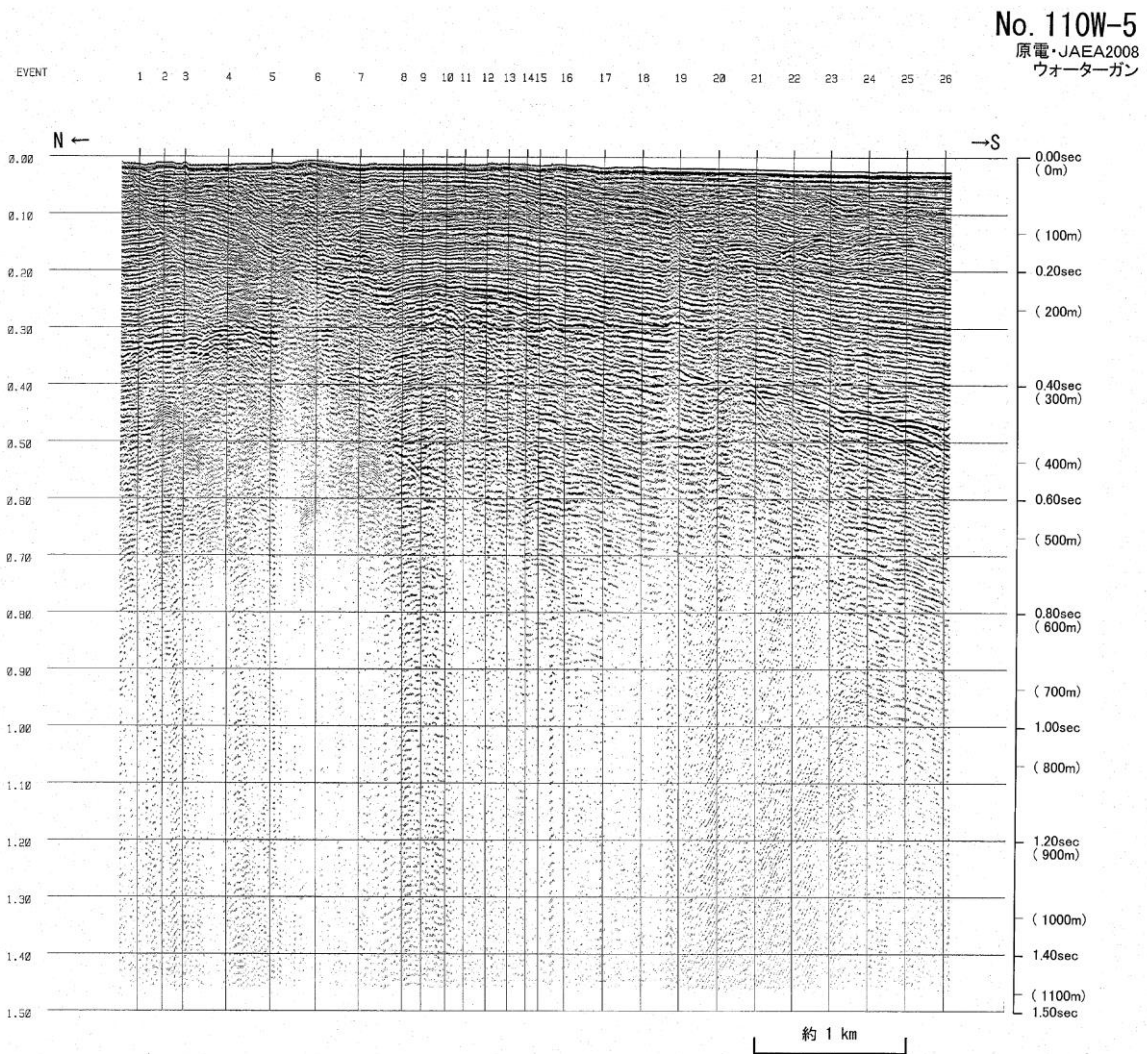
第 3. 2. 155 図(12) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-2)



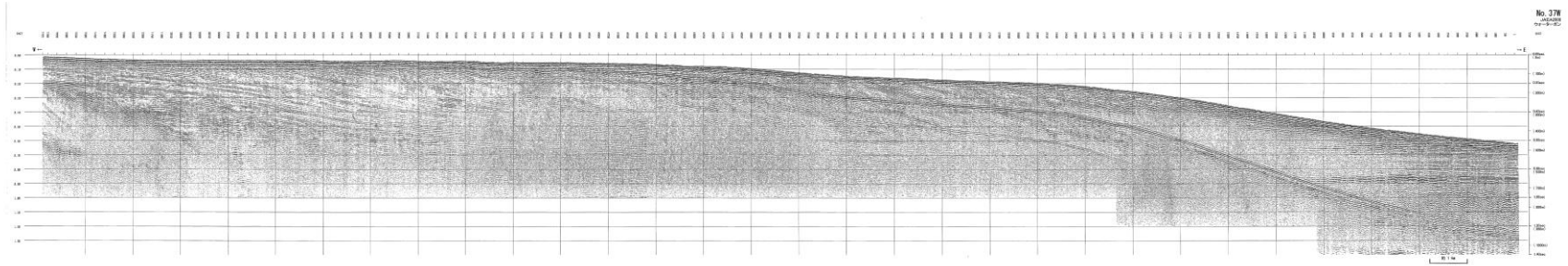
第 3. 2. 155 図(13) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-3)



第 3. 2. 155 図(14) 敷地前面海域の海上音波探査記録(No.110W-4)

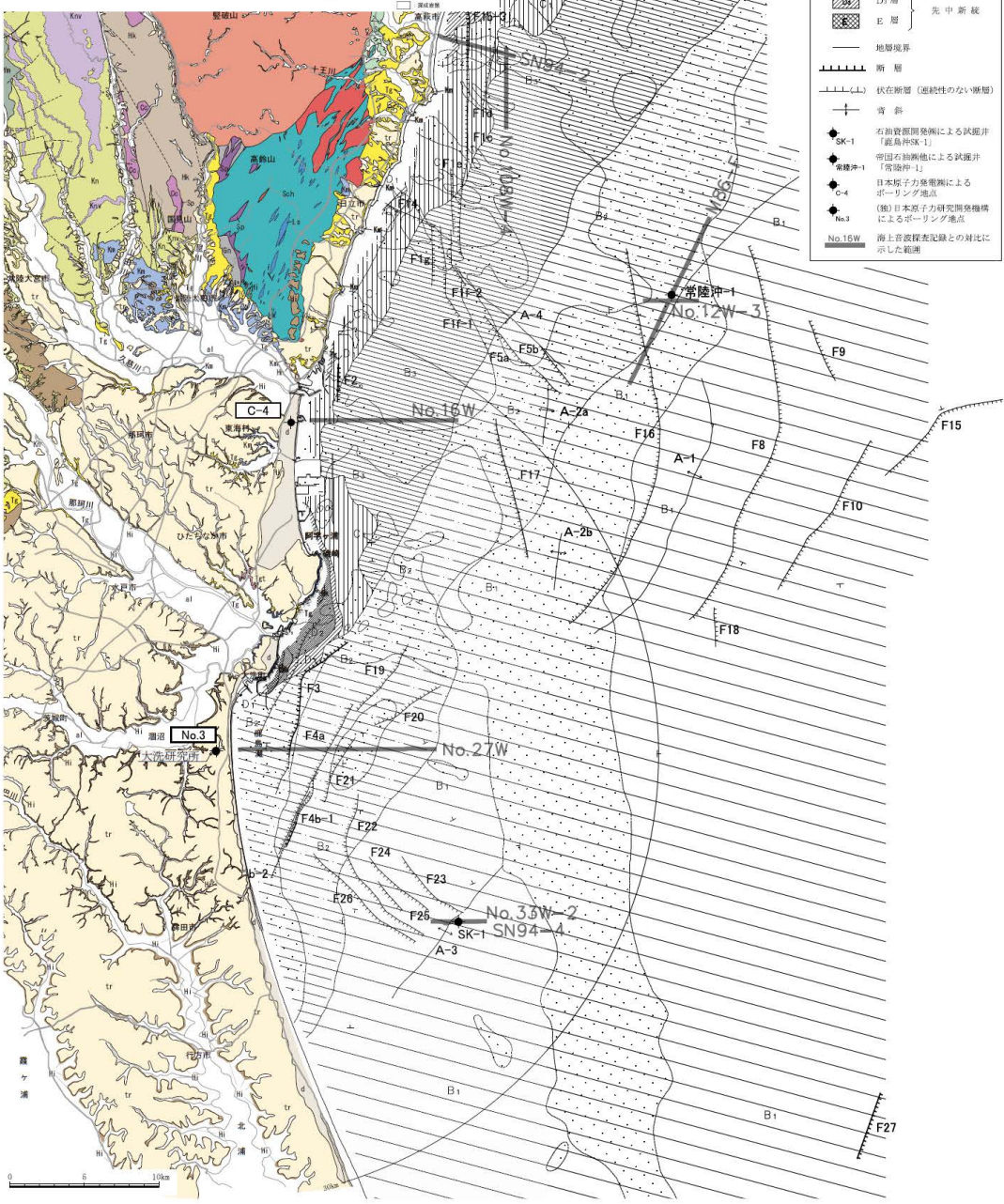


第 3. 2. 155 図(15) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-5)

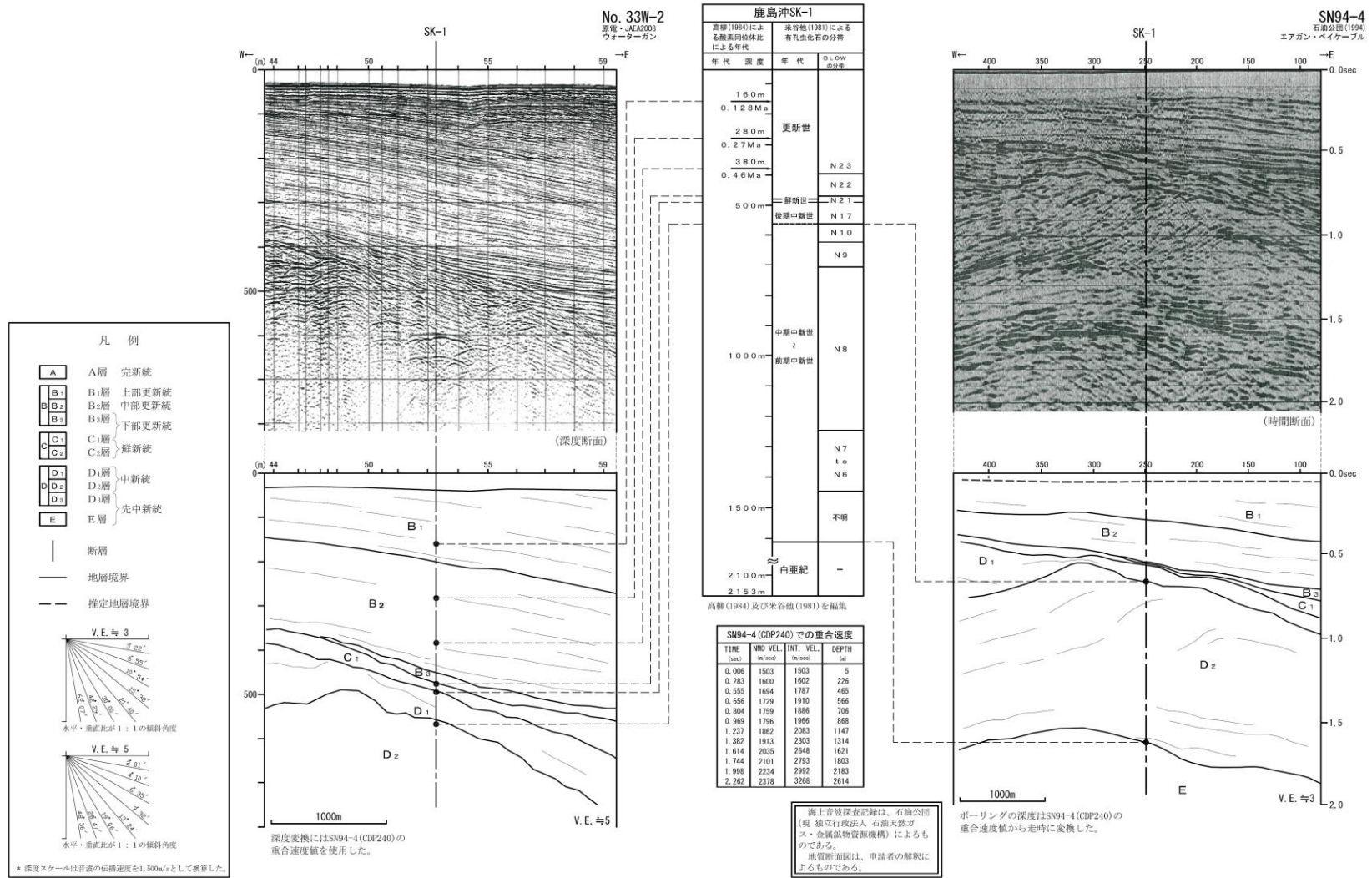


第 3. 2. 155 図(16) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.37W)

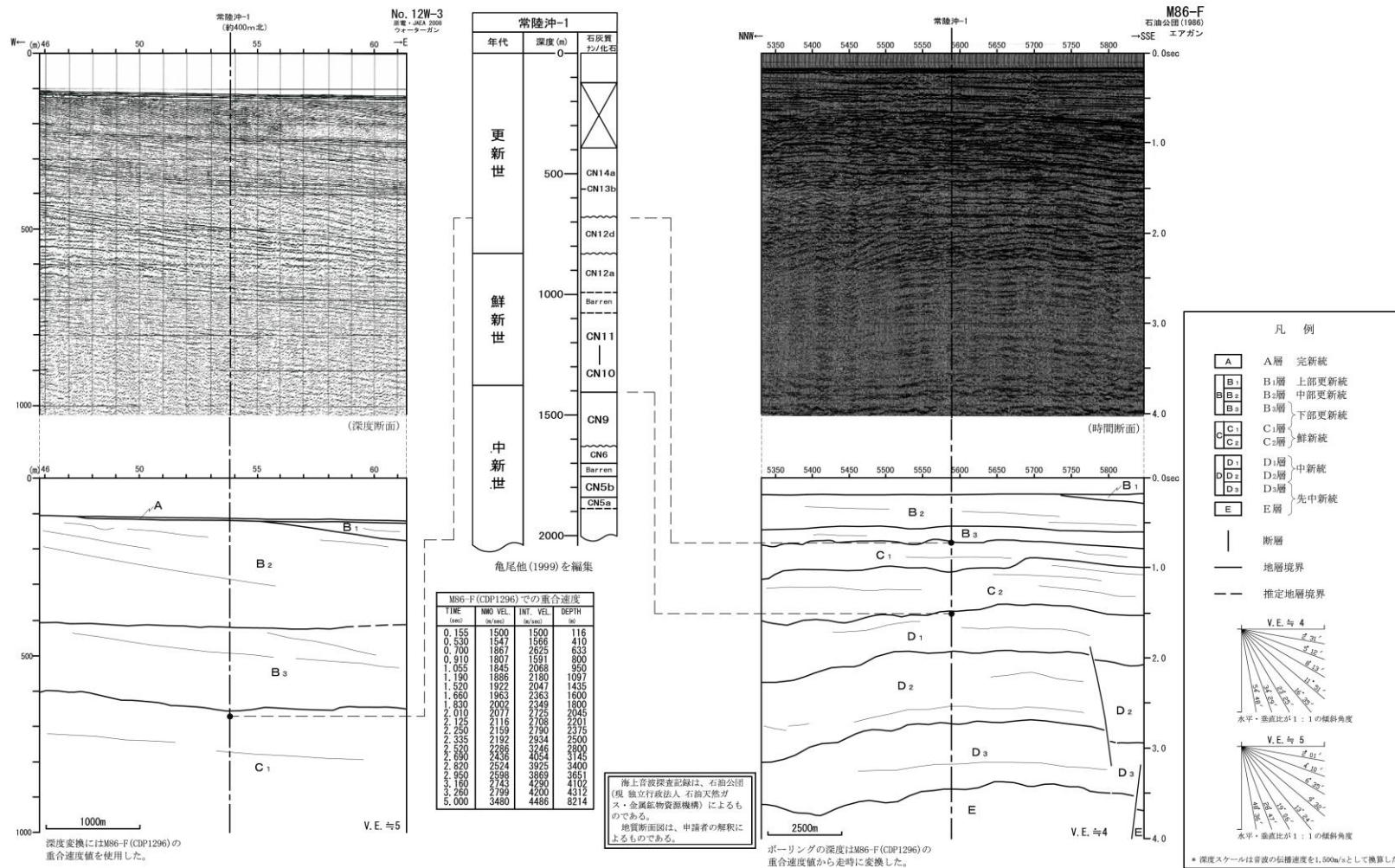
年代階層区分	八景山群		八景山群		多景山群		扇状地群	
	地層名	主岩種別・層位	地層名	主岩種別・層位	地層名	主岩種別・層位	地層名	主岩種別・層位
更新統	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
更新統	経長堤層群	砂・シルト・礫	経長堤層群	砂・シルト・礫	経長堤層群	砂・シルト・礫	経長堤層群	砂・シルト・礫
	実光堤層群	砂・シルト・礫	実光堤層群	砂・シルト・礫	実光堤層群	砂・シルト・礫	実光堤層群	砂・シルト・礫
更新統	多景山層群	砂質泥岩	多景山層群	砂質泥岩	多景山層群	砂質泥岩	多景山層群	砂質泥岩
	白土層群	砂質泥岩	白土層群	砂質泥岩	白土層群	砂質泥岩	白土層群	砂質泥岩
新第三系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	扇状地層群	砂・シルト・礫	扇状地層群	砂・シルト・礫	扇状地層群	砂・シルト・礫	扇状地層群	砂・シルト・礫
白土系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	扇状地層群	砂・シルト・礫	扇状地層群	砂・シルト・礫	扇状地層群	砂・シルト・礫	扇状地層群	砂・シルト・礫
シムラ系	八景山層群	砂質・泥岩・シルト	八景山層群	砂質・泥岩・シルト	八景山層群	砂質・泥岩・シルト	八景山層群	砂質・泥岩・シルト
三浦系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
八景山系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
白土系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
扇状地系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
沖積系	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫



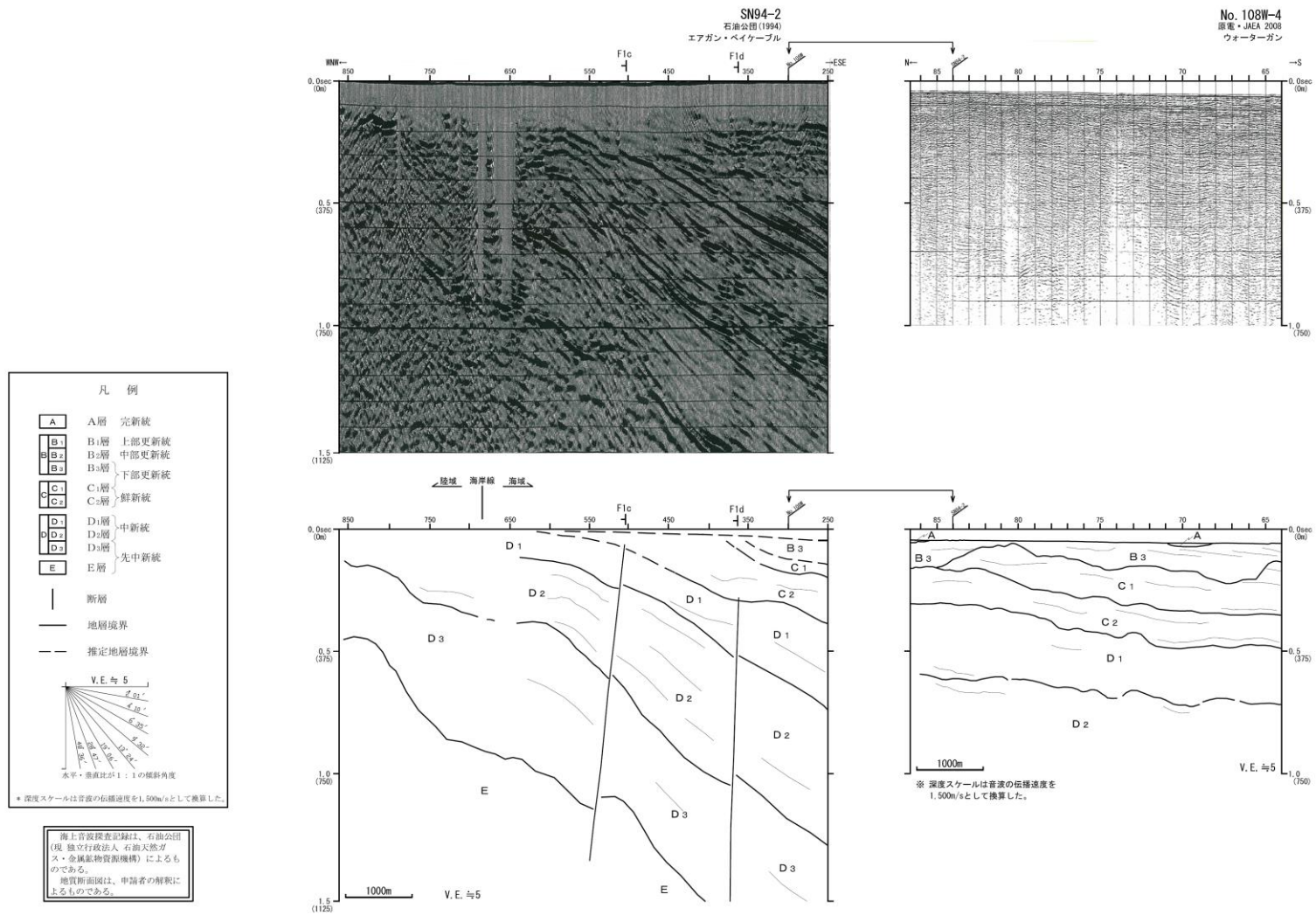
第 3. 2. 156 図 対比した海上音波探査記録の位置図



第3.2.157 図(1) 海上ボーリング調査結果と海上音波探査記録の対比 (その1)

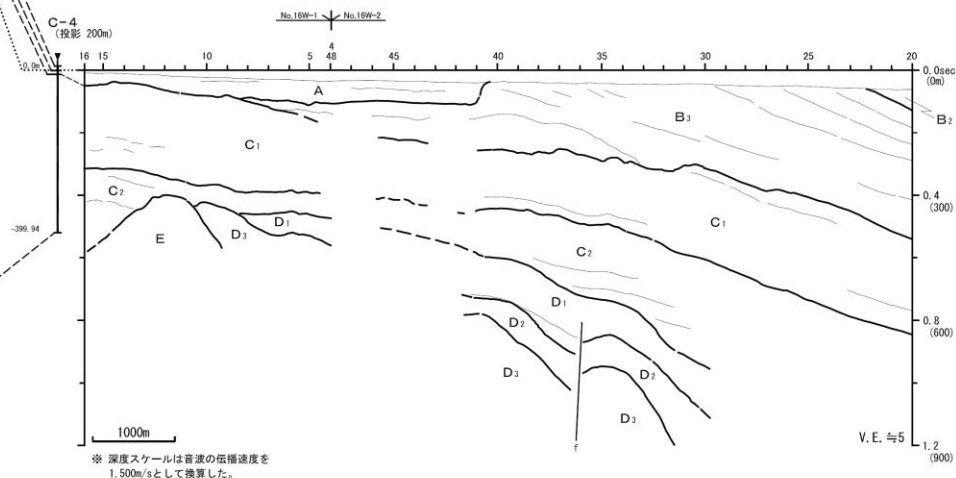
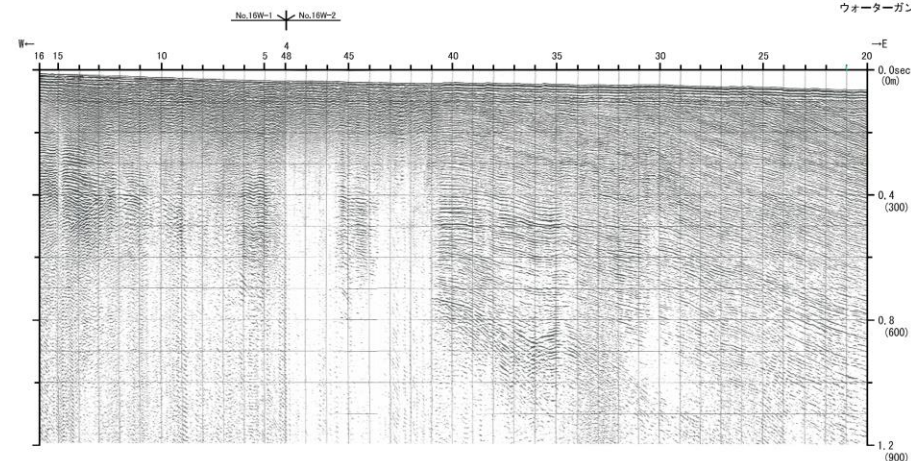
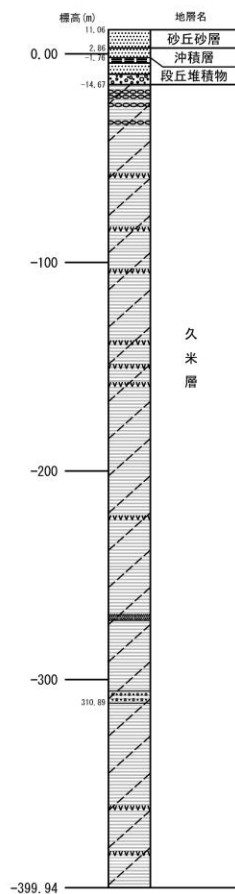
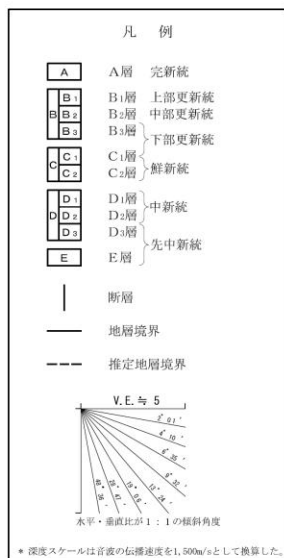
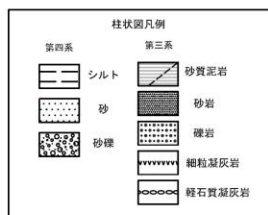


第 3. 2. 157 図(2) 海上ボーリング調査結果と海上音波探査記録の対比 (その 2)



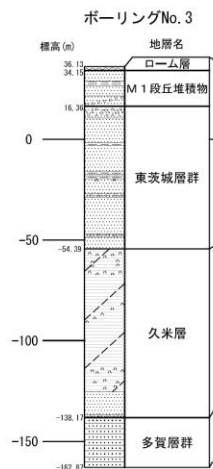
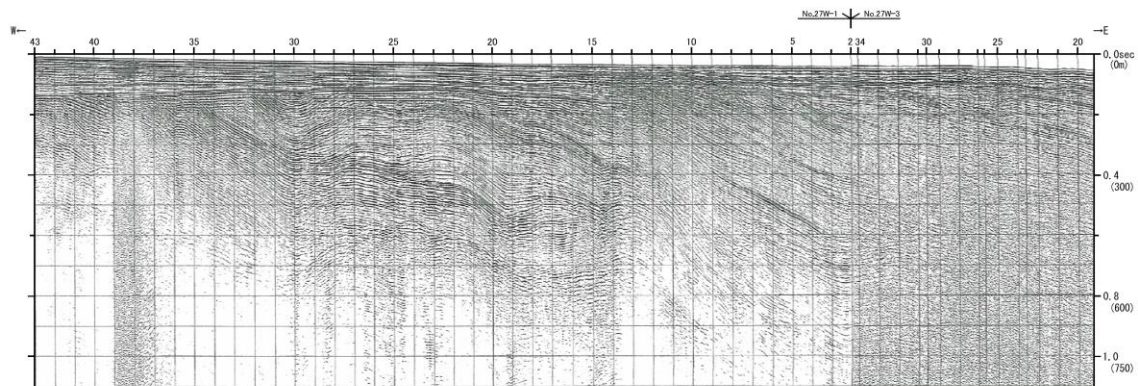
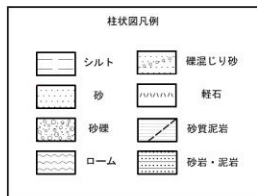
第 3.2.158 図(1) 陸域調査結果と海上音波探査記録の対比 (その 1)

C-4 ボーリング

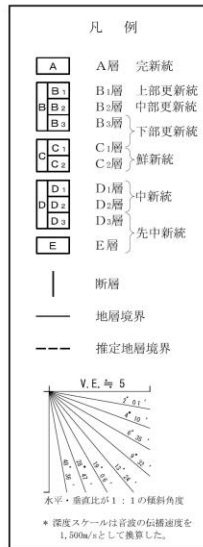
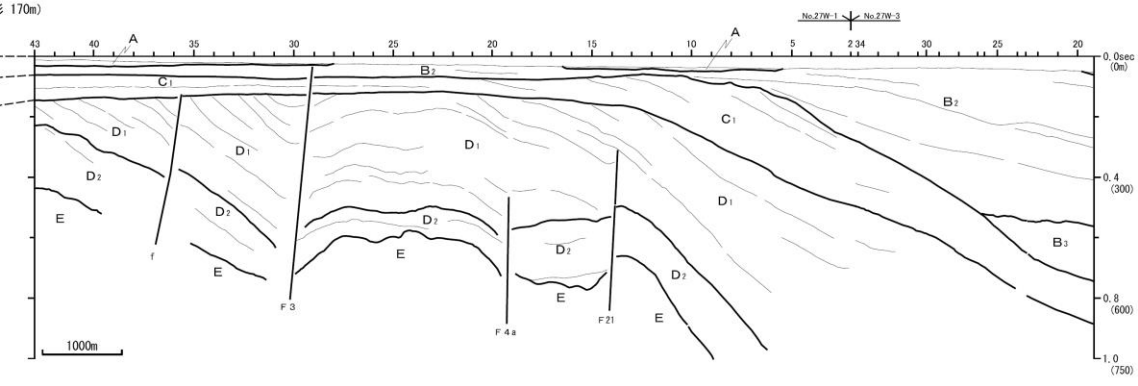


第 3.2.158 図(2) 陸域調査結果と海上音波探査記録の対比 (その 2)

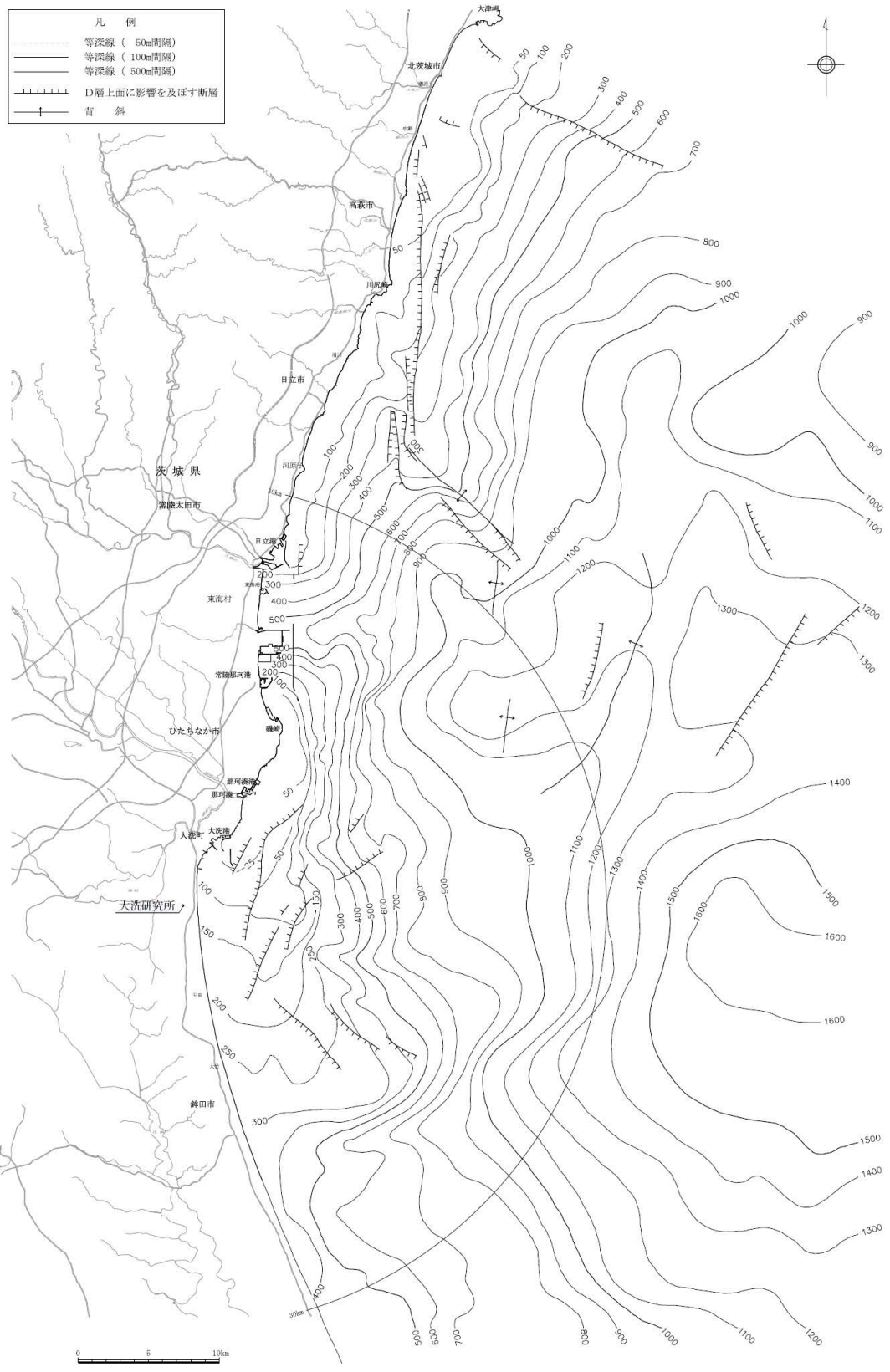
No. 27W-1
No. 27W-3
原電・JAEA2008
ウォーターガン



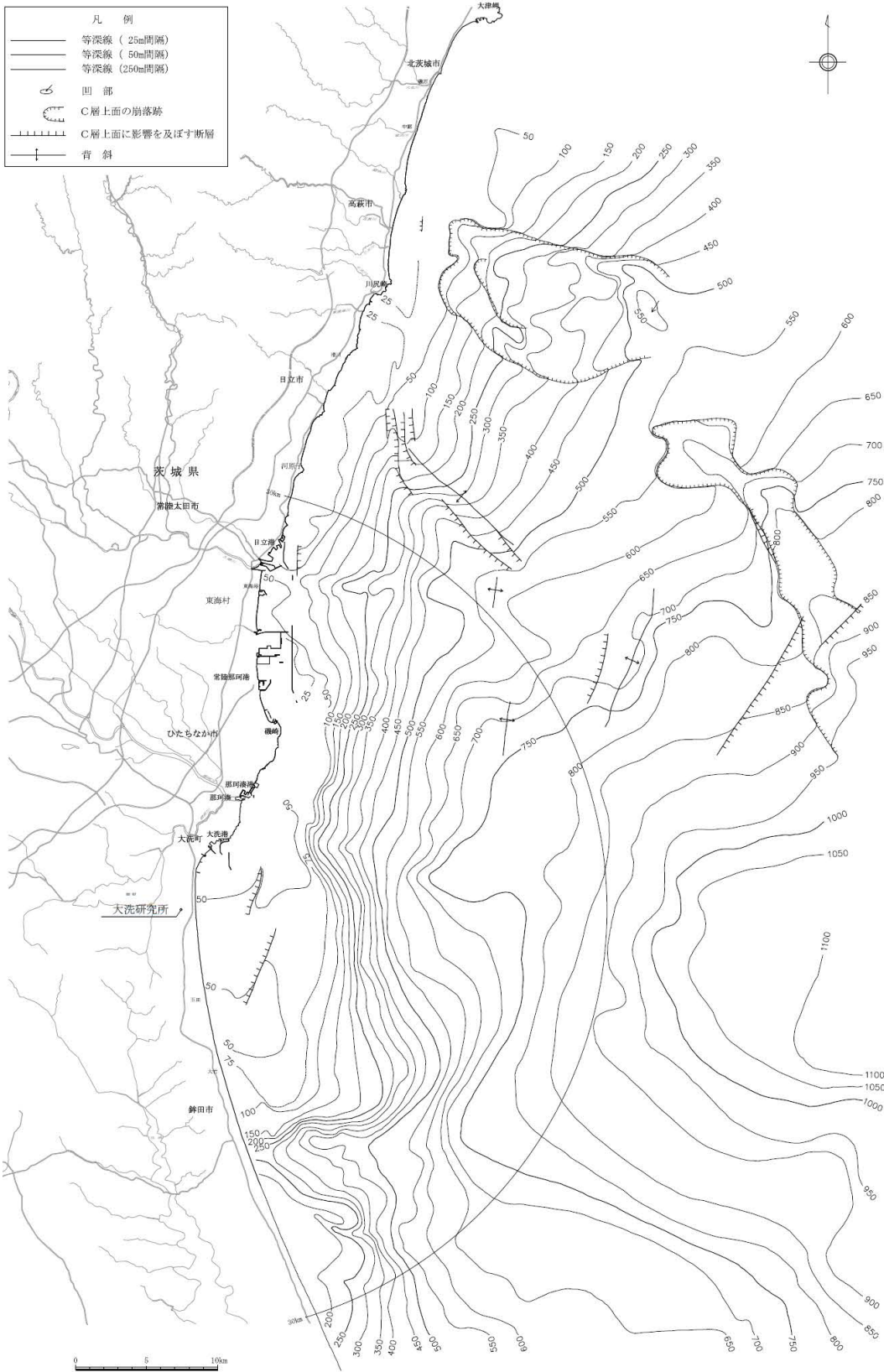
ボーリングNo. 3
(投影 170m)



第 3. 2. 158 図(3) 陸域調査結果と海上音波探査記録の対比 (その 3)



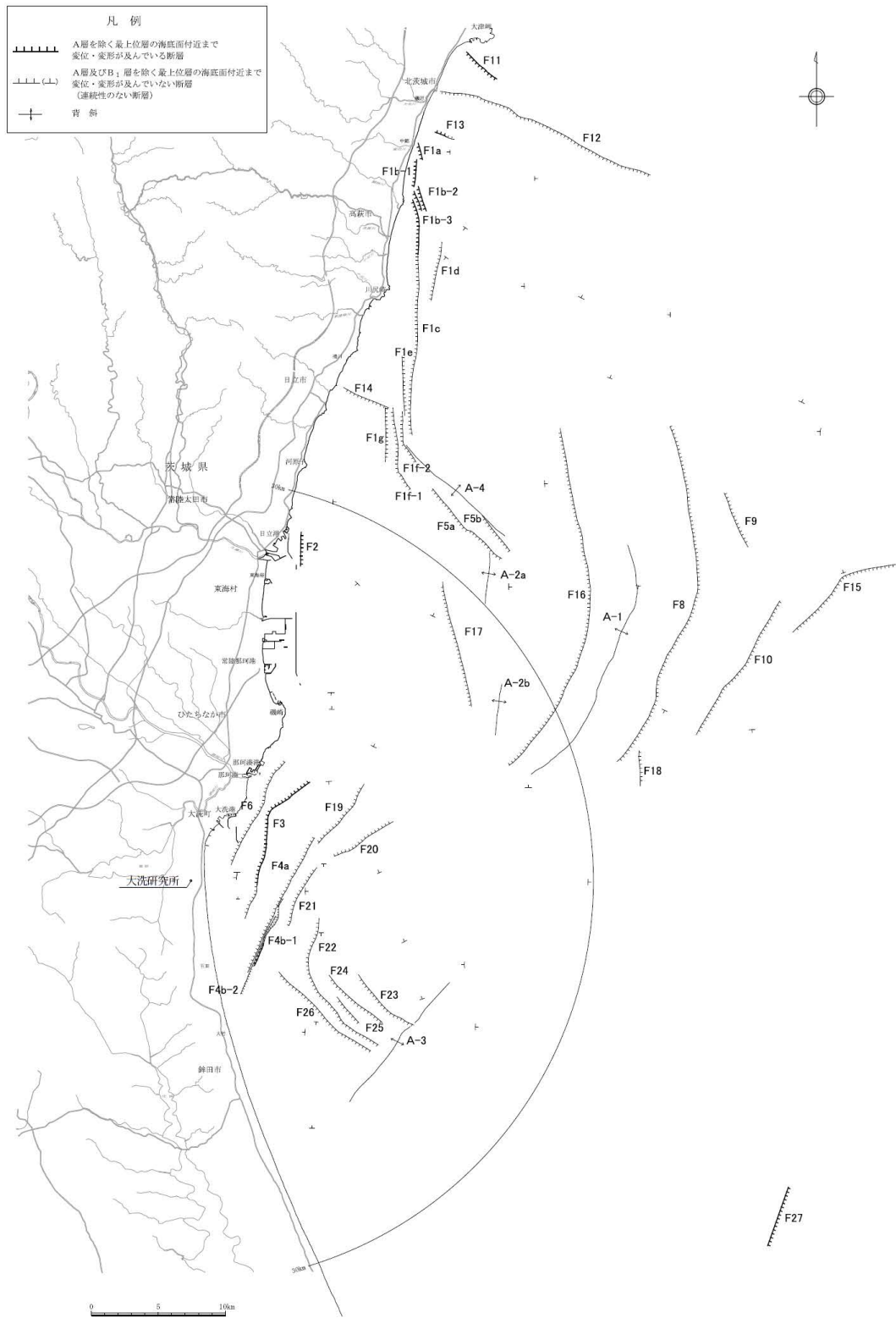
第 3. 2. 160 図 敷地前面海域のD層上面等深線図



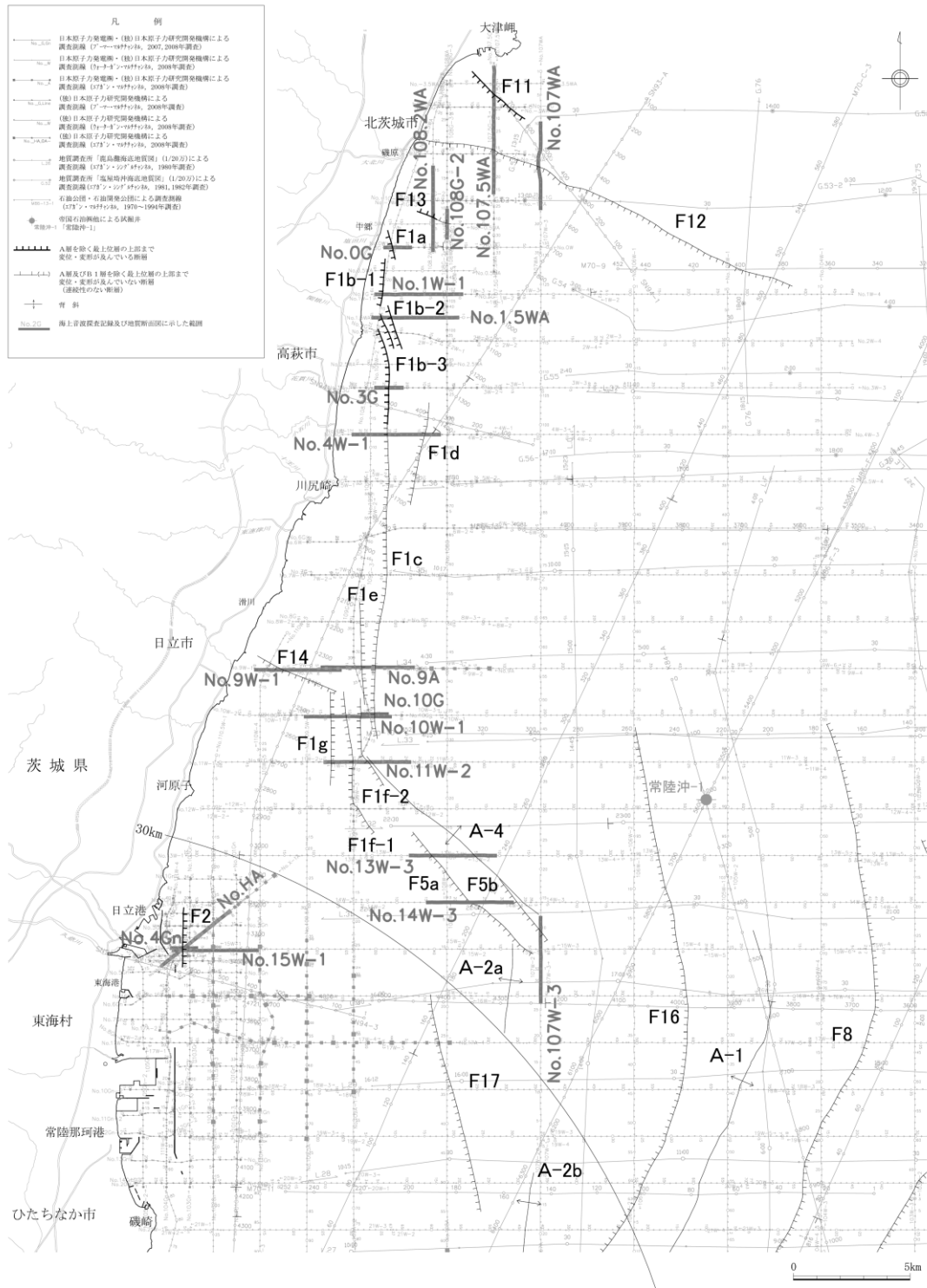
第 3. 2. 161 図 敷地前面海域の C 層上面等深線図



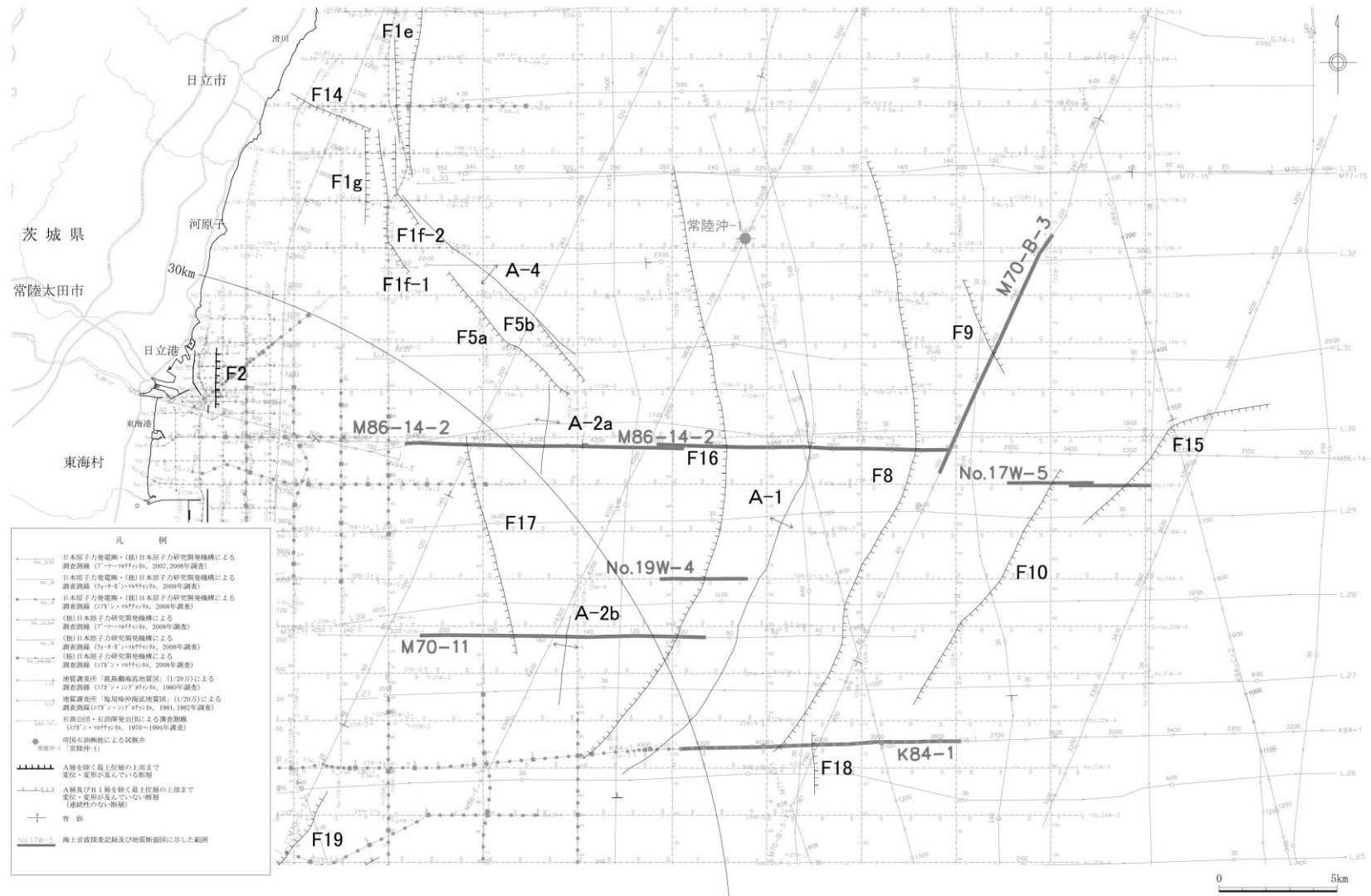
第 3.2.162 図 敷地前面海域及びその周辺海域の主要文献断層分布図



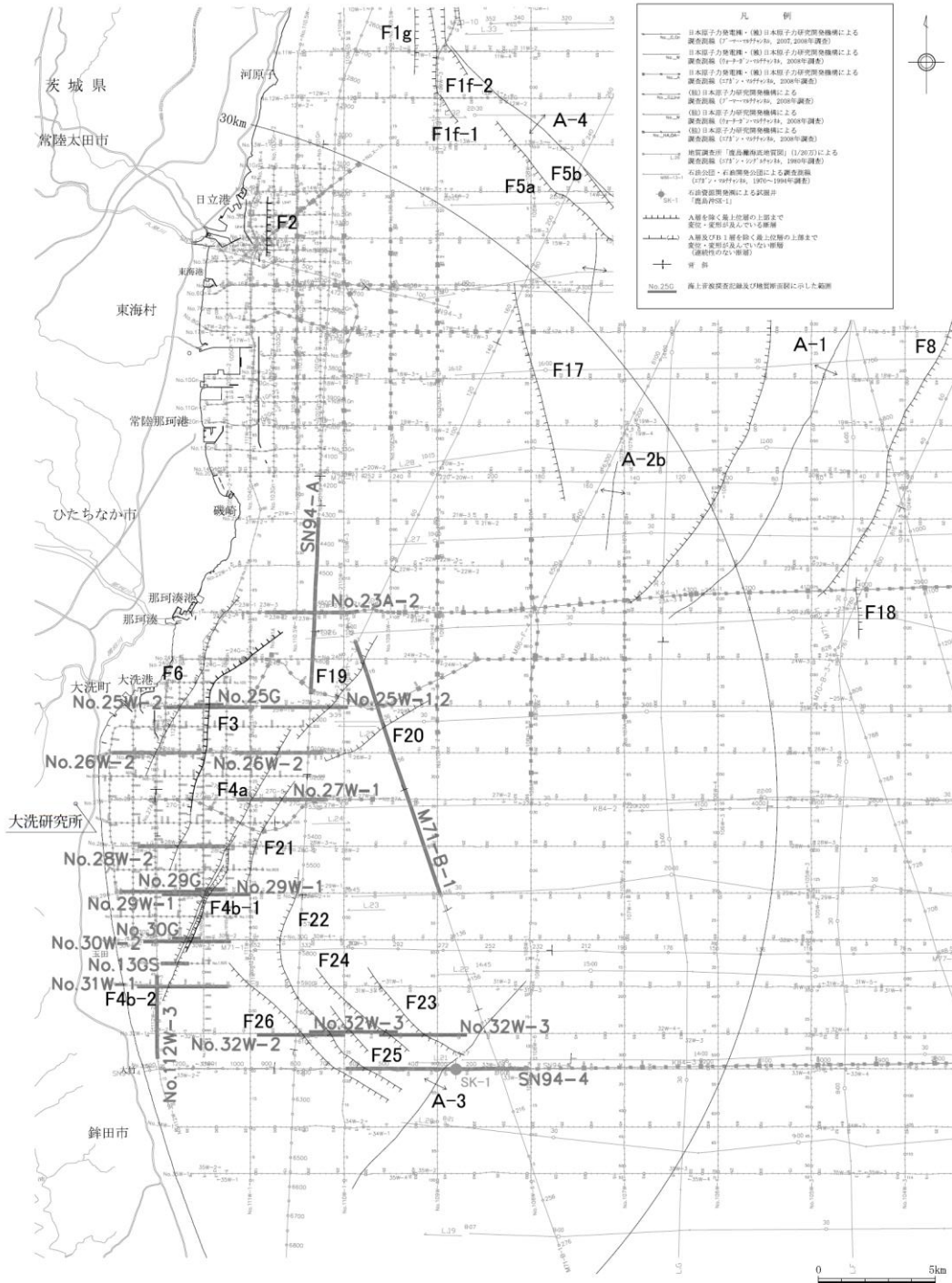
第 3. 2. 163 図(1) 敷地前面海域の断層等分布図(1)



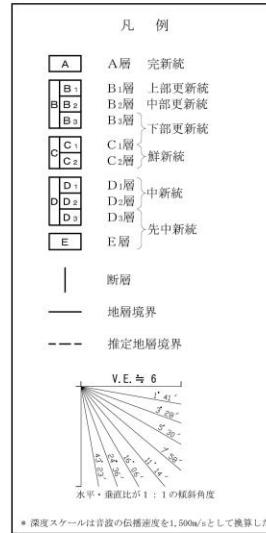
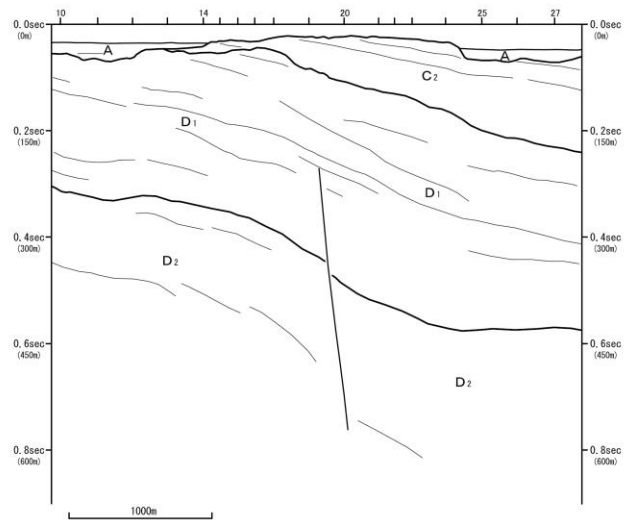
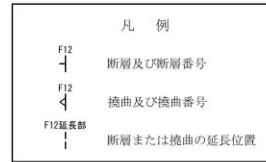
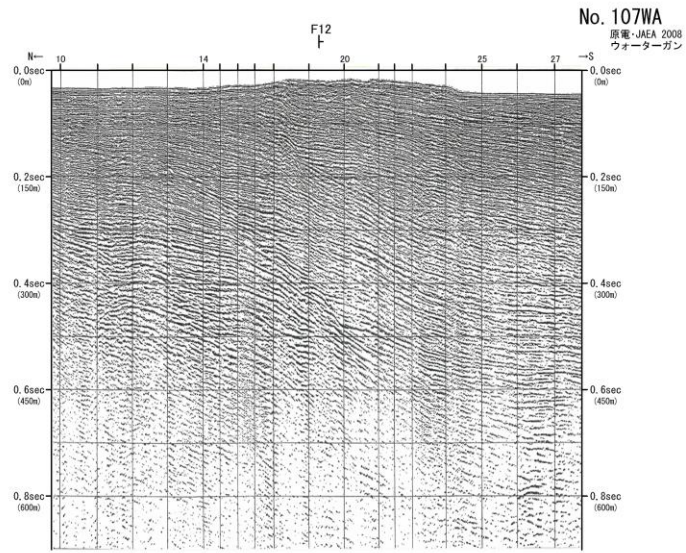
第 3.2.163 図(2) 敷地前面海域の断層等分布図(2)



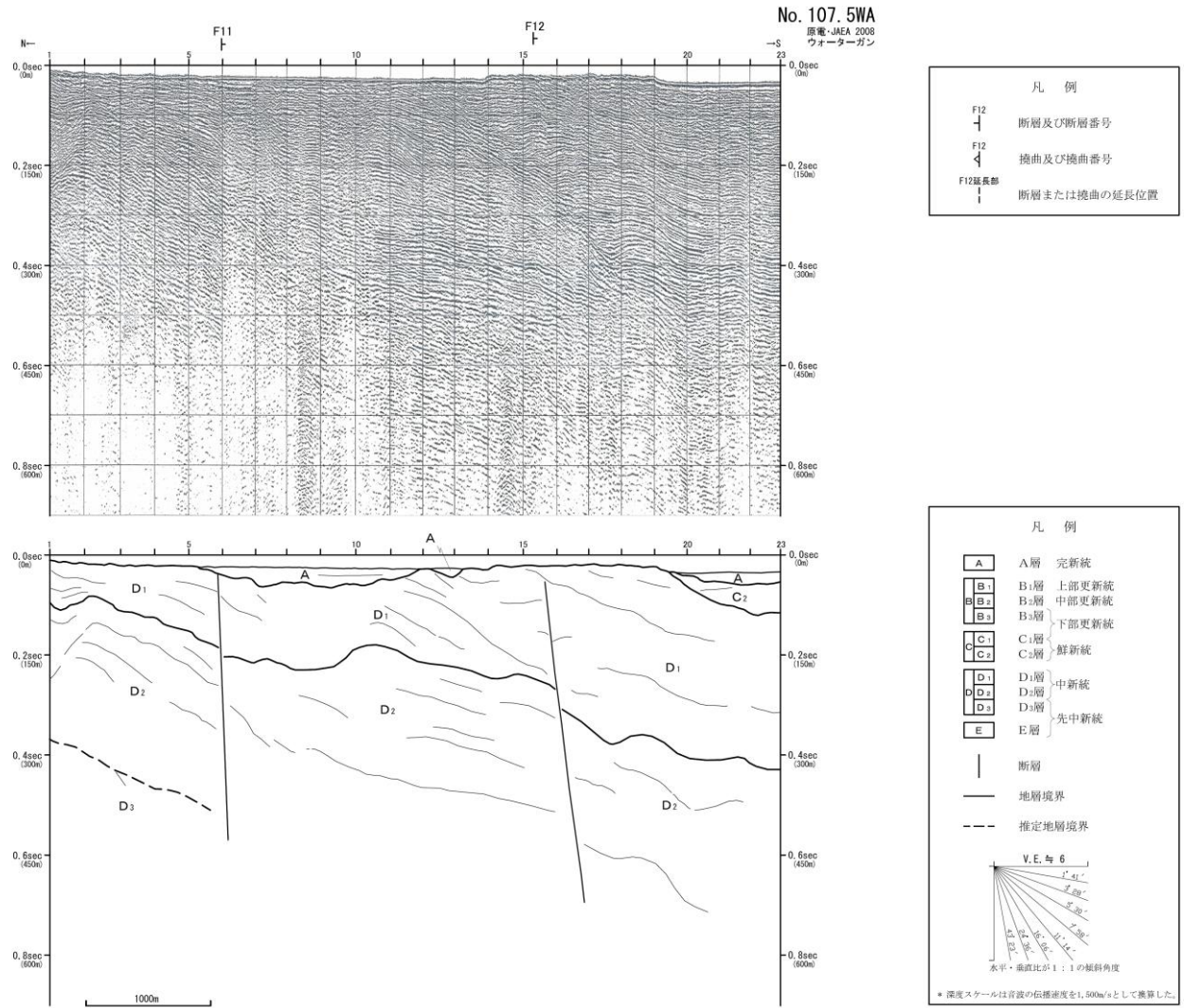
第 3.2.163 図(3) 敷地前面海域の断層等分布図(3)



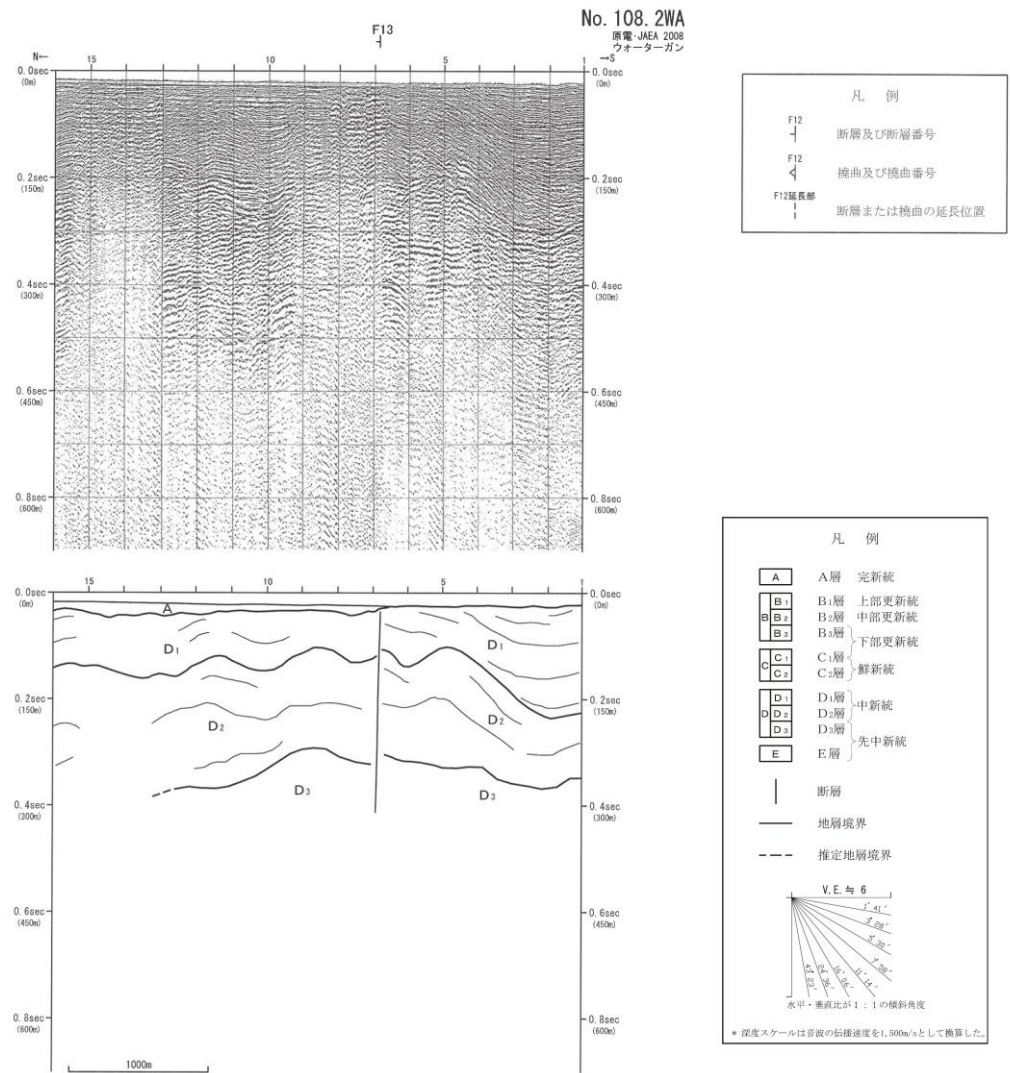
第 3.2.163 図(4) 敷地前面海域の断層等分布図(4)



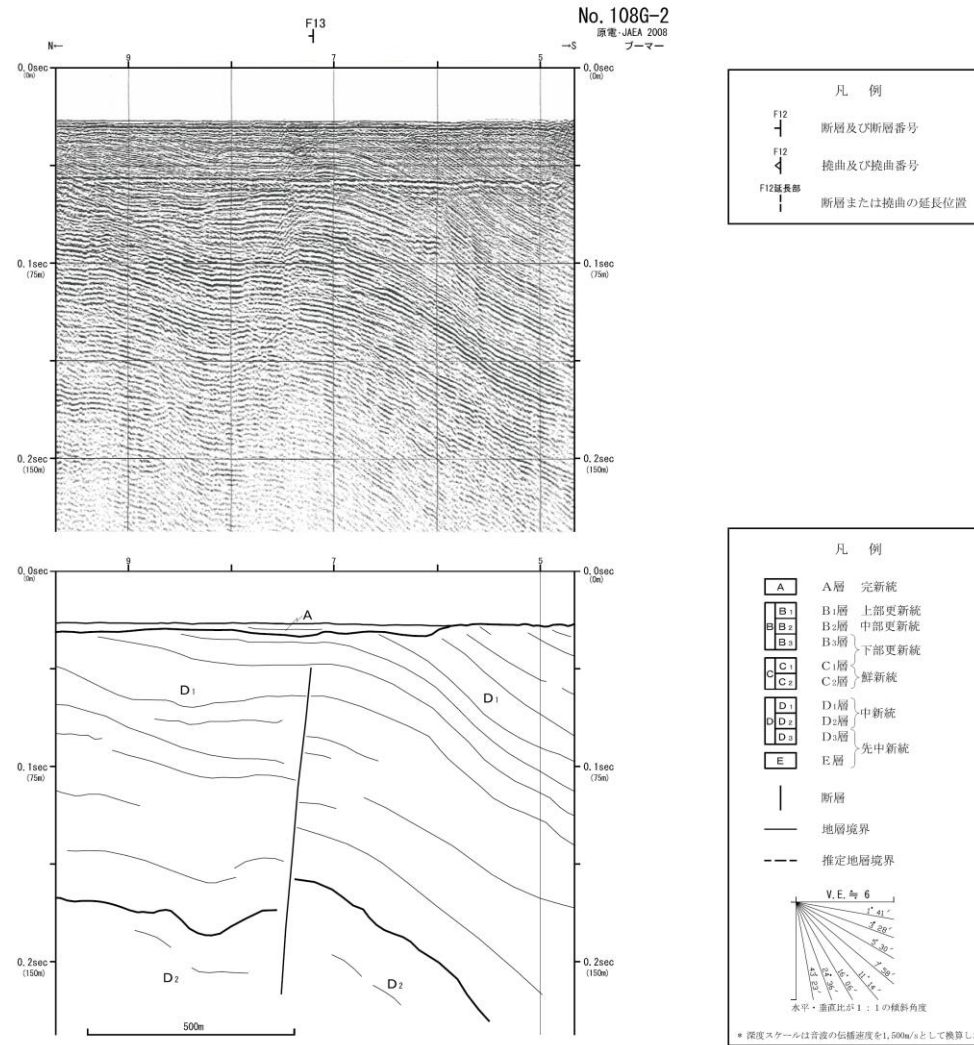
第 3. 2. 164 図 F 1 2 断層周辺の音波探査記録及び地質断面図 (No.107WA)



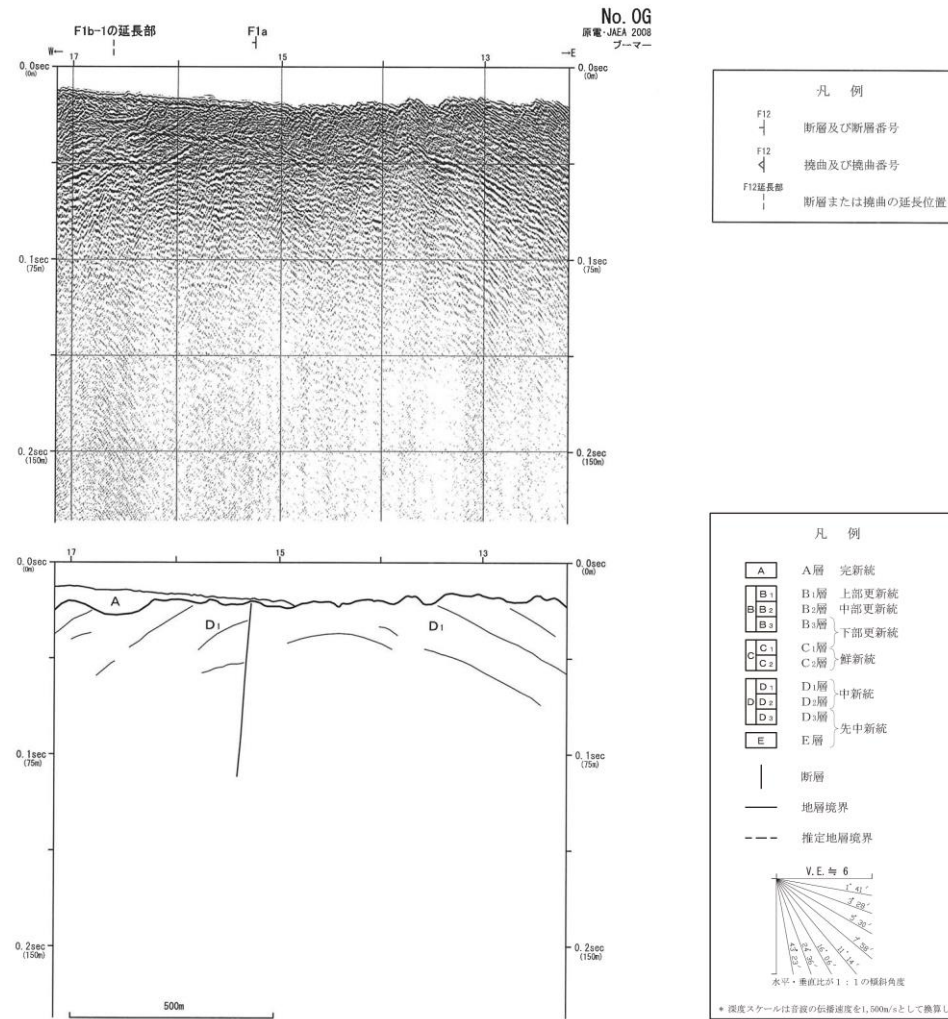
第 3. 2. 165 図 F 1 1 断層周辺の音波探査記録及び地質断面図 (No.107.5WA)



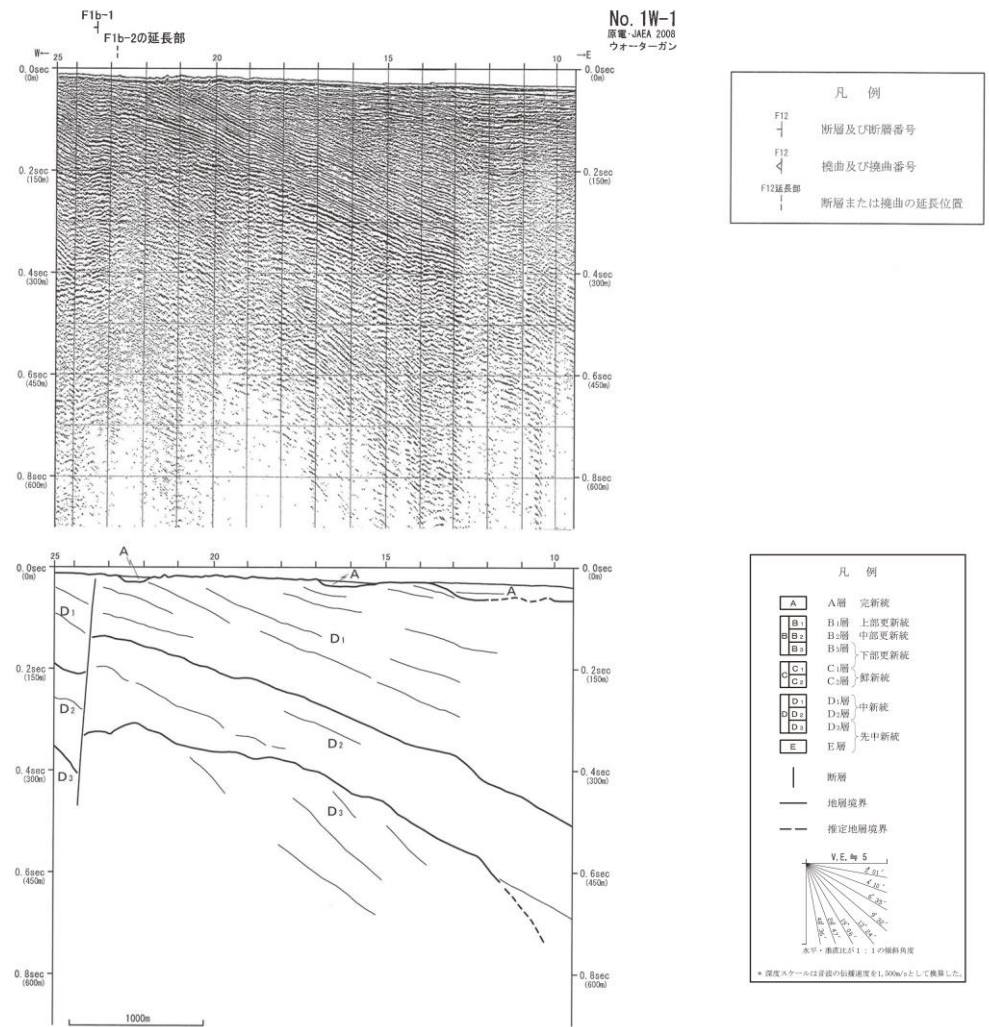
第 3. 2. 166 図(1) F 1 3 断層西部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.108. 2WA)



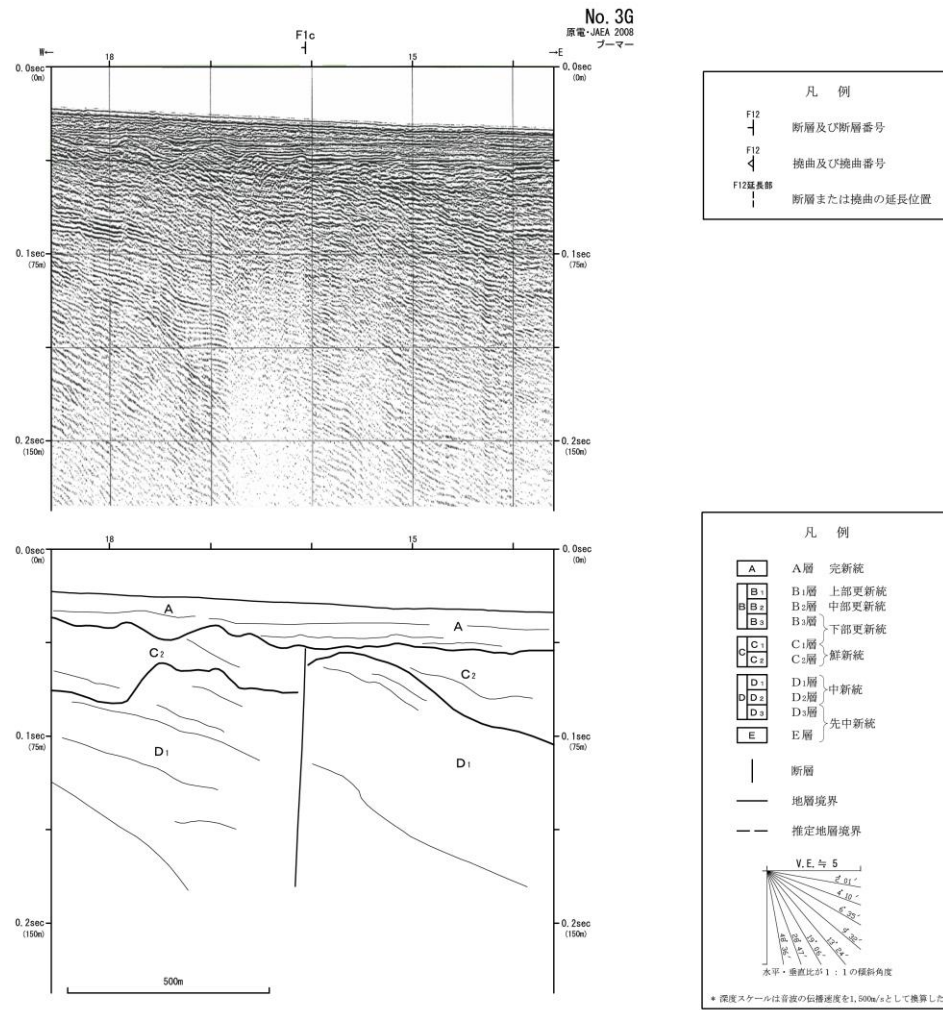
第 3. 2. 166 図(2) F 1 3 断層東部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.108G-2)



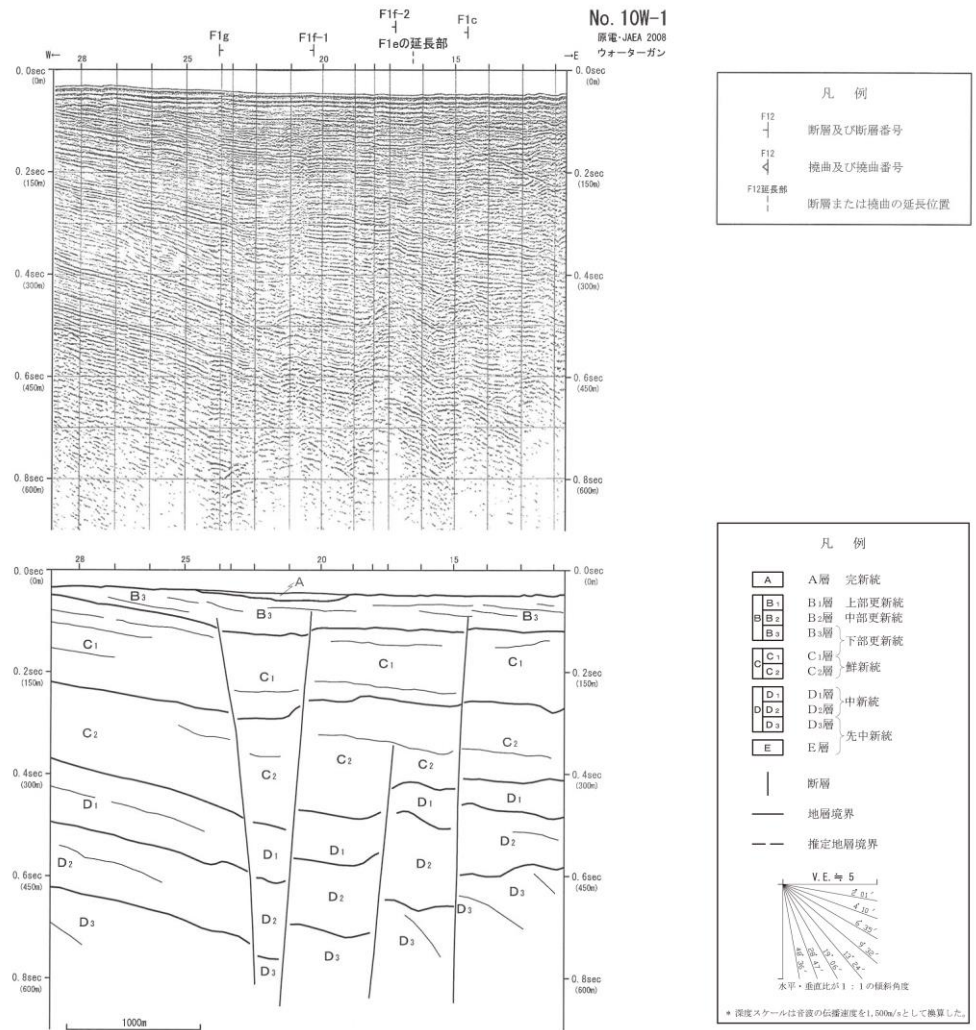
第 3. 2. 167 図(1) F 1 a 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.0G)



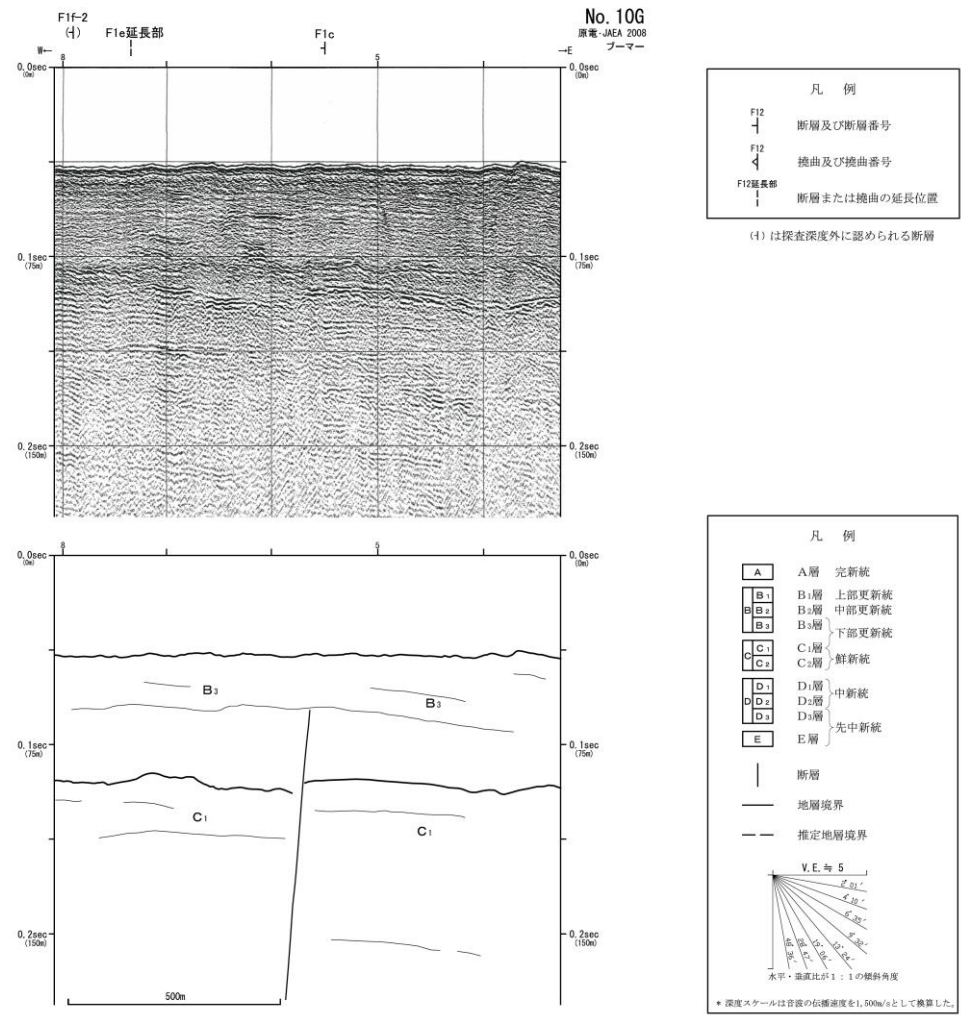
第 3. 2. 167 図(2) F 1 b - 1 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.1W-1)



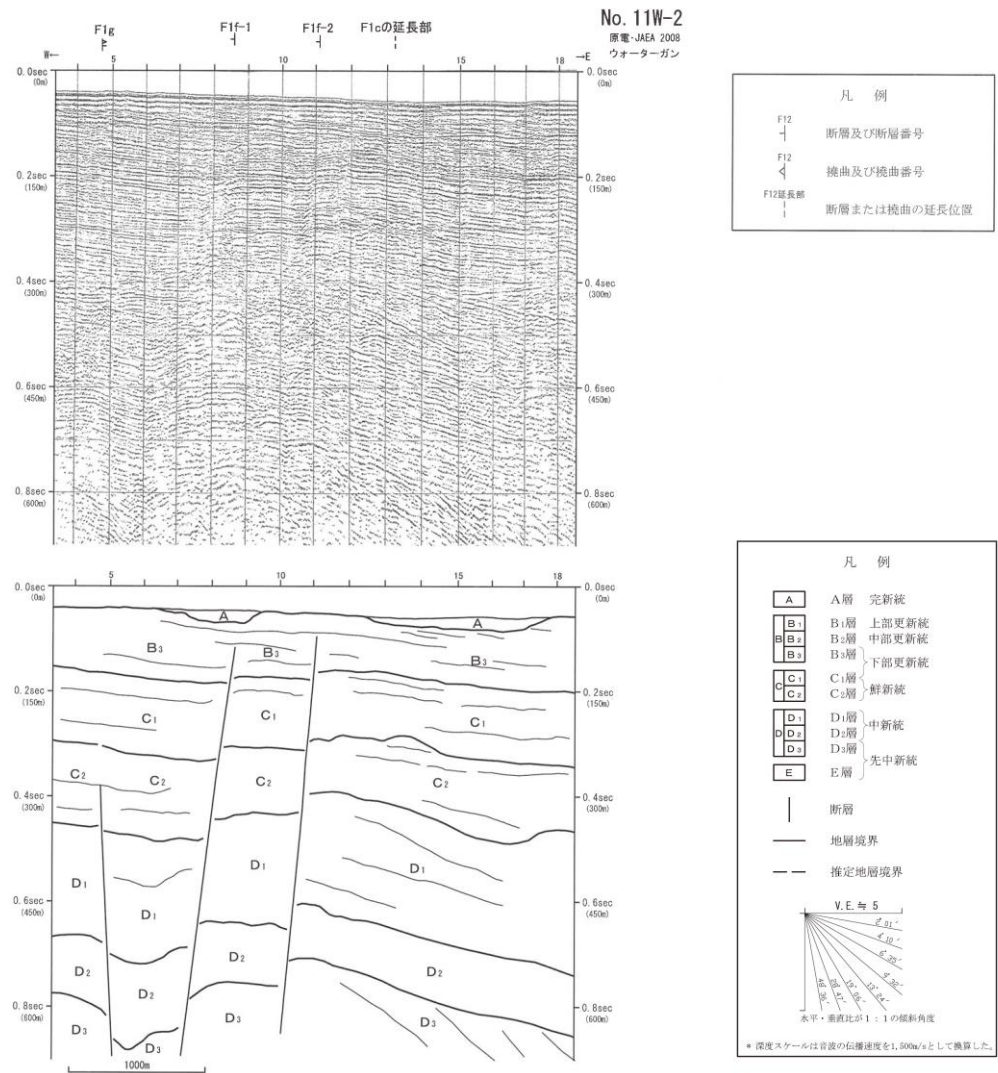
第 3. 2. 167 図(4) F 1 c 断層北部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.3G)



第 3. 2. 167 図(5) F 1 c 断層中南部, F 1 g 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.10W-1)



第 3. 2. 167 図(6) F 1 c 断層中南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.10G)



第 3. 2. 167 図(7) F 1 f - 1 断層, F 1 f - 2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.11W-2)